

3 調査結果

回答者の属性について

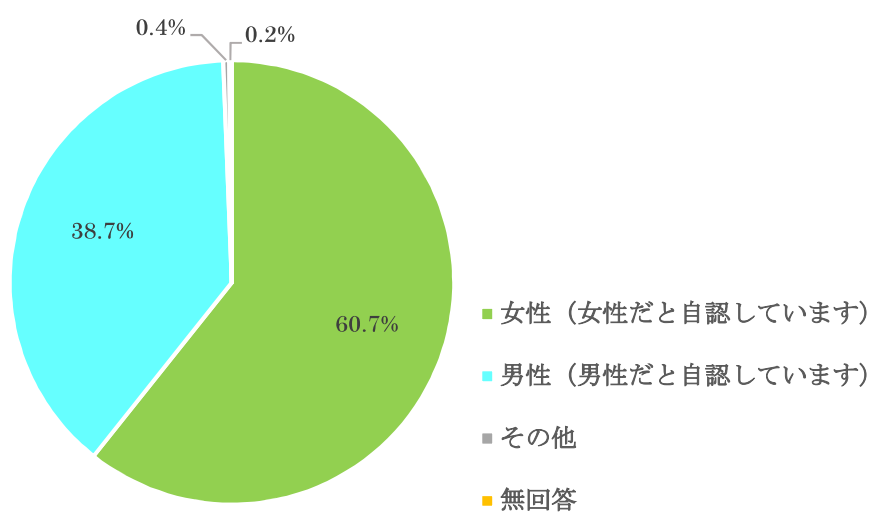
問1 あなたの性別を教えてください。(戸籍上の性別に関わらずご自身が自認される性別でご回答ください)

性別については「女性(女性だと自認している)」が60.7%、「男性(男性だと自認している)」が38.7%、「その他」が0.4%となっている。

(図表 3-1-1)

	回答数	割合
女性(女性だと自認しています)	579	60.7%
男性(男性だと自認しています)	369	38.7%
その他	4	0.4%
無回答	2	0.2%
合計	954	100.0%

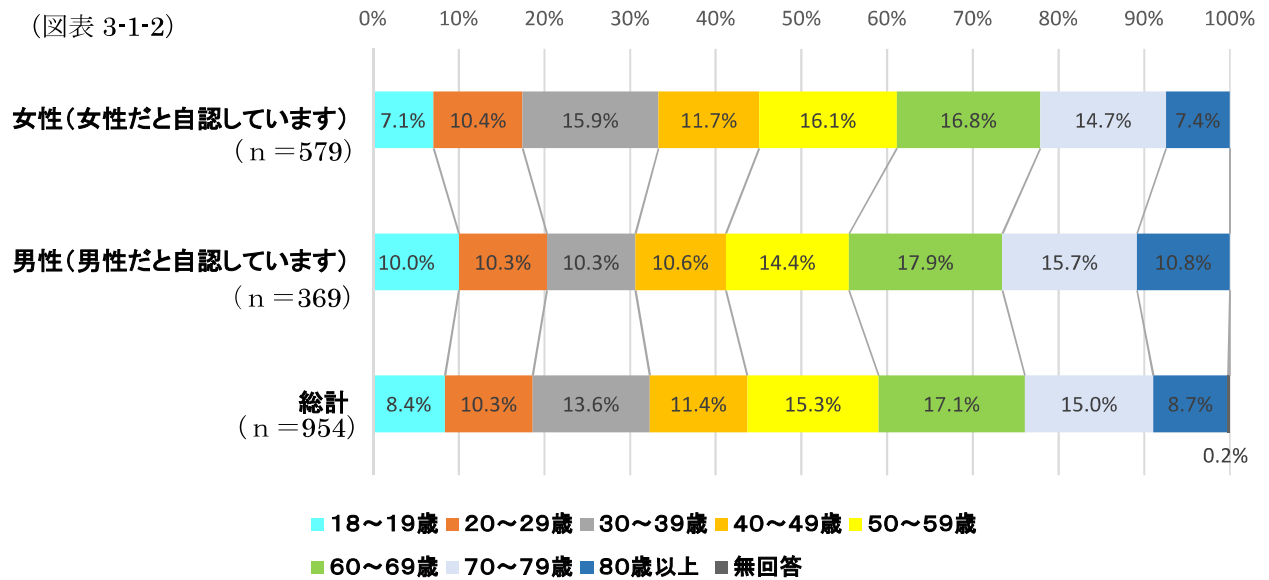
(n = 954)



問2 年齢を教えてください。

年齢については、60代（17.1%）の割合が最も高く、次いで50代（15.3%）、70代（15.0%）となっている。

(図表 3-1-2)

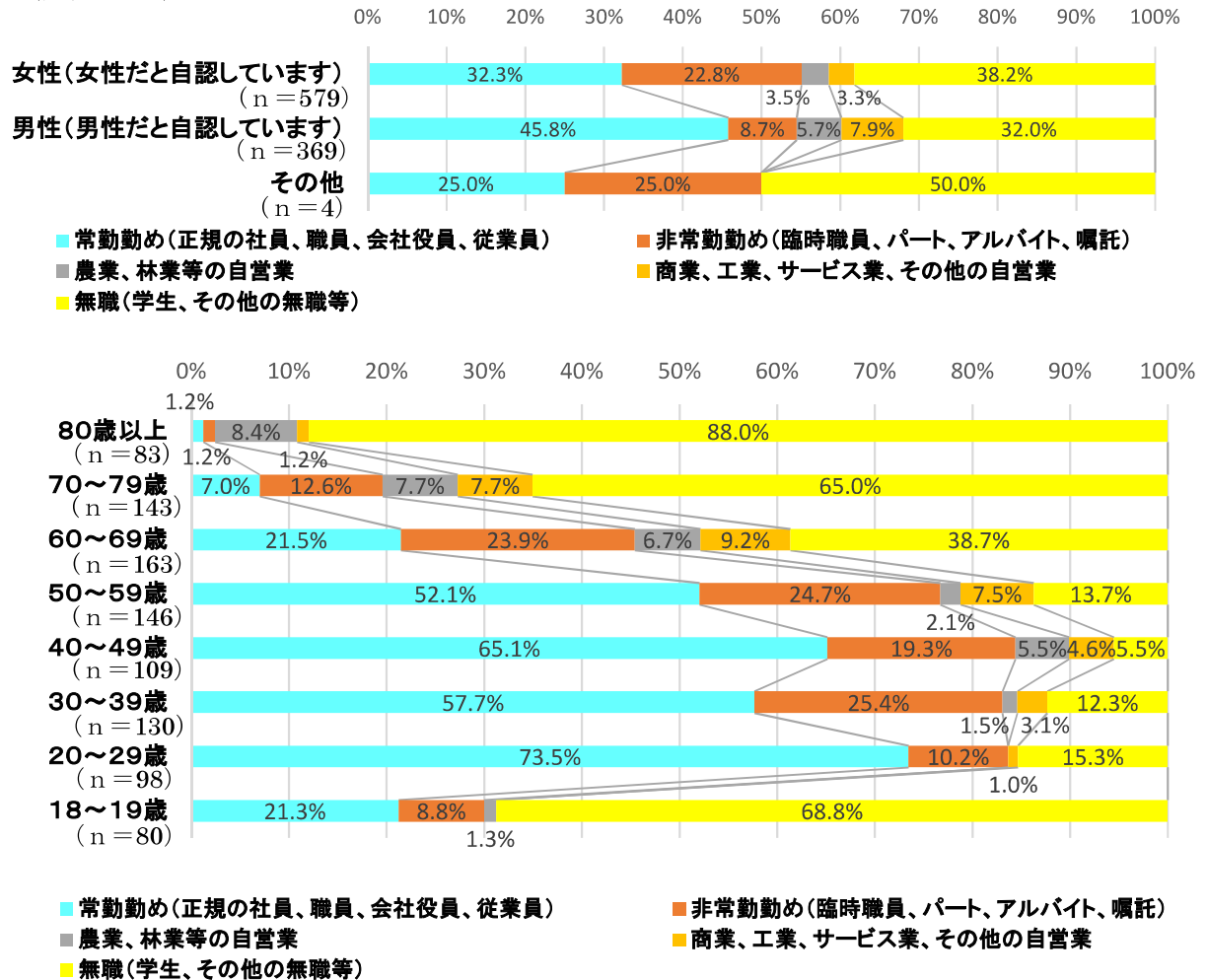


※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	総計		女性（女性だと自認しています）		男性（男性だと自認しています）		その他	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
18～19歳	80	8.4%	41	7.1%	37	10.0%	2	50.0%
20～29歳	98	10.3%	60	10.4%	38	10.3%	0	0.0%
30～39歳	130	13.6%	92	15.9%	38	10.3%	0	0.0%
40～49歳	109	11.4%	68	11.7%	39	10.6%	2	50.0%
50～59歳	146	15.3%	93	16.1%	53	14.4%	0	0.0%
60～69歳	163	17.1%	97	16.8%	66	17.9%	0	0.0%
70～79歳	143	15.0%	85	14.7%	58	15.7%	0	0.0%
80歳以上	83	8.7%	43	7.4%	40	10.8%	0	0.0%
無回答	2	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	954	100.0%	579	100.1%	369	100.0%	4	100.0%

問3 あなたのご職業は何ですか。

雇用形態について、「常勤勤め」(37.4%)の割合が最も多く、次いで「無職」(35.7%)、「非常勤勤め」(17.3%)となっている。

(図表 3-1-3)

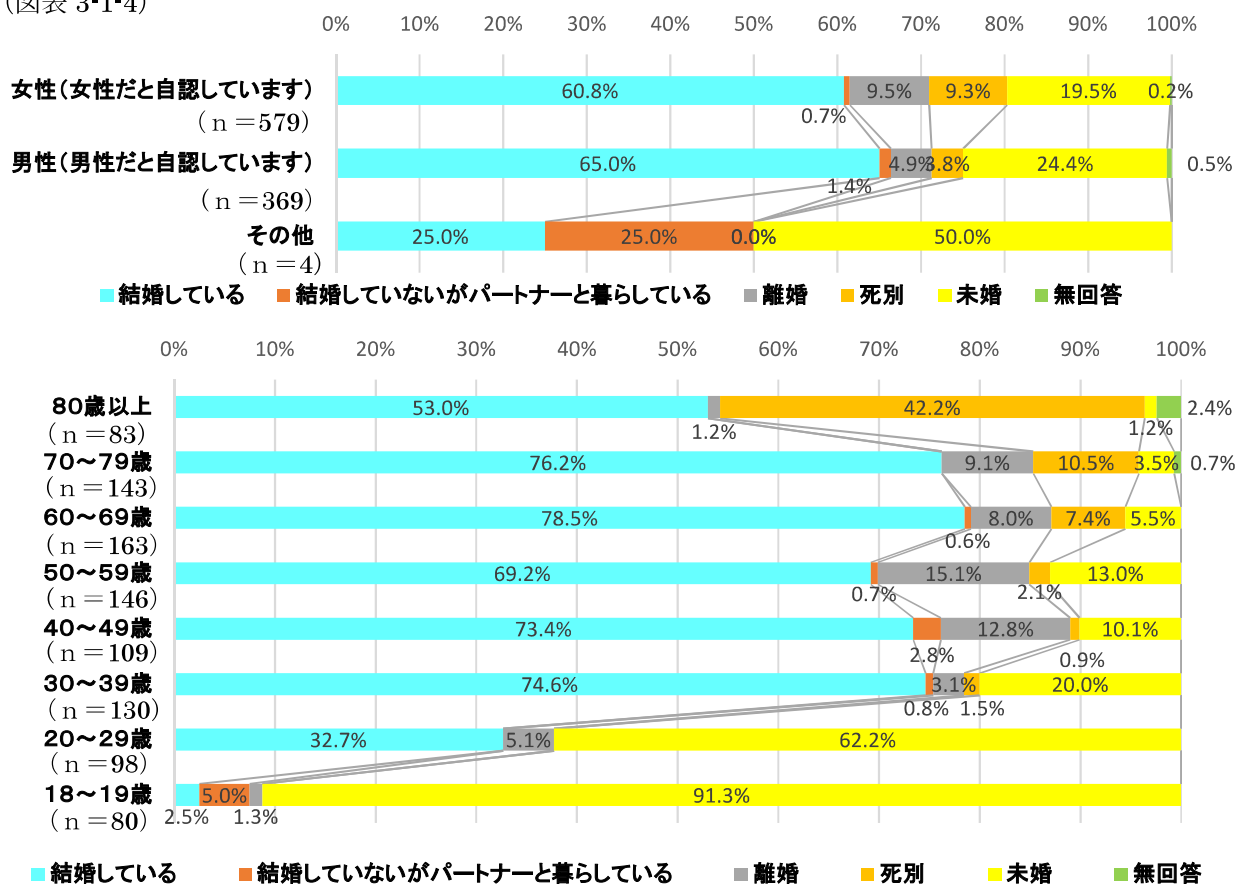


※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	総計		女性 (女性だと自認しています)		男性 (男性だと自認しています)		その他	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
常勤勤め	357	37.4%	187	32.3%	169	45.8%	1	25.0%
非常勤勤め	165	17.3%	132	22.8%	32	8.7%	1	25.0%
農業、林業等の自営業	41	4.3%	20	3.5%	21	5.7%	0	0.0%
商業、工業、サービス業、その他の自営業	48	5.0%	19	3.3%	29	7.9%	0	0.0%
無職	341	35.7%	221	38.2%	118	32.0%	2	50.0%
無回答	2	0.2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
合計	954	99.9%	579	100.1%	369	100.1%	4	100.0%

問4 現在結婚していますか。

「結婚している」(62.2%)が最も高く、次いで「未婚」(21.5%)となっている。

(図表 3-1-4)

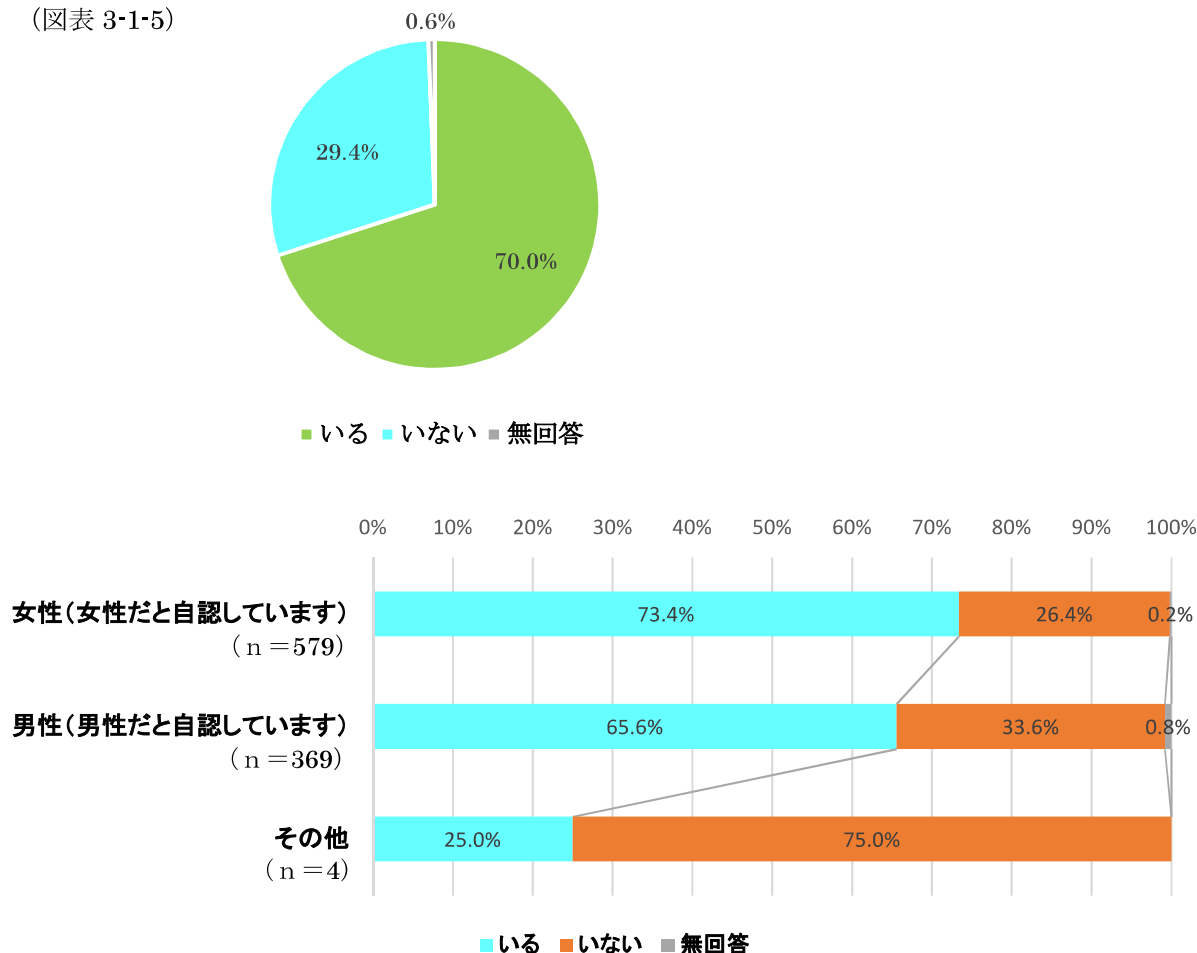


※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	総計		女性(女性だと自認しています)		男性(男性だと自認しています)		その他	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
結婚している	593	62.2%	352	60.8%	240	65.0%	1	25.0%
結婚していないがパートナーと暮らしている	10	1.0%	4	0.7%	5	1.4%	1	25.0%
離婚	73	7.7%	55	9.5%	18	4.9%	0	0.0%
死別	68	7.1%	54	9.3%	14	3.8%	0	0.0%
未婚	205	21.5%	113	19.5%	90	24.4%	2	50.0%
無回答	5	0.5%	1	0.2%	2	0.5%	0	0.0%
合計	954	100.0%	579	100.0%	369	100.0%	4	100.0%

問5 あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。成人しているお子さんや別居しているお子さんも含めてお答えください。

全体として「いる」(70.0%)となっており、「男性(男性と自認している)」で「いる」(65.6%)「女性(女性と自認している)」で「いる」(73.4%)となっている。

(図表 3-1-5)



※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	総計		女性(女性だと自認しています)		男性(男性だと自認しています)		その他	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
いる	668	70.0%	425	73.4%	242	65.6%	1	25.0%
いない	280	29.4%	153	26.4%	124	33.6%	3	75.0%
無回答	6	0.6%	1	0.2%	3	0.8%	0	0.0%
合計	954	100.0%	579	100.0%	369	100.0%	4	100.0%

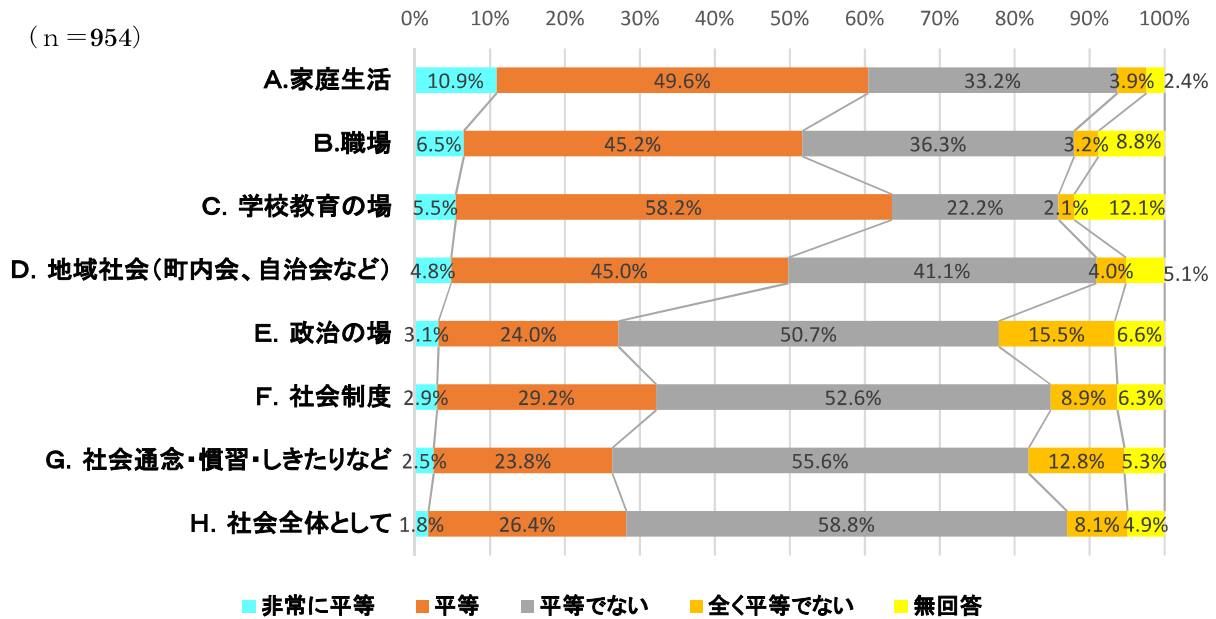
男女共同参画についての質問

問6 男女の地位について、あなたは次のA～Hにあげるような分野で、平等であると思いますか。

「平等でない」「全く平等でない」の割合が最も高いのは「社会通念・慣習・しきたりなど」(68.4%)、次いで「社会全体として」(66.9%)となっている。また、「平等」「非常に平等」の割合が最も高いのは「学校教育の場」(63.7%)、次いで「家庭生活」(60.5%)となっている。

(図表 3-2-1)

(n = 954)

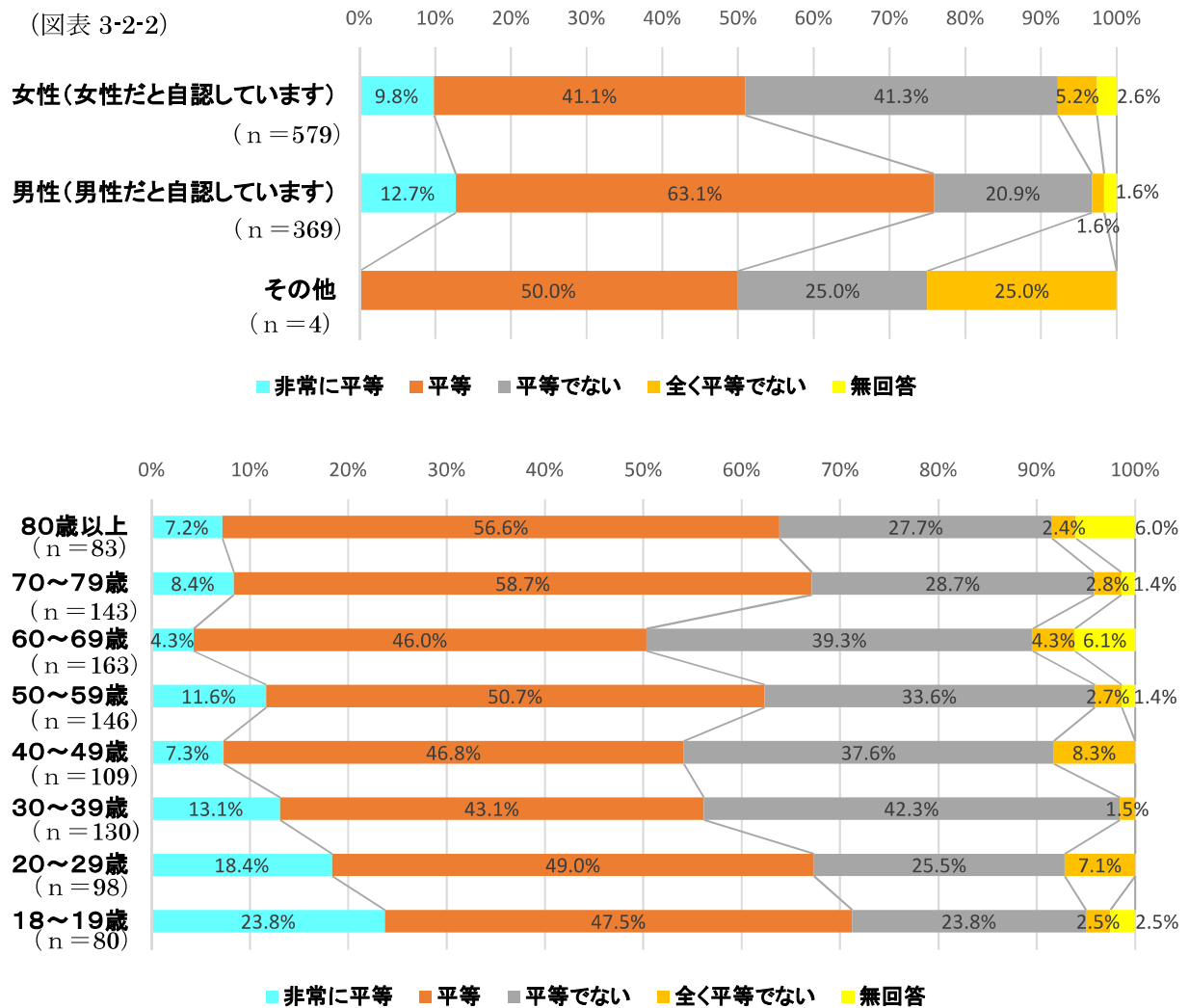


※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	A.家庭生活		B.職場		C.学校教育の場		D.地域社会(町内会、自治会など)		E.政治の場		F.社会制度		G.社会通念・慣習・しきたりなど		H.社会全体として	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
非常に平等	104	10.9%	62	6.5%	52	5.5%	46	4.8%	30	3.1%	28	2.9%	24	2.5%	17	1.8%
平等	473	49.6%	431	45.2%	555	58.2%	429	45.0%	229	24.0%	279	29.2%	227	23.8%	252	26.4%
平等でない	317	33.2%	346	36.3%	212	22.2%	392	41.1%	484	50.7%	502	52.6%	530	55.6%	561	58.8%
全く平等でない	37	3.9%	31	3.2%	20	2.1%	38	4.0%	148	15.5%	85	8.9%	122	12.8%	77	8.1%
無回答	23	2.4%	84	8.8%	115	12.1%	49	5.1%	63	6.6%	60	6.3%	51	5.3%	47	4.9%
合計	954	100%	954	100%	954	100%	954	100%	954	100%	954	100%	954	100%	954	100%

A. 家庭生活

「非常に平等」「平等」と回答したのは女性（50.9%）より男性（75.8%）の方が高く、年代別で見ると10代（71.3%）が最も高くなっている。

(図表 3-2-2)

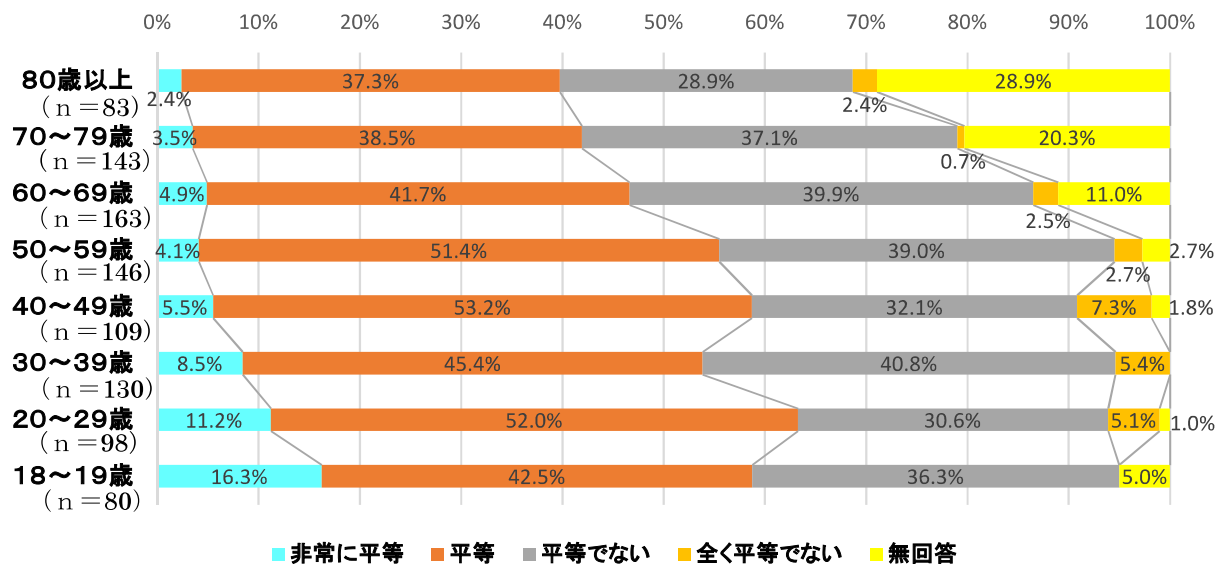
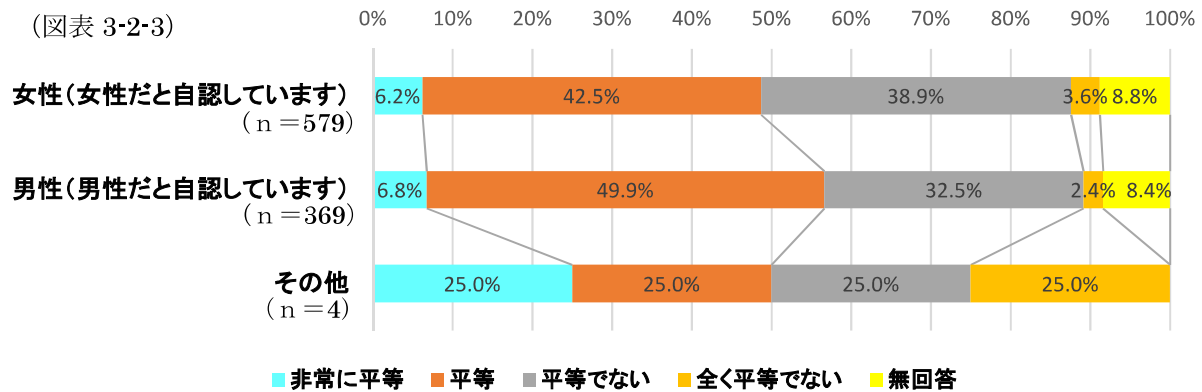


※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	総計		女性（女性だと自認しています）		男性（男性だと自認しています）		その他	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
非常に平等	104	10.9%	57	9.8%	47	12.7%	0	0.0%
平等	473	49.6%	238	41.1%	233	63.1%	2	50.0%
平等でない	317	33.2%	239	41.3%	77	20.9%	1	25.0%
全く平等でない	37	3.9%	30	5.2%	6	1.6%	1	25.0%
無回答	23	2.4%	15	2.6%	6	1.6%	0	0.0%
合計	954	100%	579	100%	369	100%	4	100%

B. 職場

「非常に平等」「平等」と回答したのは女性（48.7%）より男性（56.7%）の方が高く、年代別で見ると20代（63.2%）が最も高くなっている。

(図表 3-2-3)

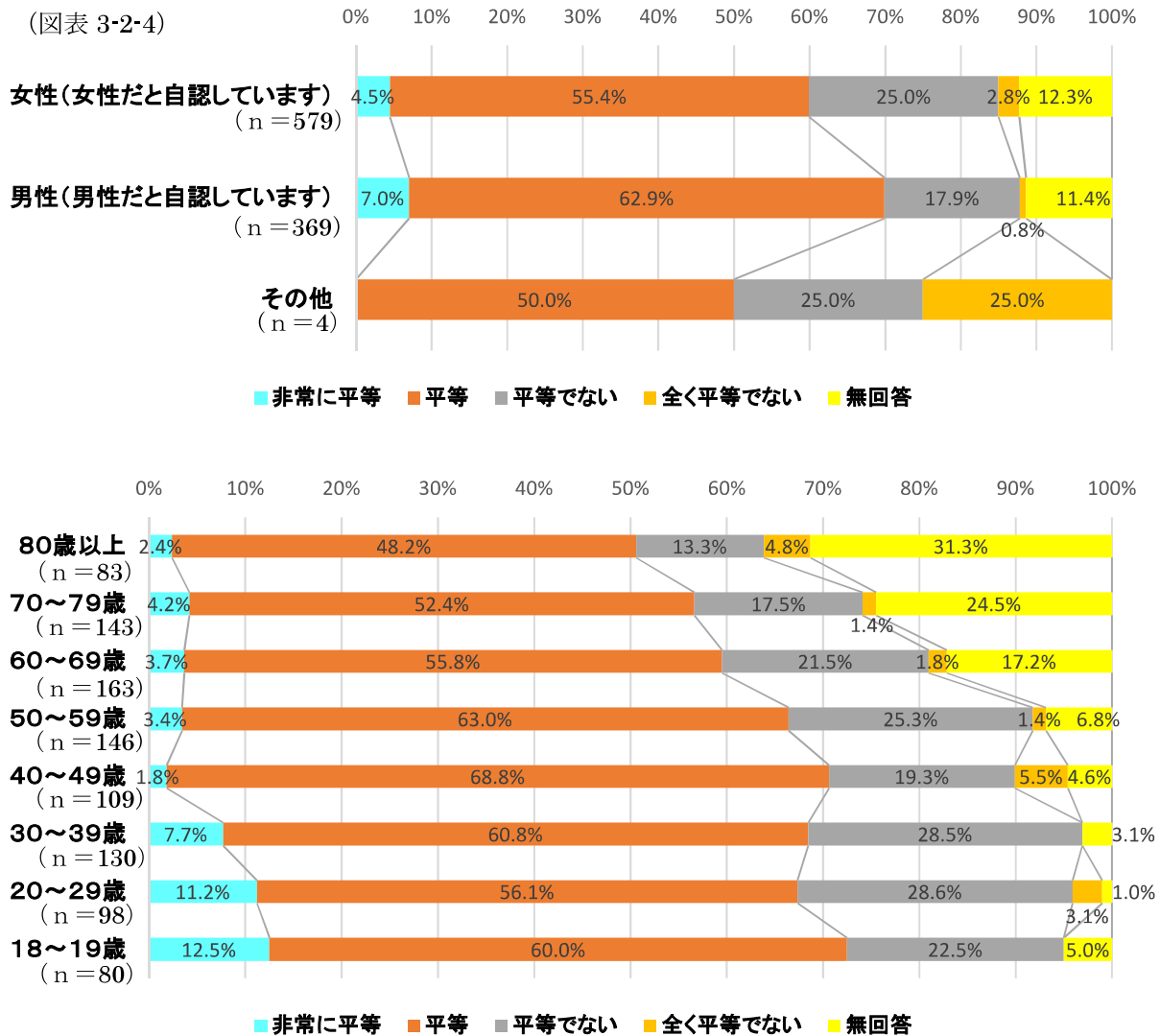


※小数点第2位を 四捨五入しているため 合計が 100%にならない場合 がある	総計		女性（女性だと 自認しています）		男性（男性だと 自認しています）		その他	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
非常に平等	62	6.5%	36	6.2%	25	6.8%	1	25.0%
平等	431	45.2%	246	42.5%	184	49.9%	1	25.0%
平等でない	346	36.3%	225	38.9%	120	32.5%	1	25.0%
全く平等でない	31	3.2%	21	3.6%	9	2.4%	1	25.0%
無回答	84	8.8%	51	8.8%	31	8.4%	0	0.0%
合計	954	100%	579	100%	369	100%	4	100%

C. 学校教育の場

「非常に平等」「平等」と回答したのは女性（59.9%）より男性（69.9%）の方が高く、年代別で見ると10代（72.5%）が最も高くなっている。

(図表 3-2-4)

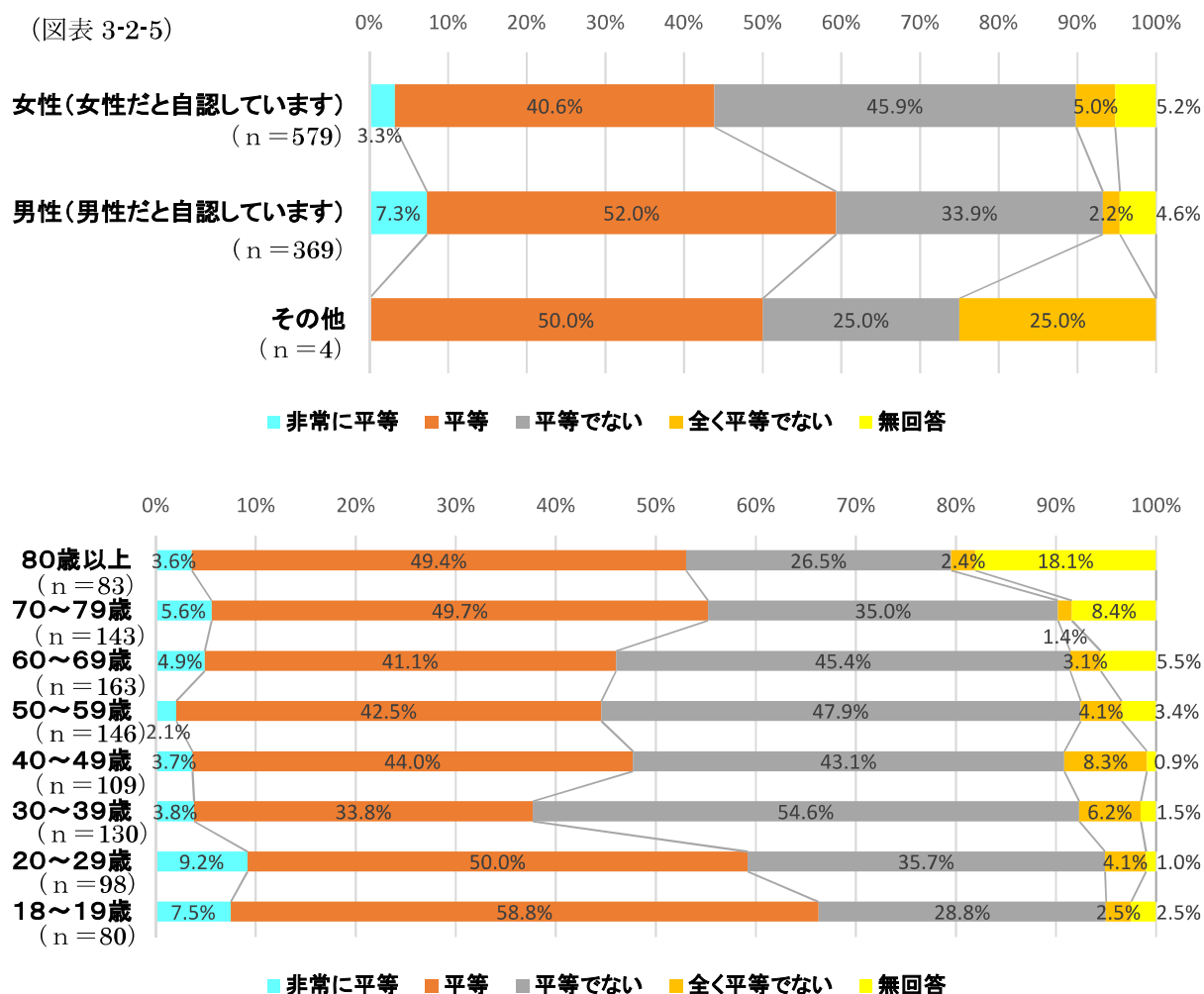


※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	総計		女性（女性だと自認しています）		男性（男性だと自認しています）		その他	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
非常に平等	52	5.5%	26	4.5%	26	7.0%	0	0.0%
平等	555	58.2%	321	55.4%	232	62.9%	2	50.0%
平等でない	212	22.2%	145	25.0%	66	17.9%	1	25.0%
全く平等でない	20	2.1%	16	2.8%	3	0.8%	1	25.0%
無回答	115	12.1%	71	12.3%	42	11.4%	0	0.0%
合計	954	100%	579	100%	369	100%	4	100%

D. 地域社会（町内会、自治会など）

「非常に平等」「平等」と回答したのは女性（43.9%）より男性（59.3%）の方が高く、年代別で見ると10代（66.3%）が最も高くなっている。

（図表 3-2-5）

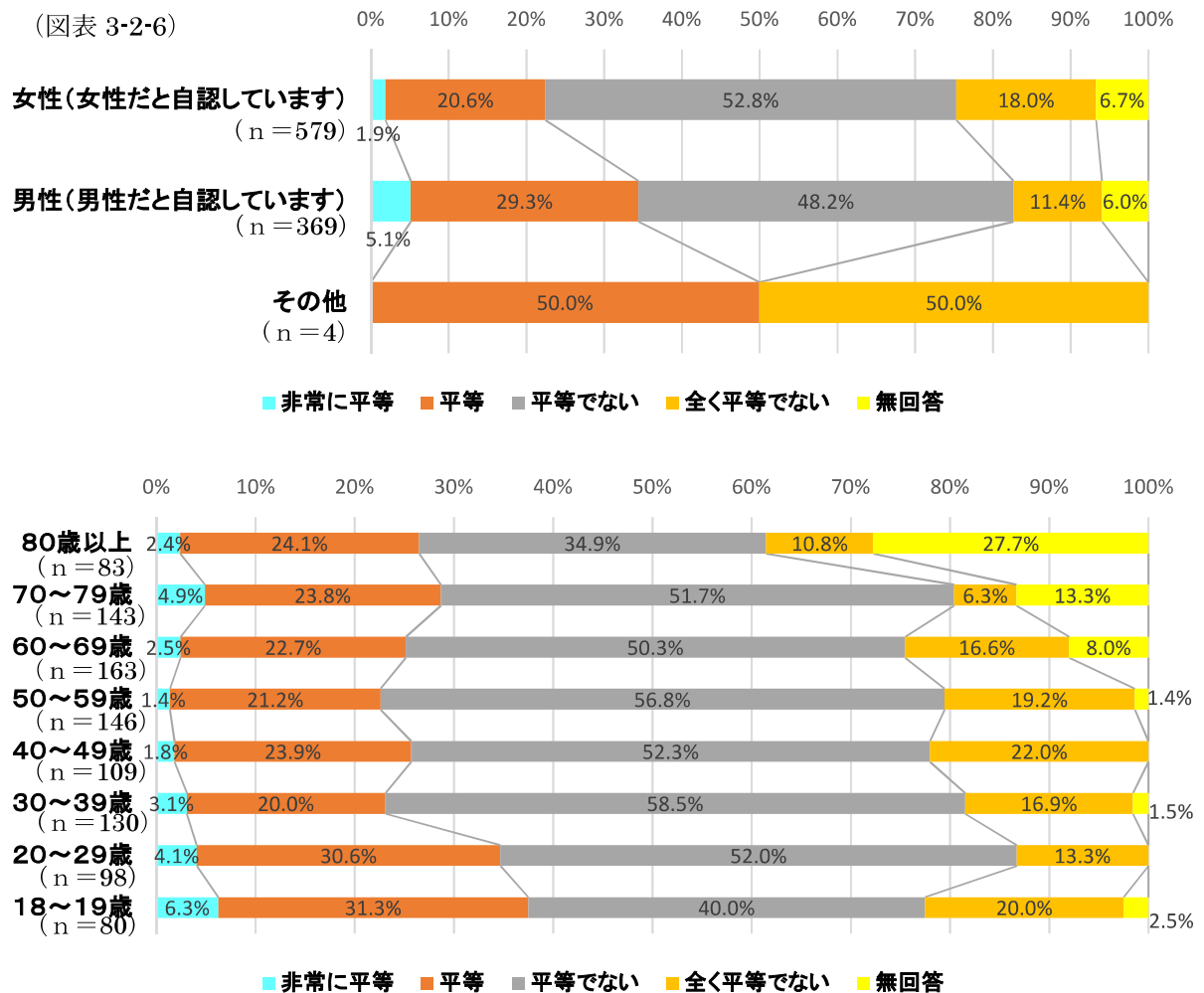


※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	総計		女性（女性だと自認しています）		男性（男性だと自認しています）		その他	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
非常に平等	46	4.8%	19	3.3%	27	7.3%	0	0.0%
平等	429	45.0%	235	40.6%	192	52.0%	2	50.0%
平等でない	392	41.1%	266	45.9%	125	33.9%	1	25.0%
全く平等でない	38	4.0%	29	5.0%	8	2.2%	1	25.0%
無回答	49	5.1%	30	5.2%	17	4.6%	0	0.0%
合計	954	100%	579	100%	369	100%	4	100%

E. 政治の場

全体的に「非常に平等」「平等」より「平等でない」「全く平等でない」と回答した割合が高くなっている。

(図表 3-2-6)

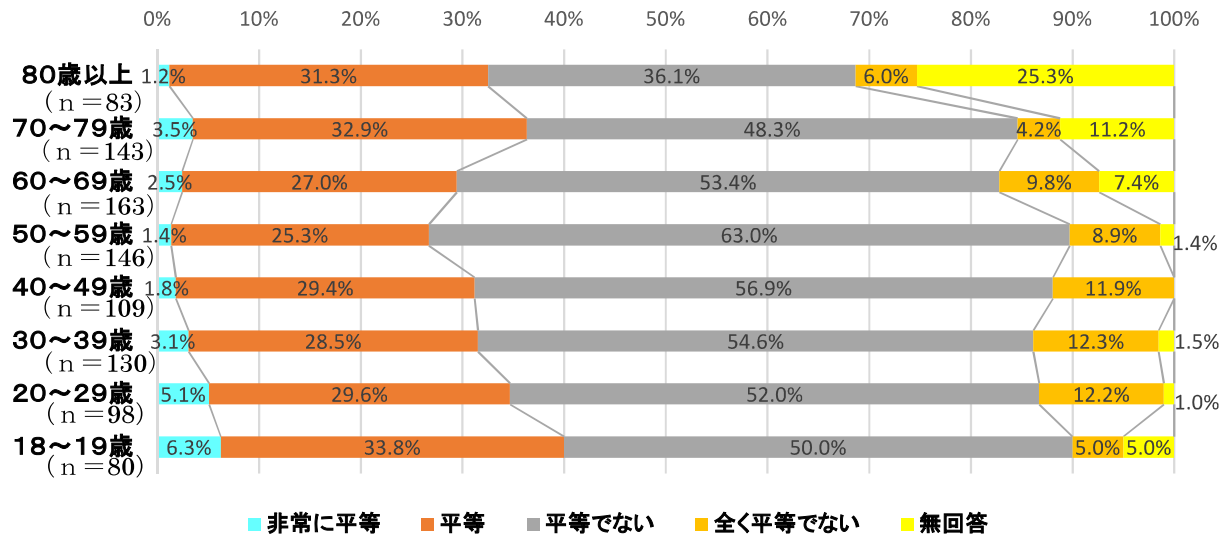
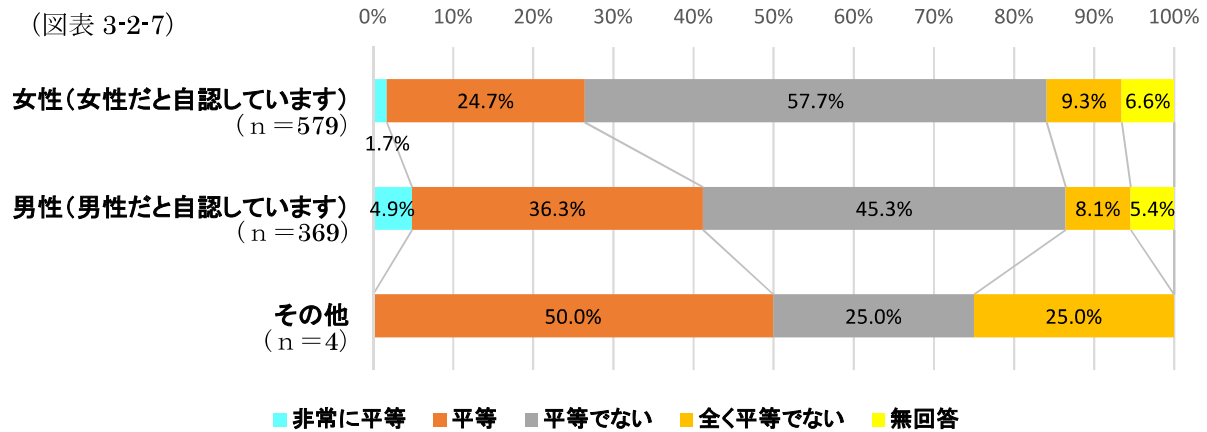


※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	総計		女性(女性だと自認しています)		男性(男性だと自認しています)		その他	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
非常に平等	30	3.1%	11	1.9%	19	5.1%	0	0.0%
平等	229	24.0%	119	20.6%	108	29.3%	2	50.0%
平等でない	484	50.7%	306	52.8%	178	48.2%	0	0.0%
全く平等でない	148	15.5%	104	18.0%	42	11.4%	2	50.0%
無回答	63	6.6%	39	6.7%	22	6.0%	0	0.0%
合計	954	100%	579	100%	369	100%	4	100%

F. 社会制度

年代別で「平等でない」「全く平等でない」との回答した割合が最も高かったのは50代(71.9%)となっている。

(図表 3-2-7)

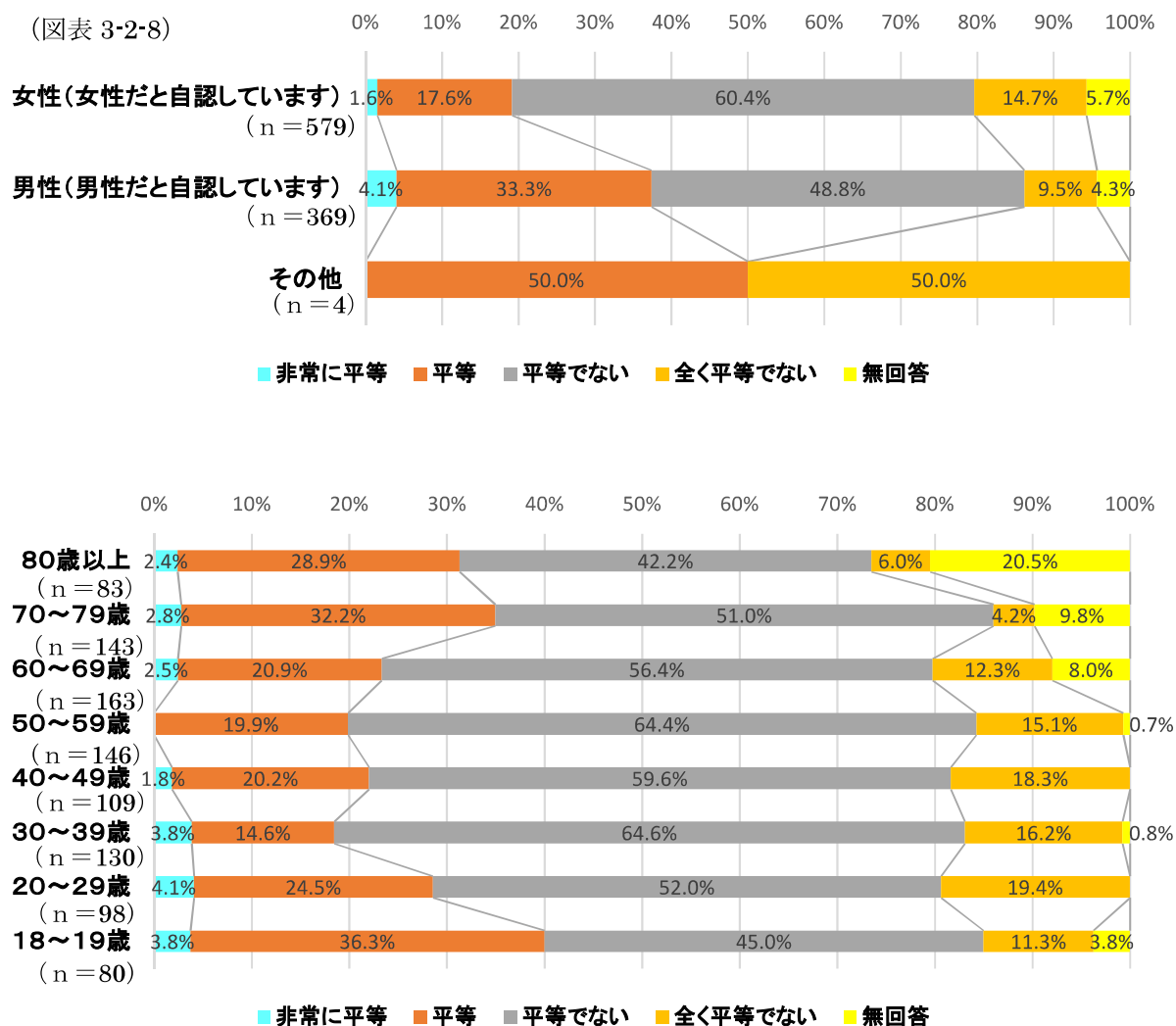


※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	総計		女性(女性だと自認しています)		男性(男性だと自認しています)		その他	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
非常に平等	28	2.9%	10	1.7%	18	4.9%	0	0.0%
平等	279	29.2%	143	24.7%	134	36.3%	2	50.0%
平等でない	502	52.6%	334	57.7%	167	45.3%	1	25.0%
全く平等でない	85	8.9%	54	9.3%	30	8.1%	1	25.0%
無回答	60	6.3%	38	6.6%	20	5.4%	0	0.0%
合計	954	100%	579	100%	369	100%	4	100%

G. 社会通念・慣習・しきたりなど

年代別で見ると「平等でない」「全く平等でない」と回答した割合が高いのは30代(80.8%)で「非常に平等」「平等」と回答した割合が高いのは10代(40.1%)となっている。

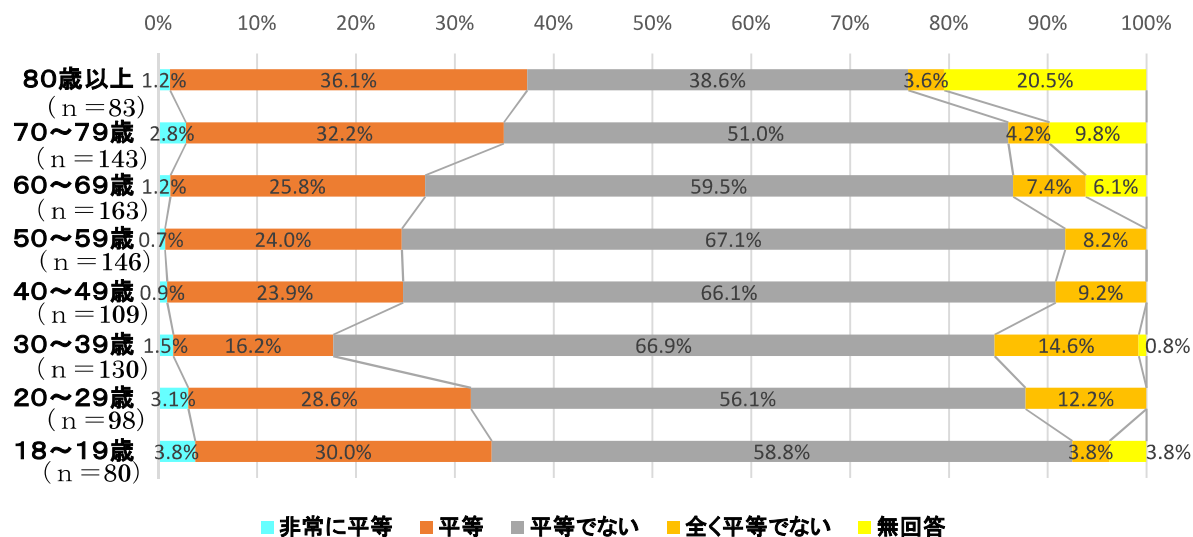
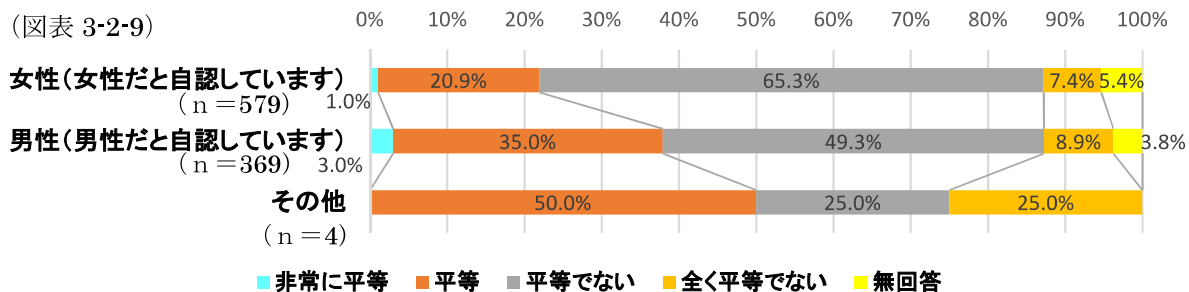
(図表 3-2-8)



※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	総計		女性(女性だと自認しています)		男性(男性だと自認しています)		その他	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
非常に平等	24	2.5%	9	1.6%	15	4.1%	0	0.0%
平等	227	23.8%	102	17.6%	123	33.3%	2	50.0%
平等でない	530	55.6%	350	60.4%	180	48.8%	0	0.0%
全く平等でない	122	12.8%	85	14.7%	35	9.5%	2	50.0%
無回答	51	5.3%	33	5.7%	16	4.3%	0	0.0%
合計	954	100%	579	100%	369	100%	4	100%

H. 社会全体として

「平等ではない」「全く平等ではない」と回答した割合は女性（72.7%）のほうが高く、年代別で最も高い割合が30代（81.5%）となっています。



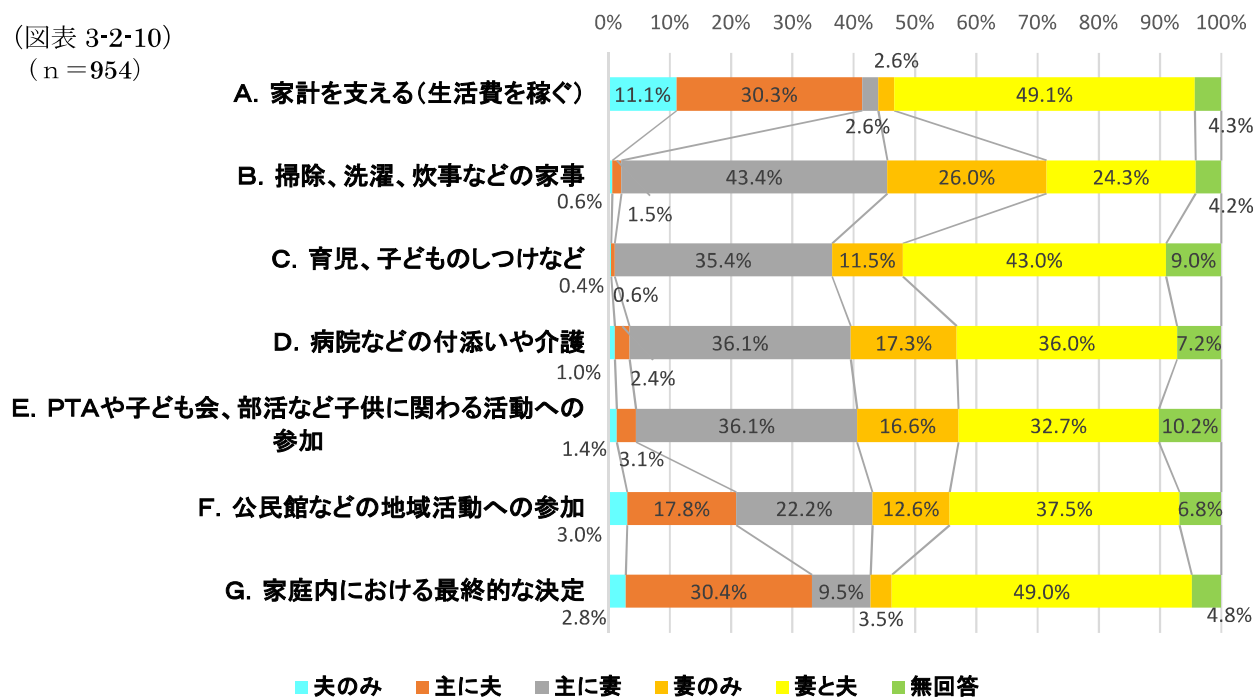
※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある

	総計		女性（女性だと自認しています）		男性（男性だと自認しています）		その他	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
非常に平等	17	1.8%	6	1.0%	11	3.0%	0	0.0%
平等	252	26.4%	121	20.9%	129	35.0%	2	50.0%
平等でない	561	58.8%	378	65.3%	182	49.3%	1	25.0%
まったく平等でない	77	8.1%	43	7.4%	33	8.9%	1	25.0%
無回答	47	4.9%	31	5.4%	14	3.8%	0	0.0%
合計	954	100%	579	100%	369	100%	4	100%

問7 あなたのご家庭では、次のA～Gの項目について、主に誰が行っていますか。（現在該当が無くても過去のご経験や今後の予想としてお選びください。

「妻と夫」と回答した割合が最も高いのはA.家計を支える（49.1%）、次いでG.家庭内における最終的な決定（49.0%）となっている。「夫のみ」と回答した割合が高いのはA. 家計を支える（11.1%）
「妻のみ」と回答した割合が高いのはB.掃除、洗濯、炊事などの家事（26.0%）となっている。

(図表 3-2-10)
(n = 954)

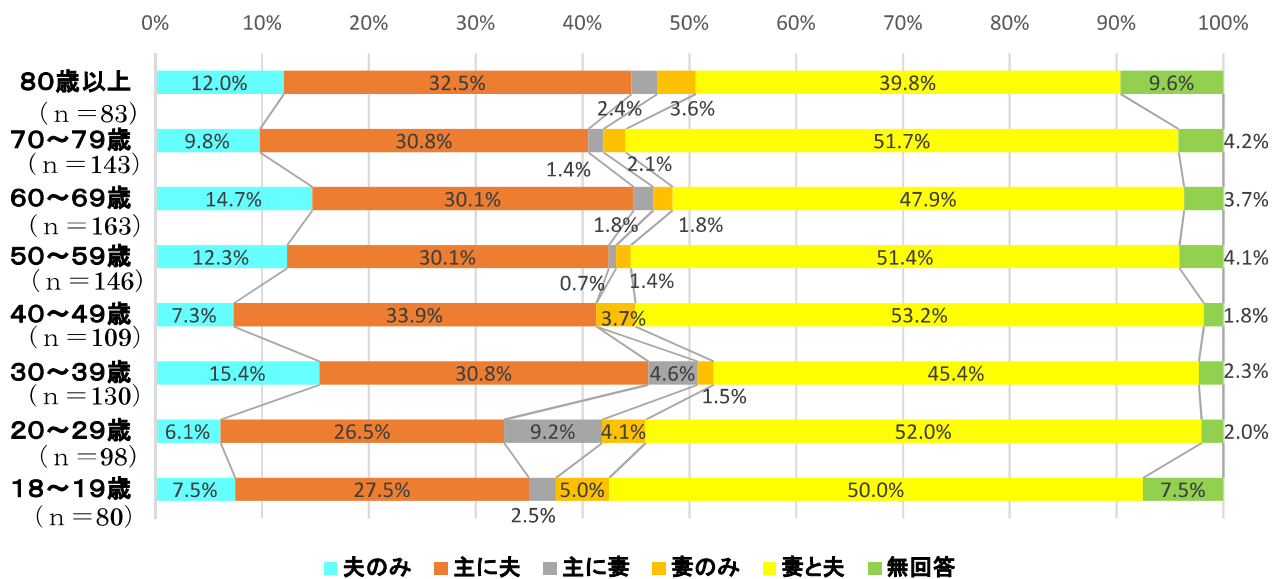
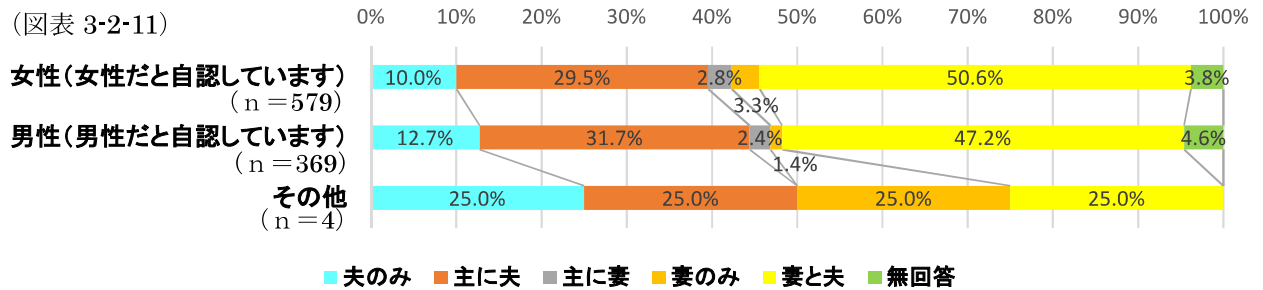


※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	A. 家計を支える(生活費を稼ぐ)		B. 掃除、洗濯、炊事などの家事		C. 育児、子どものしつけなど		D. 病院などの付添いや介護		E. PTAや子ども会、部活など子供に関わる活動への参加		F. 公民館などの地域活動への参加		G. 家庭内における最終的な決定	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
夫のみ	106	11.1%	6	0.6%	4	0.4%	10	1.0%	13	1.4%	29	3.0%	27	2.8%
主に夫	289	30.3%	14	1.5%	6	0.6%	23	2.4%	30	3.1%	170	17.8%	290	30.4%
主に妻	25	2.6%	414	43.4%	338	35.4%	344	36.1%	344	36.1%	212	22.2%	91	9.5%
妻のみ	25	2.6%	248	26.0%	110	11.5%	165	17.3%	158	16.6%	120	12.6%	33	3.5%
妻と夫	468	49.1%	232	24.3%	410	43.0%	343	36.0%	312	32.7%	358	37.5%	467	49.0%
無回答	41	4.3%	40	4.2%	86	9.0%	69	7.2%	97	10.2%	65	6.8%	46	4.8%
合計	954	100%	954	100%	954	99.9%	954	100%	954	100.1%	954	99.9%	954	100%

A. 家計を支える（生活費を稼ぐ）

「妻と夫」と回答した割合が最も高いのは40代（53.2%）となっており、「夫のみ」と最も回答した割合が高いのは30代（15.4%）となっている。

（図表 3-2-11）

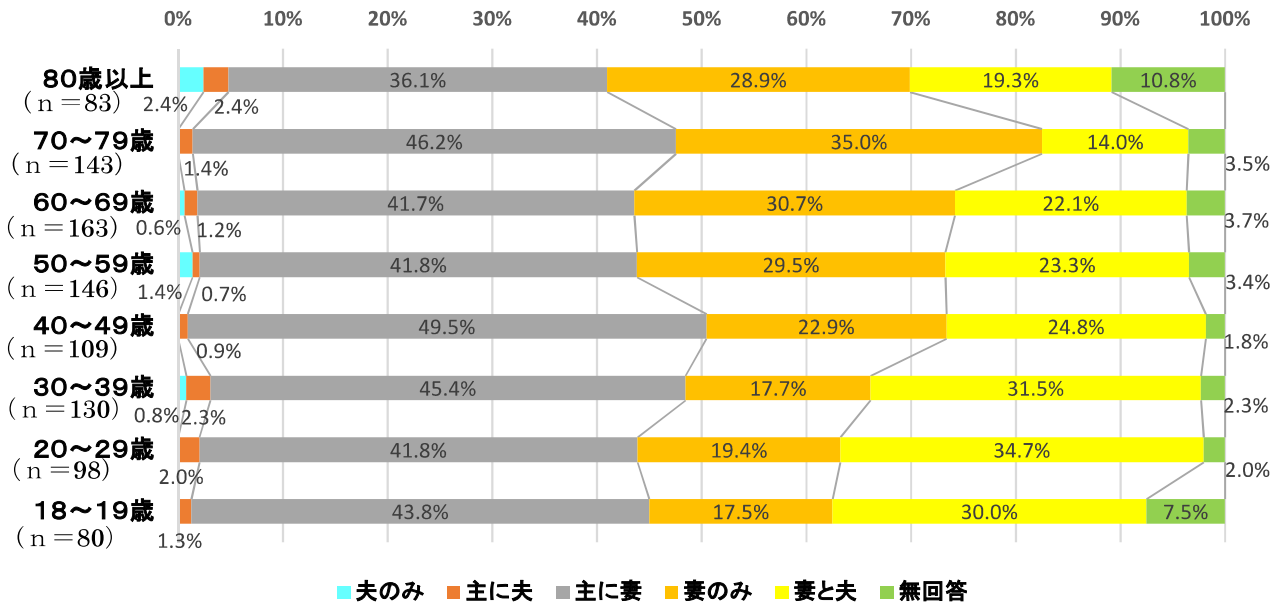
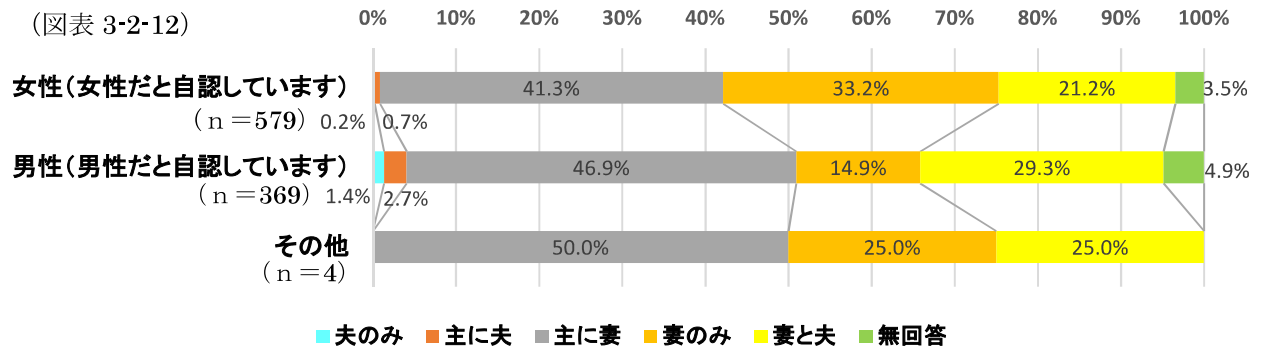


※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	18~19歳		20~29歳		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70~79歳		80歳以上	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
夫のみ	6	7.5%	6	6.1%	20	15.4%	8	7.3%	18	12.3%	24	14.7%	14	9.8%	10	12.0%
主に夫	22	27.5%	26	26.5%	40	30.8%	37	33.9%	44	30.1%	49	30.1%	44	30.8%	27	32.5%
主に妻	2	2.5%	9	9.2%	6	4.6%	0	0.0%	1	0.7%	3	1.8%	2	1.4%	2	2.4%
妻のみ	4	5.0%	4	4.1%	2	1.5%	4	3.7%	2	1.4%	3	1.8%	3	2.1%	3	3.6%
妻と夫	40	50.0%	51	52.0%	59	45.4%	58	53.2%	75	51.4%	78	47.9%	74	51.7%	33	39.8%
無回答	6	7.5%	2	2.0%	3	2.3%	2	1.8%	6	4.1%	6	3.7%	6	4.2%	8	9.6%
合計	80	100%	98	99.9%	130	100%	109	99.9%	146	100%	163	100%	143	100%	83	99.9%

B. 掃除、洗濯、炊事などの家事

「妻と夫」と回答した割合が最も高いのは20代（34.7%）に対して「妻のみ」と最も回答した割合が高いのは70代（35.0%）となっている。

(図表 3-2-12)

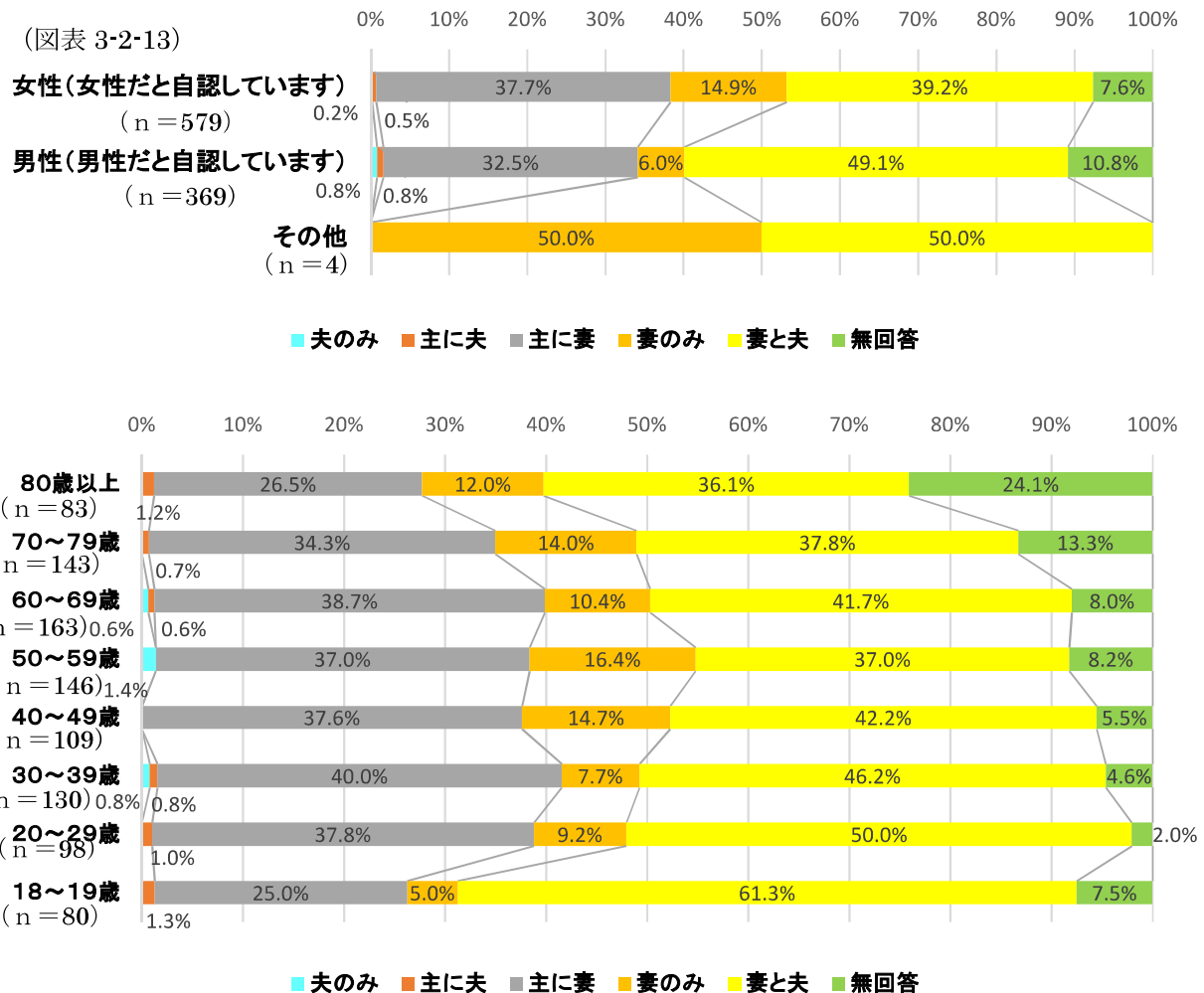


※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	18~19歳		20~29歳		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70~79歳		80歳以上	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
夫のみ	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%	2	1.4%	1	0.6%	0	0.0%	2	2.4%
主に夫	1	1.3%	2	2.0%	3	2.3%	1	0.9%	1	0.7%	2	1.2%	2	1.4%	2	2.4%
主に妻	35	43.8%	41	41.8%	59	45.4%	54	49.5%	61	41.8%	68	41.7%	66	46.2%	30	36.1%
妻のみ	14	17.5%	19	19.4%	23	17.7%	25	22.9%	43	29.5%	50	30.7%	50	35.0%	24	28.9%
妻と夫	24	30.0%	34	34.7%	41	31.5%	27	24.8%	34	23.3%	36	22.1%	20	14.0%	16	19.3%
無回答	6	7.5%	2	2.0%	3	2.3%	2	1.8%	5	3.4%	6	3.7%	5	3.5%	9	10.8%
合計	80	100.1%	98	99.9%	130	100%	109	99.9%	146	100.1%	163	100%	143	100.1%	83	99.9%

C. 育児、子供のしつけなど

「妻と夫」と回答した割合が最も高いのは10代（61.3%）に対して「妻のみ」と最も回答した割合が高いのは50代（16.4%）となっている。

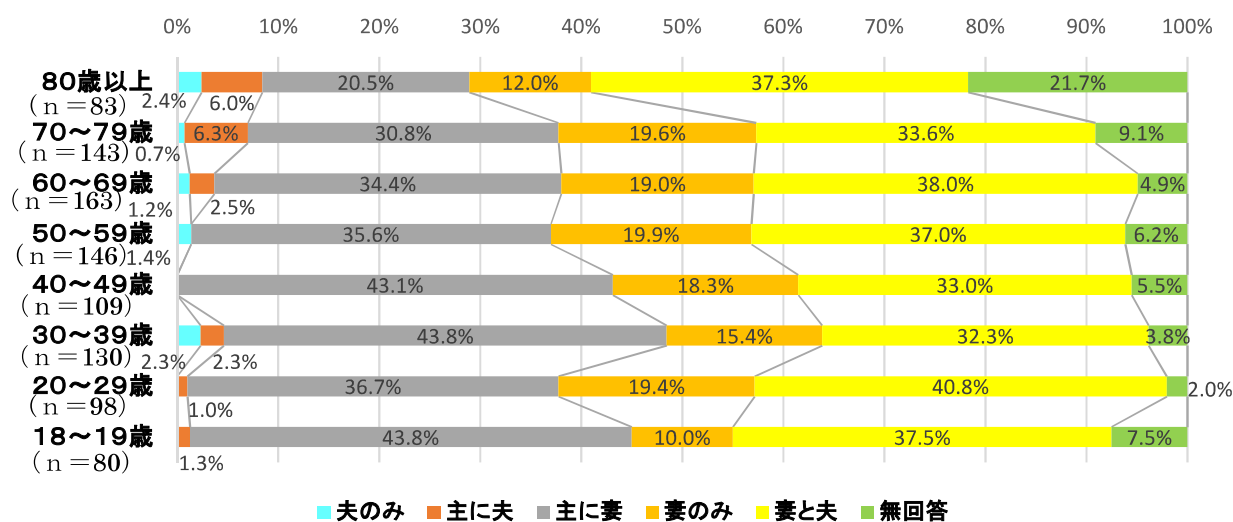
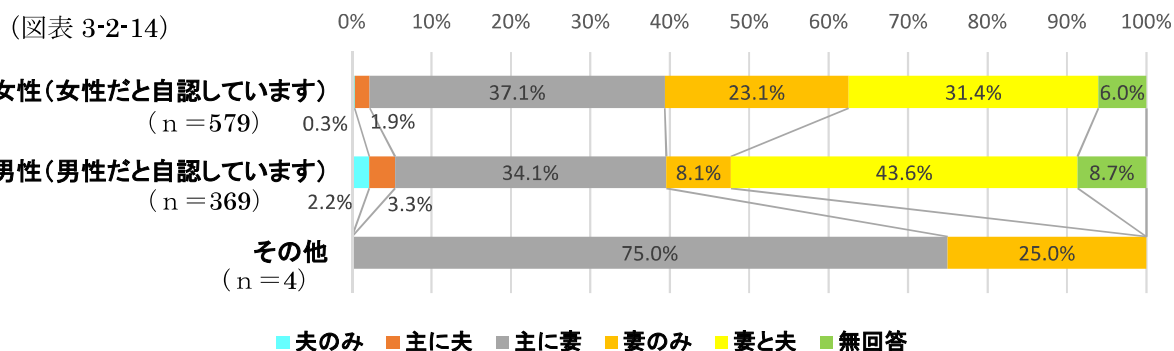
(図表 3-2-13)



※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	18~19歳		20~29歳		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70~79歳		80歳以上	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
夫のみ	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%	2	1.4%	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%
主に夫	1	1.3%	1	1.0%	1	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%	1	0.7%	1	1.2%
主に妻	20	25.0%	37	37.8%	52	40.0%	41	37.6%	54	37.0%	63	38.7%	49	34.3%	22	26.5%
妻のみ	4	5.0%	9	9.2%	10	7.7%	16	14.7%	24	16.4%	17	10.4%	20	14.0%	10	12.0%
妻と夫	49	61.3%	49	50.0%	60	46.2%	46	42.2%	54	37.0%	68	41.7%	54	37.8%	30	36.1%
無回答	6	7.5%	2	2.0%	6	4.6%	6	5.5%	12	8.2%	13	8.0%	19	13.3%	20	24.1%
合計	80	100.1%	98	100%	130	100.1%	109	100%	146	100%	163	100%	143	100.1%	83	99.9%

D. 病院などの付添いや介護

「男性」は「妻と夫」(43.6%)と回答している割合が高いのに対して「女性」は「妻のみ」(23.1%)と回答している割合が高い。

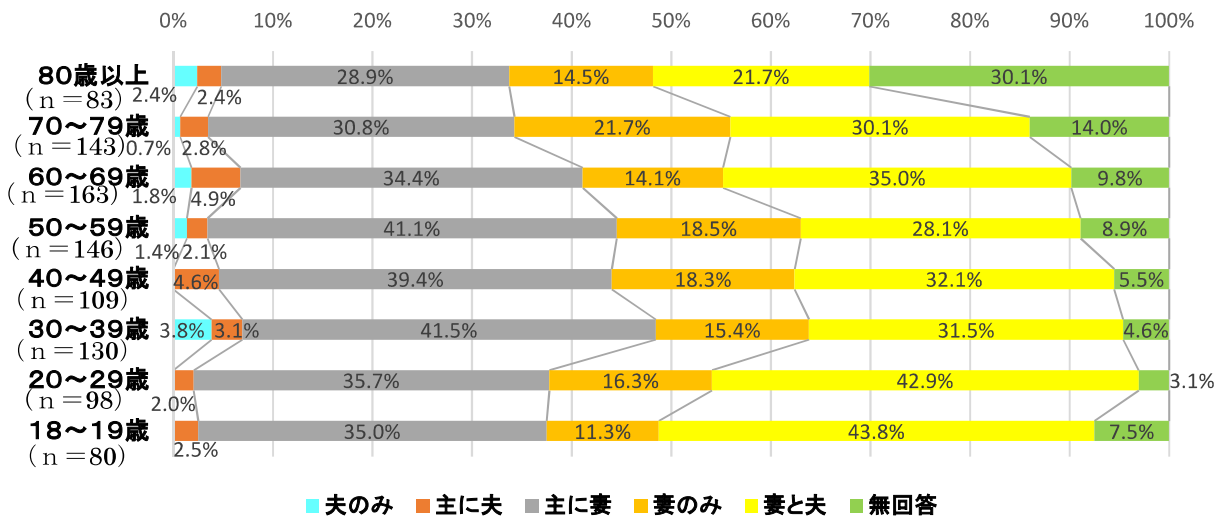
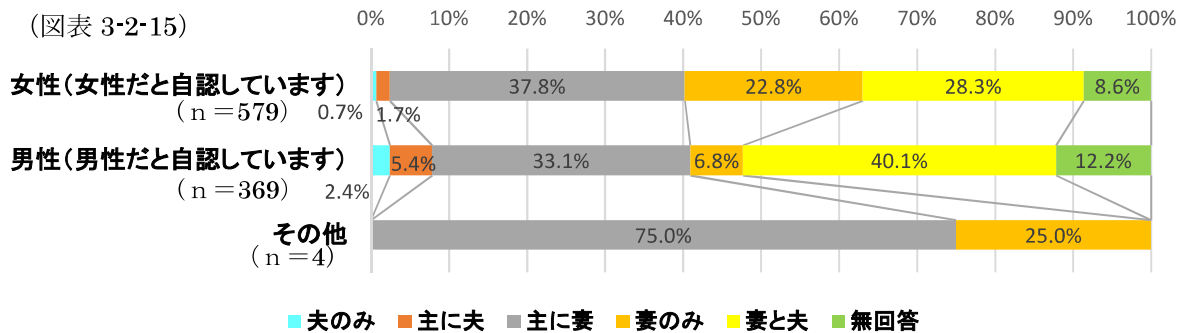


※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	18~19歳		20~29歳		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70~79歳		80歳以上	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
夫のみ	0	0.0%	0	0.0%	3	2.3%	0	0.0%	2	1.4%	2	1.2%	1	0.7%	2	2.4%
主に夫	1	1.3%	1	1.0%	3	2.3%	0	0.0%	0	0.0%	4	2.5%	9	6.3%	5	6.0%
主に妻	35	43.8%	36	36.7%	57	43.8%	47	43.1%	52	35.6%	56	34.4%	44	30.8%	17	20.5%
妻のみ	8	10.0%	19	19.4%	20	15.4%	20	18.3%	29	19.9%	31	19.0%	28	19.6%	10	12.0%
妻と夫	30	37.5%	40	40.8%	42	32.3%	36	33.0%	54	37.0%	62	38.0%	48	33.6%	31	37.3%
無回答	6	7.5%	2	2.0%	5	3.8%	6	5.5%	9	6.2%	8	4.9%	13	9.1%	18	21.7%
合計	80	100.1%	98	99.9%	130	99.9%	109	99.9%	146	100.1%	163	100%	143	100.1%	83	99.9%

E. PTAや子ども会、部活など子供に関わる活動への参加

30代以上の子育て世代では、「主に妻」の割合が高く、10代～20代は「妻と夫」の割合が高い。

(図表 3-2-15)

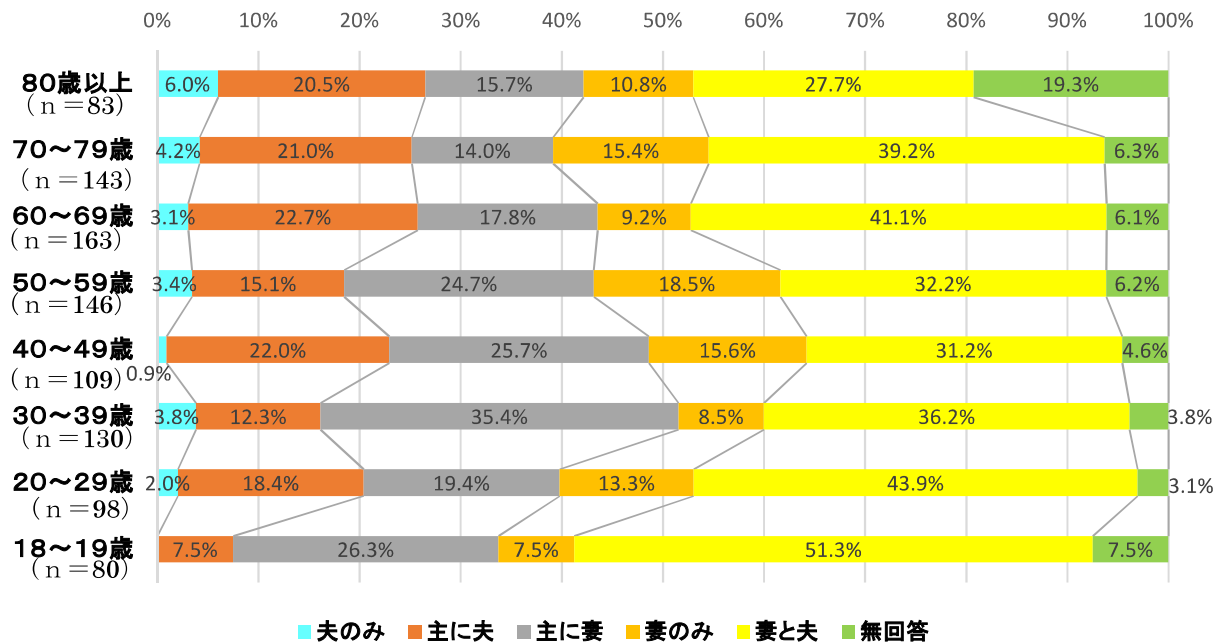
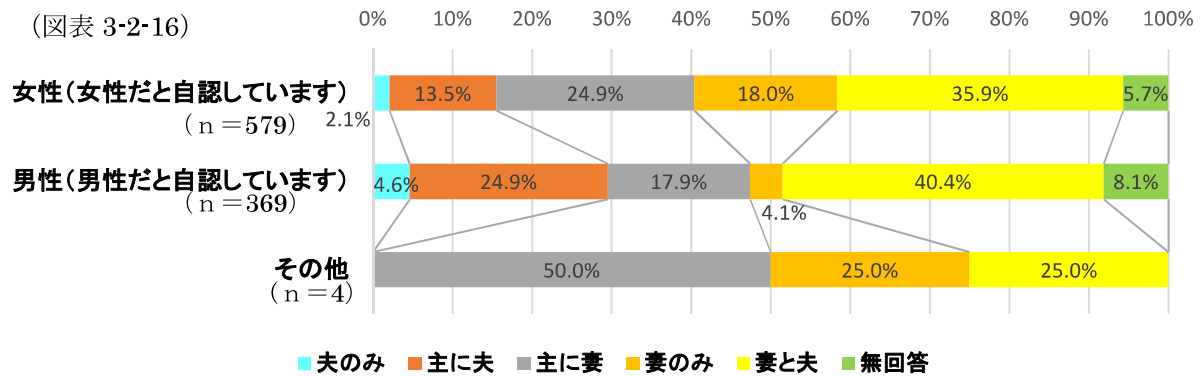


※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	18～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳以上	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
夫のみ	0	0.0%	0	0.0%	5	3.8%	0	0.0%	2	1.4%	3	1.8%	1	0.7%	2	2.4%
主に夫	2	2.5%	2	2.0%	4	3.1%	5	4.6%	3	2.1%	8	4.9%	4	2.8%	2	2.4%
主に妻	28	35.0%	35	35.7%	54	41.5%	43	39.4%	60	41.1%	56	34.4%	44	30.8%	24	28.9%
妻のみ	9	11.3%	16	16.3%	20	15.4%	20	18.3%	27	18.5%	23	14.1%	31	21.7%	12	14.5%
妻と夫	35	43.8%	42	42.9%	41	31.5%	35	32.1%	41	28.1%	57	35.0%	43	30.1%	18	21.7%
無回答	6	7.5%	3	3.1%	6	4.6%	6	5.5%	13	8.9%	16	9.8%	20	14.0%	25	30.1%
合計	80	100.1%	98	100%	130	99.9%	109	99.9%	146	100.1%	163	100%	143	100.1%	83	100%

F. 公民館などの地域活動への参加

「主に夫」と最も回答した割合が高いのは60代（22.7%）次いで40代（22.0%）、70代（21.0%）というようになっている。

(図表 3-2-16)

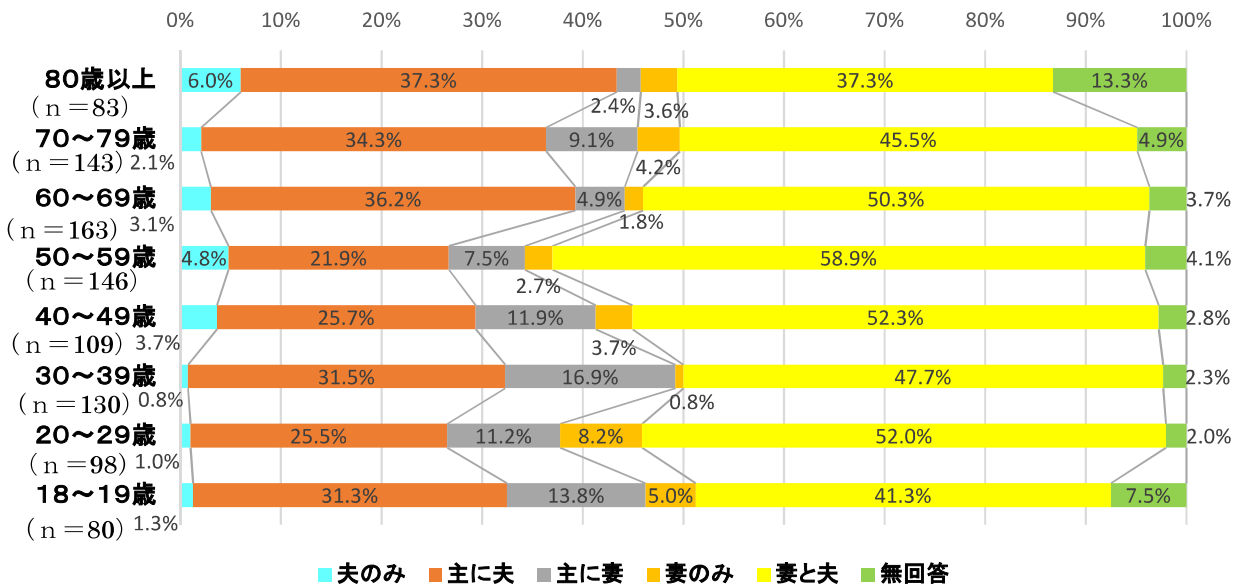
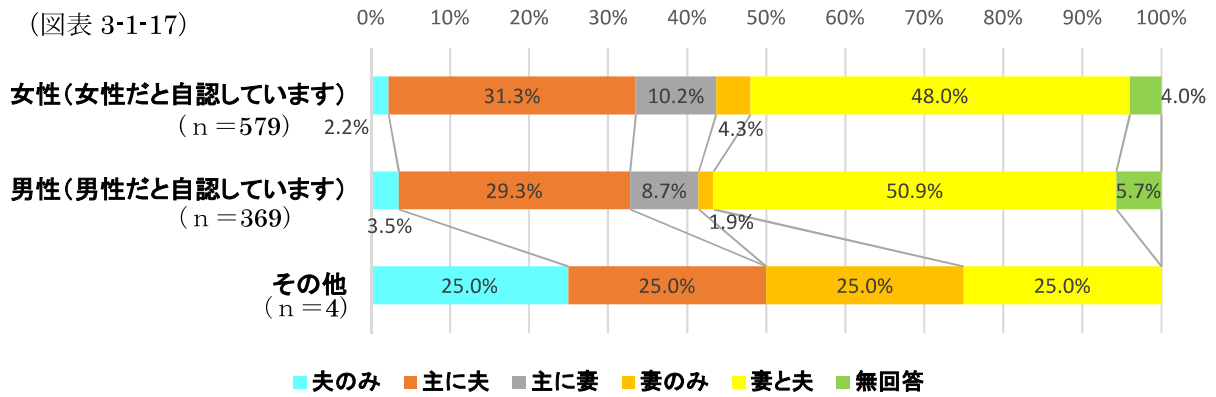


※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	18~19歳		20~29歳		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70~79歳		80歳以上	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
夫のみ	0	0.0%	2	2.0%	5	3.8%	1	0.9%	5	3.4%	5	3.1%	6	4.2%	5	6.0%
主に夫	6	7.5%	18	18.4%	16	12.3%	24	22.0%	22	15.1%	37	22.7%	30	21.0%	17	20.5%
主に妻	21	26.3%	19	19.4%	46	35.4%	28	25.7%	36	24.7%	29	17.8%	20	14.0%	13	15.7%
妻のみ	6	7.5%	13	13.3%	11	8.5%	17	15.6%	27	18.5%	15	9.2%	22	15.4%	9	10.8%
妻と夫	41	51.3%	43	43.9%	47	36.2%	34	31.2%	47	32.2%	67	41.1%	56	39.2%	23	27.7%
無回答	6	7.5%	3	3.1%	5	3.8%	5	4.6%	9	6.2%	10	6.1%	9	6.3%	16	19.3%
合計	80	100.1%	98	100.1%	130	100%	109	100%	146	100.1%	163	100%	143	100.1%	83	100%

G. 家庭内における最終的な決定

「妻と夫」と最も回答した割合が高いのは50代（58.9%）次いで40代（52.3%）、20代（52.0%）というようになっている。

(図表 3-1-17)



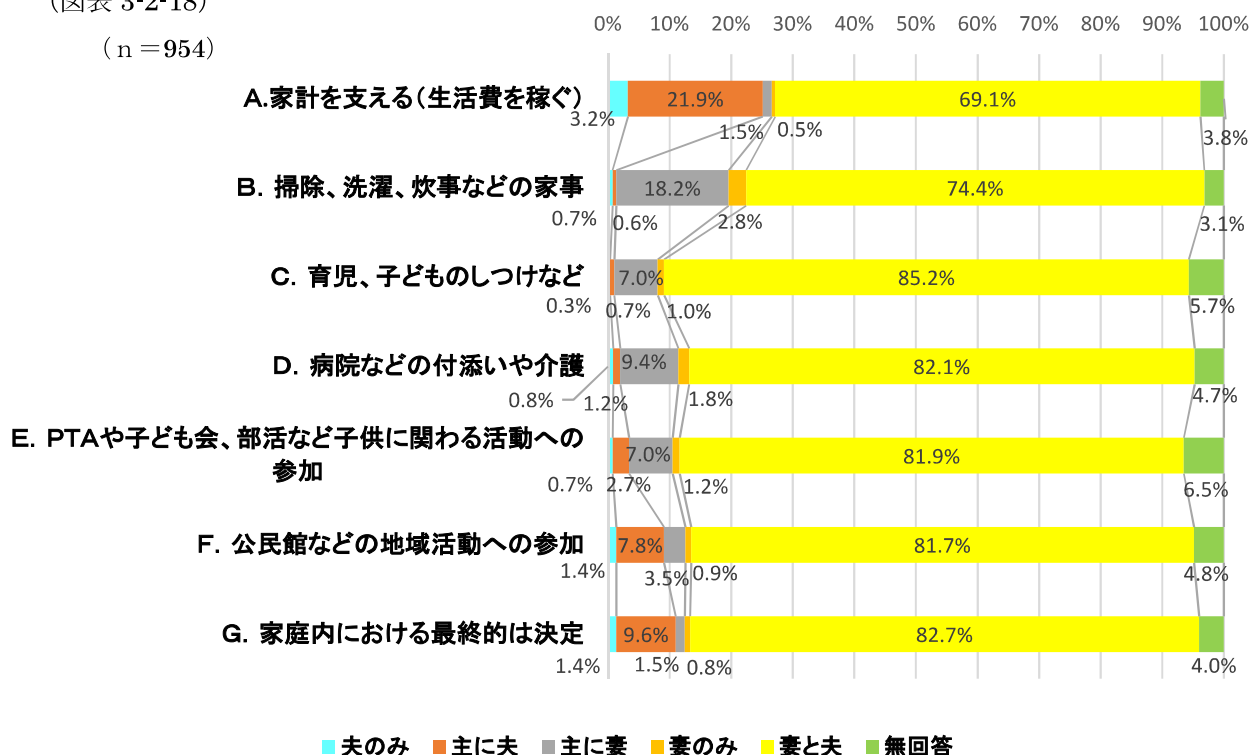
※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	18~19歳		20~29歳		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70~79歳		80歳以上	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
夫のみ	1	1.3%	1	1.0%	1	0.8%	4	3.7%	7	4.8%	5	3.1%	3	2.1%	5	6.0%
主に夫	25	31.3%	25	25.5%	41	31.5%	28	25.7%	32	21.9%	59	36.2%	49	34.3%	31	37.3%
主に妻	11	13.8%	11	11.2%	22	16.9%	13	11.9%	11	7.5%	8	4.9%	13	9.1%	2	2.4%
妻のみ	4	5.0%	8	8.2%	1	0.8%	4	3.7%	4	2.7%	3	1.8%	6	4.2%	3	3.6%
妻と夫	33	41.3%	51	52.0%	62	47.7%	57	52.3%	86	58.9%	82	50.3%	65	45.5%	31	37.3%
無回答	6	7.5%	2	2.0%	3	2.3%	3	2.8%	6	4.1%	6	3.7%	7	4.9%	11	13.3%
合計	80	100.2%	98	99.9%	130	100%	109	100.1%	146	99.9%	163	100%	143	100.1%	83	99.9%

問8 あなたのご家庭では、次のA～Gの項目について、どのように分担するのが理想であると思いますか。

全ての項目で「妻と夫」と回答した割合は高いが、「家計を支える（生活費を稼ぐ）」に関しては、他の項目に比べ「妻と夫」（69.1%）が低く、「主に夫」（21.9%）と回答した割合が高い。

(図表 3-2-18)

(n=954)

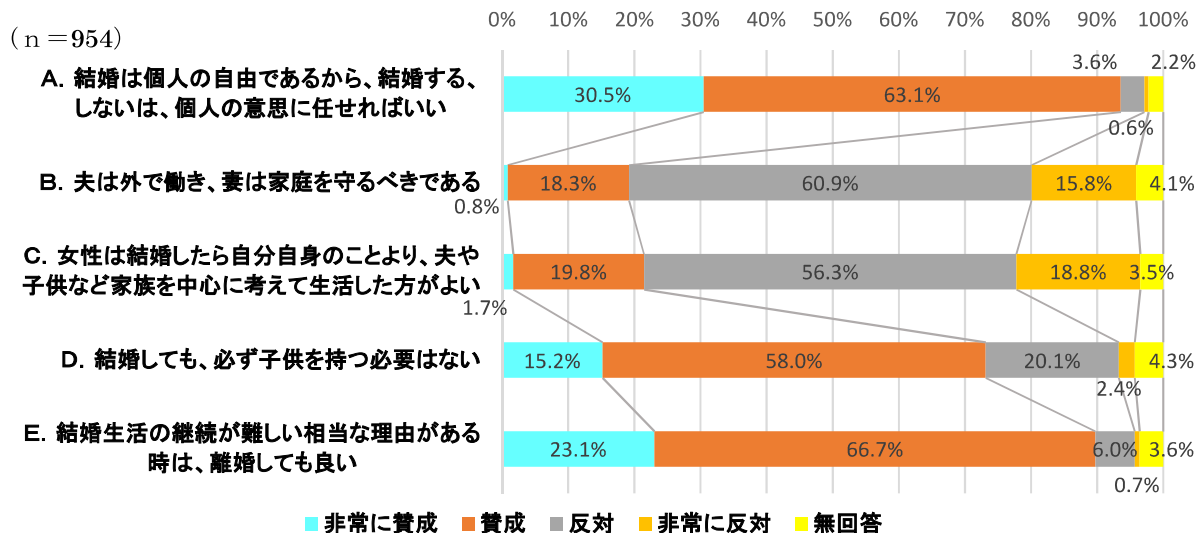


※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	A. 家計を支える(生活費を稼ぐ)		B. 掃除、洗濯、炊事などの家事		C. 育児、子どものしつけなど		D. 病院などの付添いや介護		E. PTAや子ども会、部活など子供に関わる活動への参加		F. 公民館などの地域活動への参加		G. 家庭内における最終的は決定	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
夫のみ	31	3.2%	7	0.7%	3	0.3%	8	0.8%	7	0.7%	13	1.4%	13	1.4%
主に夫	209	21.9%	6	0.6%	7	0.7%	11	1.2%	26	2.7%	74	7.8%	92	9.6%
主に妻	14	1.5%	174	18.2%	67	7.0%	90	9.4%	67	7.0%	33	3.5%	14	1.5%
妻のみ	5	0.5%	27	2.8%	10	1.0%	17	1.8%	11	1.2%	9	0.9%	8	0.8%
妻と夫	659	69.1%	710	74.4%	813	85.2%	783	82.1%	781	81.9%	779	81.7%	789	82.7%
無回答	36	3.8%	30	3.1%	54	5.7%	45	4.7%	62	6.5%	46	4.8%	38	4.0%
合計	954	100%	954	99.8%	954	99.9%	954	100%	954	100%	954	100.1%	954	100%

問9. 結婚、家庭、離婚についてのあなたのご意見を、次のA～Eの項目についてお尋ねします。

項目A、D、Eでは、「賛成」「非常に賛成」と回答した割合が7割以上を占めているが、項目B、Cでは、「反対」「非常に反対」と回答した割合が7割以上となっている。

(図表 3-2-19)

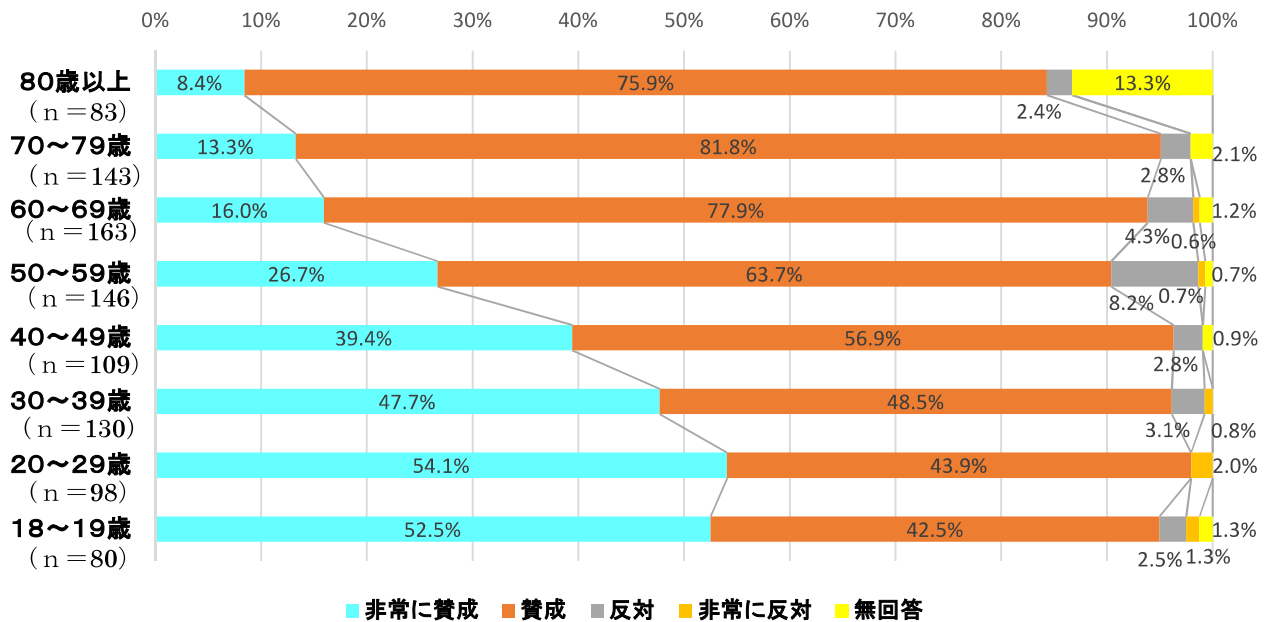
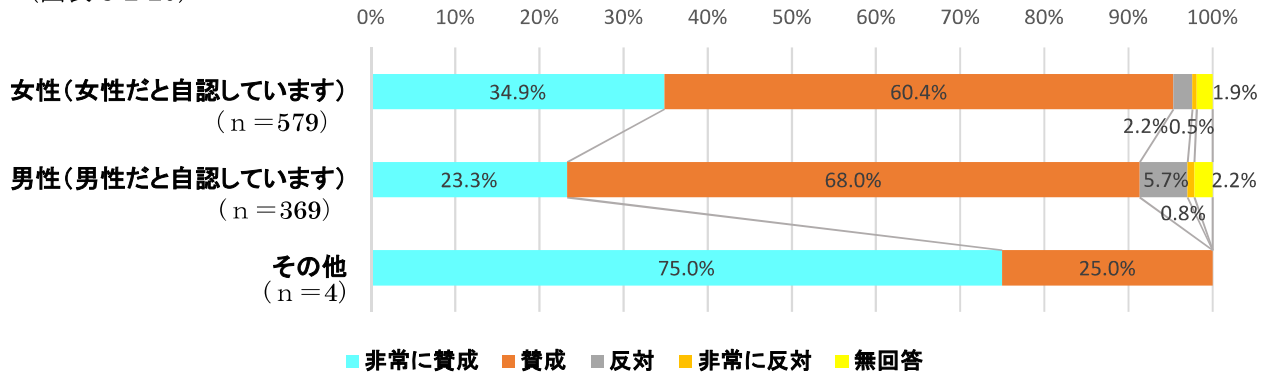


※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	A. 結婚は個人の自由であるから、結婚する、しないは、個人の意思に任せればいい		B. 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである		C. 女性は結婚したら自分自身のことより、夫や子供など家族を中心に考えて生活した方がよい		D. 結婚しても、必ず子供を持つ必要はない		E. 結婚生活の継続が難しい相当な理由がある時は、離婚しても良い	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
非常に賛成	291	30.5%	8	0.8%	16	1.7%	145	15.2%	220	23.1%
賛成	602	63.1%	175	18.3%	189	19.8%	553	58.0%	636	66.7%
反対	34	3.6%	581	60.9%	537	56.3%	192	20.1%	57	6.0%
非常に反対	6	0.6%	151	15.8%	179	18.8%	23	2.4%	7	0.7%
無回答	21	2.2%	39	4.1%	33	3.5%	41	4.3%	34	3.6%
合計	954	100%	954	99.9%	954	100.1%	954	100%	954	100.1%

A. 結婚は個人の自由であるから、結婚する、しないは、個人の意志に任せればいい

全ての年代で「賛成」「非常に賛成」と回答している割合が8割以上を占めているが、年代が上がるにつれ「非常に賛成」と回答した割合が低くなっている。

(図表 3-2-20)

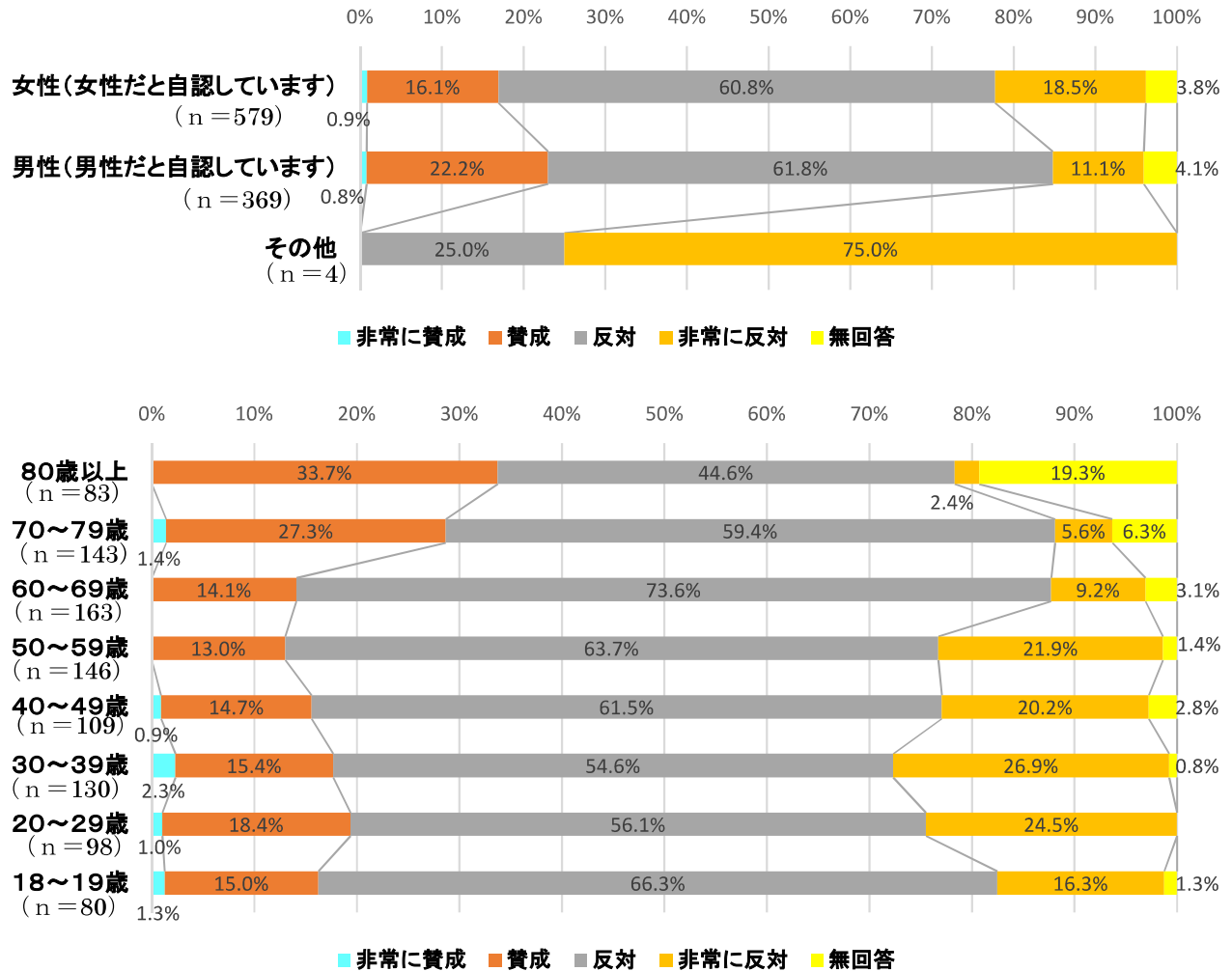


※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	18~19歳		20~29歳		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70~79歳		80歳以上	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
非常に賛成	42	52.5%	53	54.1%	62	47.7%	43	39.4%	39	26.7%	26	16.0%	19	13.3%	7	8.4%
賛成	34	42.5%	43	43.9%	63	48.5%	62	56.9%	93	63.7%	127	77.9%	117	81.8%	63	75.9%
反対	2	2.5%	0	0.0%	4	3.1%	3	2.8%	12	8.2%	7	4.3%	4	2.8%	2	2.4%
非常に反対	1	1.3%	2	2.0%	1	0.8%	0	0.0%	1	0.7%	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	1	1.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.9%	1	0.7%	2	1.2%	3	2.1%	11	13.3%
合計	80	100.1%	98	100%	130	100.1%	109	100%	146	100%	163	100%	143	100%	83	100%

B. 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである

「賛成」と回答した割合が最も高い年代が80代以上（33.7%）となっている。「反対」と回答した割合が最も高い年代が60代（73.6%）次いで10代（66.3%）となっている。

(図表 3-2-21)

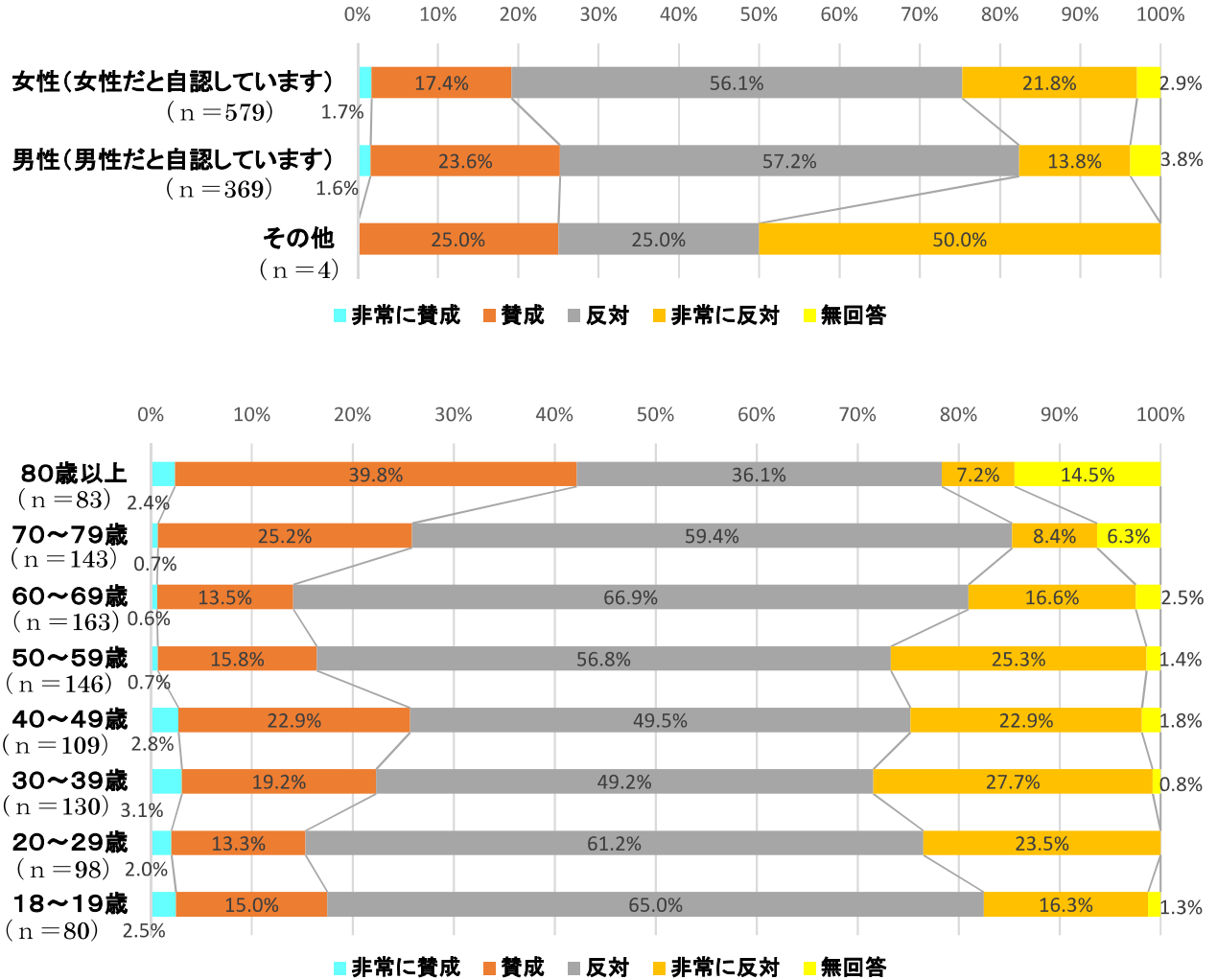


※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	18~19歳		20~29歳		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70~79歳		80歳以上	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
非常に賛成	1	1.3%	1	1.0%	3	2.3%	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.4%	0	0.0%
賛成	12	15.0%	18	18.4%	20	15.4%	16	14.7%	19	13.0%	23	14.1%	39	27.3%	28	33.7%
反対	53	66.3%	55	56.1%	71	54.6%	67	61.5%	93	63.7%	120	73.6%	85	59.4%	37	44.6%
非常に反対	13	16.3%	24	24.5%	35	26.9%	22	20.2%	32	21.9%	15	9.2%	8	5.6%	2	2.4%
無回答	1	1.3%	0	0.0%	1	0.8%	3	2.8%	2	1.4%	5	3.1%	9	6.3%	16	19.3%
合計	80	100.2%	98	100%	130	100%	109	100.1%	146	100%	163	100%	143	100%	83	100%

C. 女性は結婚したら自分自身のことより、夫や子供など家族を中心に考えて生活した方がよい

「賛成」「非常に賛成」と回答した割合が最も高かったのは80代以上（42.2%）次いで70代（25.9%）、40代（25.7%）となっている。

(図表 3-2-22)

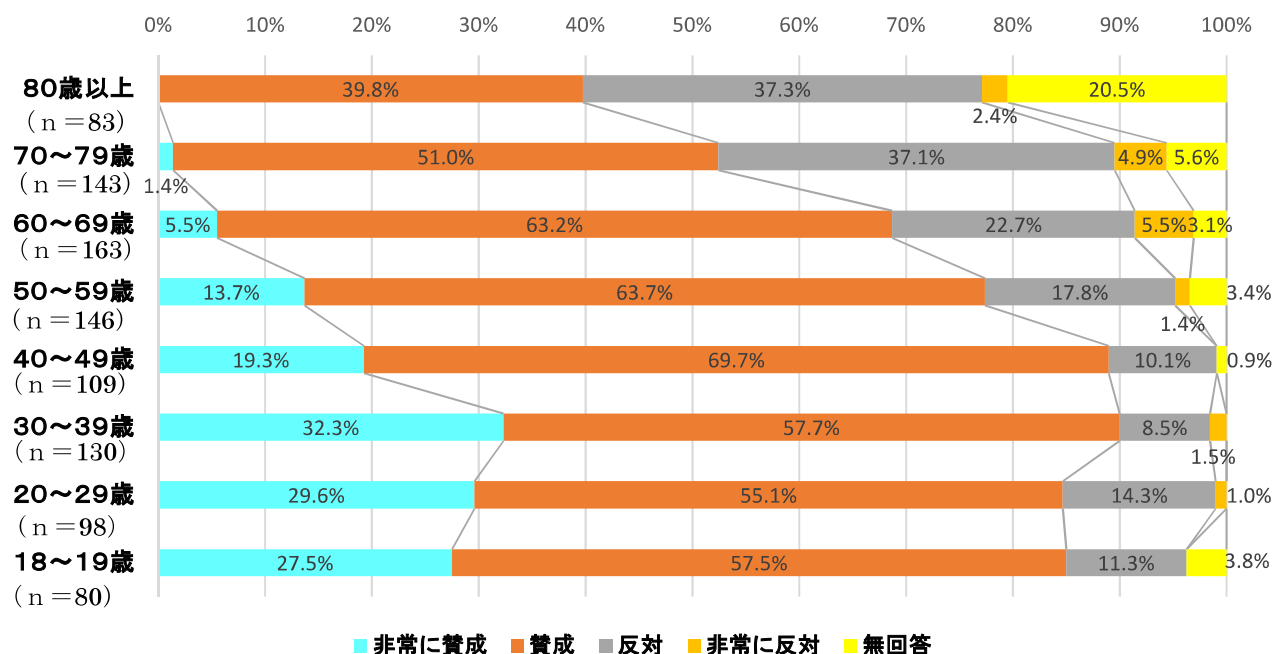
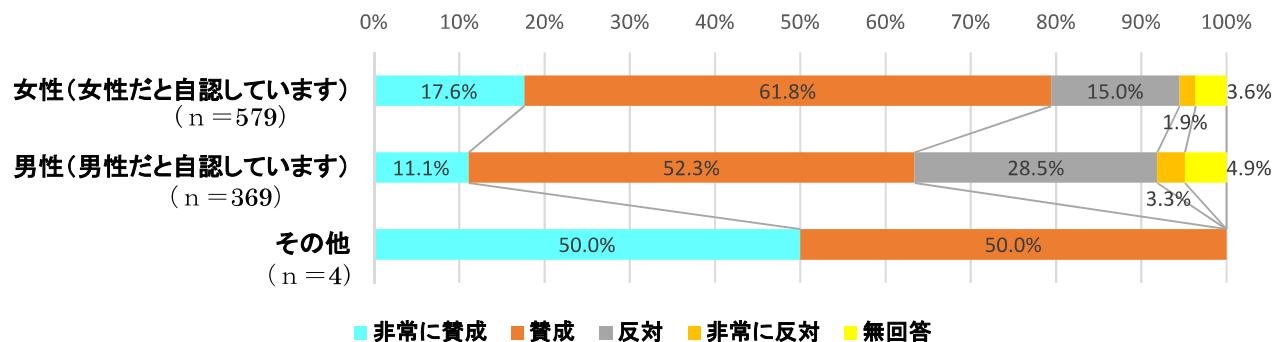


※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	18~19歳		20~29歳		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70~79歳		80歳以上	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
非常に賛成	2	2.5%	2	2.0%	4	3.1%	3	2.8%	1	0.7%	1	0.6%	1	0.7%	2	2.4%
賛成	12	15.0%	13	13.3%	25	19.2%	25	22.9%	23	15.8%	22	13.5%	36	25.2%	33	39.8%
反対	52	65.0%	60	61.2%	64	49.2%	54	49.5%	83	56.8%	109	66.9%	85	59.4%	30	36.1%
非常に反対	13	16.3%	23	23.5%	36	27.7%	25	22.9%	37	25.3%	27	16.6%	12	8.4%	6	7.2%
無回答	1	1.3%	0	0.0%	1	0.8%	2	1.8%	2	1.4%	4	2.5%	9	6.3%	12	14.5%
合計	80	100.1%	98	100%	130	100%	109	99.9%	146	100%	163	100.1%	143	100%	83	100%

D. 結婚しても、必ず子どもを持つ必要はない

「非常に賛成」と回答した割合が最も高いのは、30代（32.3%）次いで、20代（29.6%）10代（27.5%）となっている。

（図表 3-2-23）

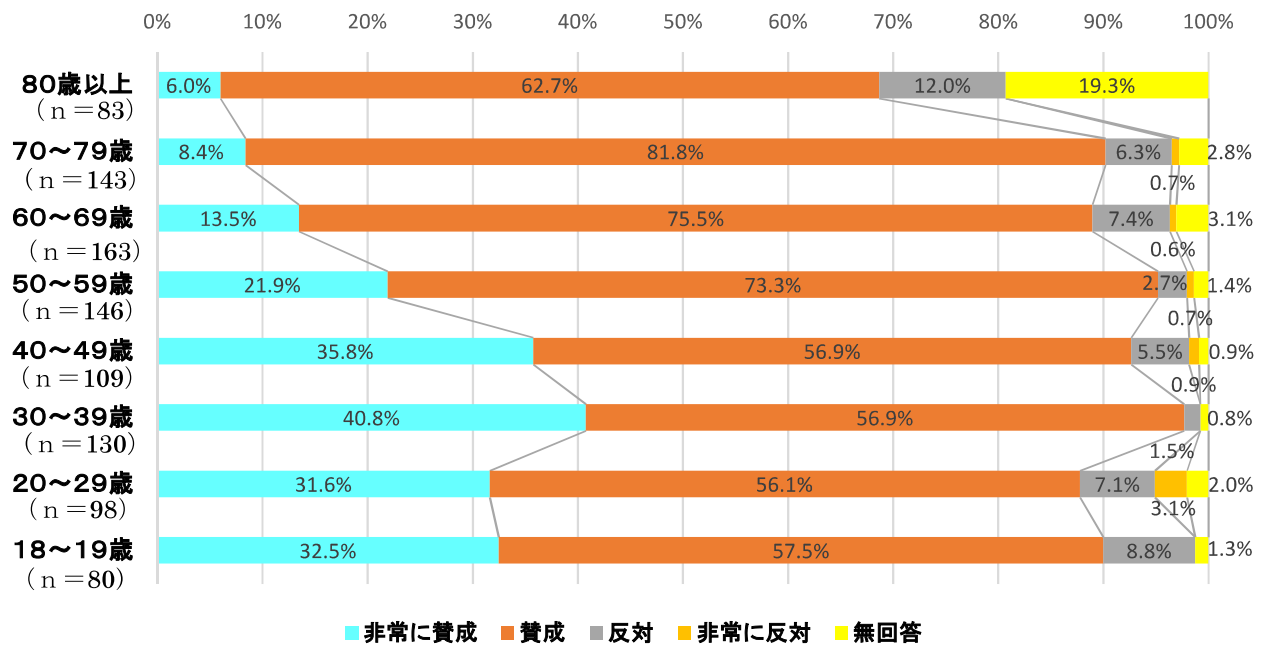
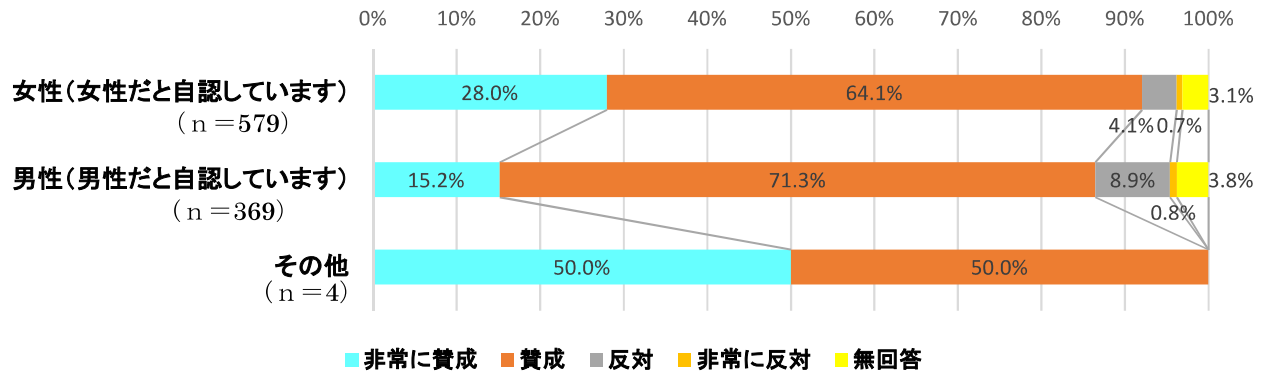


※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	18~19歳		20~29歳		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70~79歳		80歳以上	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
非常に賛成	22	27.5%	29	29.6%	42	32.3%	21	19.3%	20	13.7%	9	5.5%	2	1.4%	0	0.0%
賛成	46	57.5%	54	55.1%	75	57.7%	76	69.7%	93	63.7%	103	63.2%	73	51.0%	33	39.8%
反対	9	11.3%	14	14.3%	11	8.5%	11	10.1%	26	17.8%	37	22.7%	53	37.1%	31	37.3%
非常に反対	0	0.0%	1	1.0%	2	1.5%	0	0.0%	2	1.4%	9	5.5%	7	4.9%	2	2.4%
無回答	3	3.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.9%	5	3.4%	5	3.1%	8	5.6%	17	20.5%
合計	80	100.1%	98	100%	130	100%	109	100%	146	100%	163	100%	143	100%	83	100%

E. 結婚生活の継続が難しい相当な理由があるときは、離婚してもよい

「非常に賛成」と回答した割合が最も高いのは、30代（40.8%）次いで、40代（35.8%）10代（32.5%）となっている。

（図表 3-2-24）

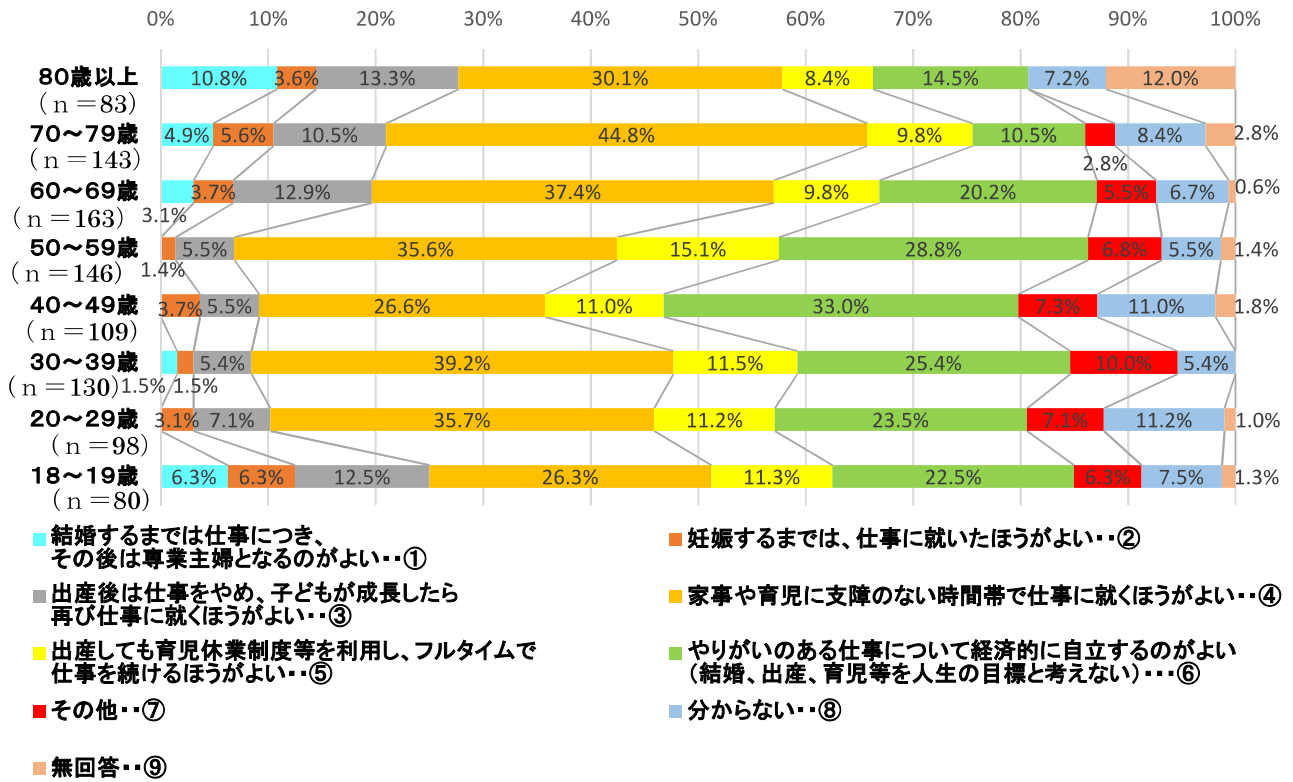


※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	18~19歳		20~29歳		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70~79歳		80歳以上	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
非常に賛成	26	32.5%	31	31.6%	53	40.8%	39	35.8%	32	21.9%	22	13.5%	12	8.4%	5	6.0%
賛成	46	57.5%	55	56.1%	74	56.9%	62	56.9%	107	73.3%	123	75.5%	117	81.8%	52	62.7%
反対	7	8.8%	7	7.1%	2	1.5%	6	5.5%	4	2.7%	12	7.4%	9	6.3%	10	12.0%
非常に反対	0	0.0%	3	3.1%	0	0.0%	1	0.9%	1	0.7%	1	0.6%	1	0.7%	0	0.0%
無回答	1	1.3%	2	2.0%	1	0.8%	1	0.9%	2	1.4%	5	3.1%	4	2.8%	16	19.3%
合計	80	100.1%	98	99.9%	130	100%	109	100%	146	100%	163	100.1%	143	100%	83	100%

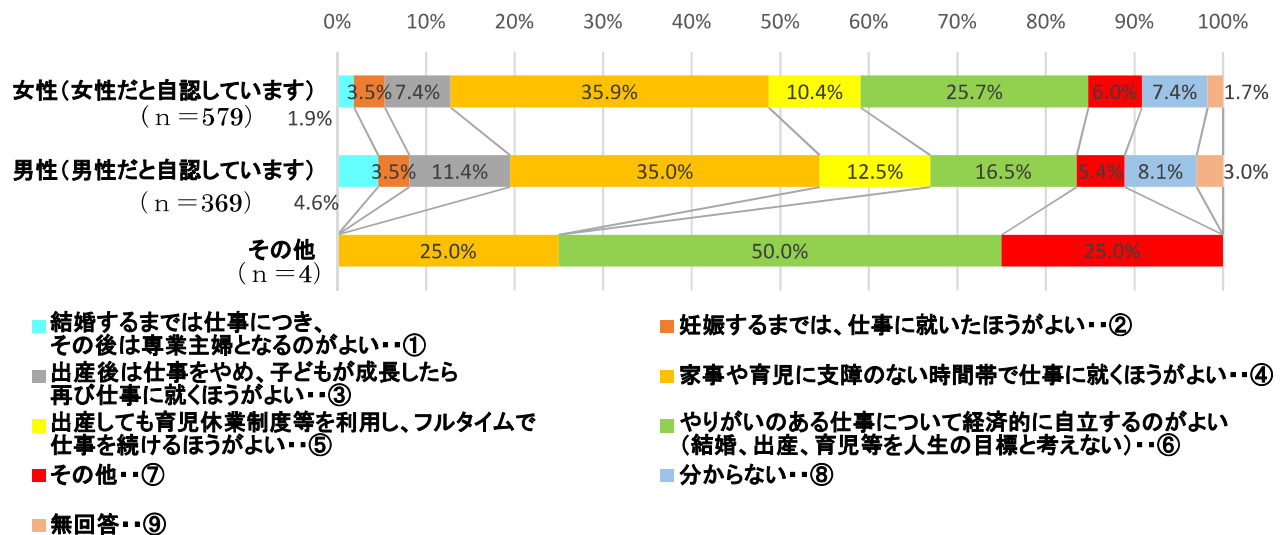
問10 女性の就業について、どのように思いますか。

どの年代も「家事や育児に支障のない時間帯で仕事に就くほうがよい」か「やりがいのある仕事について経済的に自立するほうがよい」と答えた割合が高く、「男性」「女性」で比較しても、回答した割合に大きな差はみられない。

(図表 3-2-25)



※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	18~19歳		20~29歳		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70~79歳		80歳以上	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
①	5	6.3%	0	0.0%	2	1.5%	0	0.0%	0	0.0%	5	3.1%	7	4.9%	9	10.8%
②	5	6.3%	3	3.1%	2	1.5%	4	3.7%	2	1.4%	6	3.7%	8	5.6%	3	3.6%
③	10	12.5%	7	7.1%	7	5.4%	6	5.5%	8	5.5%	21	12.9%	15	10.5%	11	13.3%
④	21	26.3%	35	35.7%	51	39.2%	29	26.6%	52	35.6%	61	37.4%	64	44.8%	25	30.1%
⑤	9	11.3%	11	11.2%	15	11.5%	12	11.0%	22	15.1%	16	9.8%	14	9.8%	7	8.4%
⑥	18	22.5%	23	23.5%	33	25.4%	36	33.0%	42	28.8%	33	20.2%	15	10.5%	12	14.5%
⑦	5	6.3%	7	7.1%	13	10.0%	8	7.3%	10	6.8%	9	5.5%	4	2.8%	0	0.0%
⑧	6	7.5%	11	11.2%	7	5.4%	12	11.0%	8	5.5%	11	6.7%	12	8.4%	6	7.2%
⑨	1	1.3%	1	1.0%	0	0.0%	2	1.8%	2	1.4%	1	0.6%	4	2.8%	10	12.0%
合計	80	100.3%	98	99.9%	130	99.9%	109	99.9%	146	100.1%	163	99.9%	143	100.1%	83	99.9%



※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	総計		女性 (女性だと自認しています)		男性 (男性だと自認しています)		その他	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
①	28	2.9%	11	1.9%	17	4.6%	0	0.0%
②	33	3.5%	20	3.5%	13	3.5%	0	0.0%
③	85	8.9%	43	7.4%	42	11.4%	0	0.0%
④	338	35.4%	208	35.9%	129	35.0%	1	25.0%
⑤	106	11.1%	60	10.4%	46	12.5%	0	0.0%
⑥	212	22.2%	149	25.7%	61	16.5%	2	50.0%
⑦	56	5.9%	35	6.0%	20	5.4%	1	25.0%
⑧	73	7.7%	43	7.4%	30	8.1%	0	0.0%
⑨	23	2.4%	10	1.7%	11	3.0%	0	0.0%
合計	954	100%	579	99.9%	369	100%	4	100%

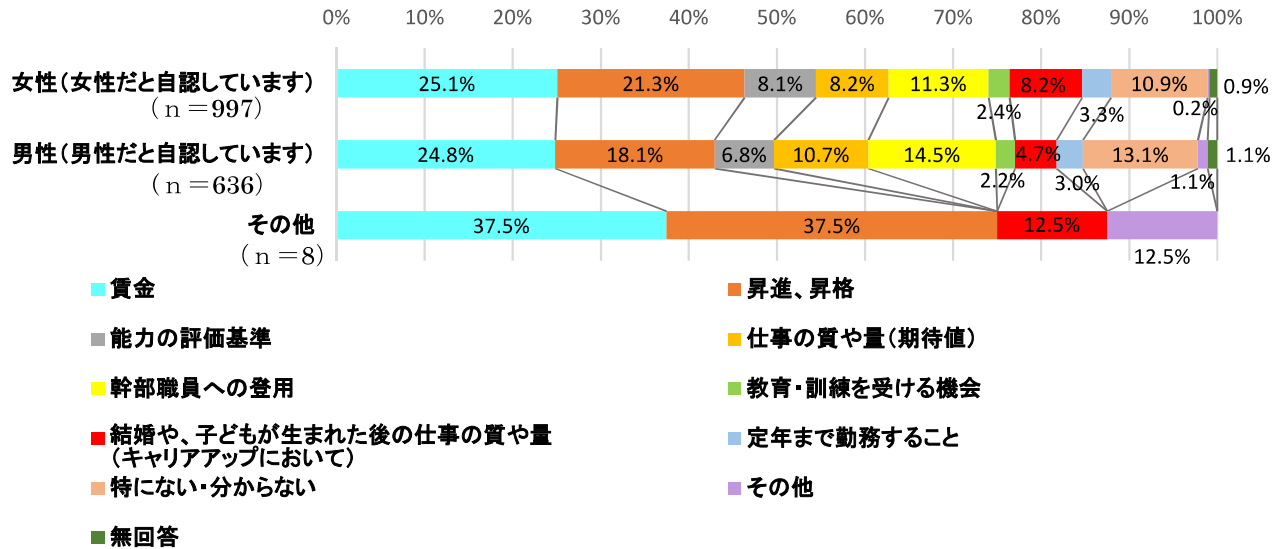
その他の意見欄

- ・夫婦で話し合い助け合えば一番良い (60代 女性)
- ・女性は子どもにあった事情で、好きな仕事も辞めて都合に合わせなくてはならない時が多いです。また親を見なければならぬなど…。 (60代 女性)
- ・女性本人が決めるべきである。結婚して仕事を辞めても良いし、育児と仕事を両立しても良いし、仕事をしたいから結婚して子供なしで仕事を続けるでもよいと思う。 (30代 男性)
- ・自分のしたいようにすればいい (20代 女性)
- ・出産しても育児休業制度を利用したり、家族(夫・祖父母) 職場や保育園等の協力をいただきながらパート・フルタイムで働くことができた。 (50代 女性)
- ・特性・適正に応じて仕事・家庭の向き合い方は違いがあることを、男女関係なく尊重し合えるのがいい。 (40代女性)
- ・結婚するまでとか妊娠出産したらとかでくる時代ではないと思います。もっと女性が社会で活躍した方がいいと思います。 (40代 女性)
- ・当事者が、その時に選択するのがベストであると思う。こういった回答に選択肢があること自体、女性の就業が特別視されていると感じる。そのこと事態が、意識が低いなと思う。 (30代 女性)
- ・性別問わずですが、個人の環境や適性が関係することだと思いますのでそれぞれに合った就業形態で良いかと考えます。 (40代 女性)
- ・結婚した後も仕事が好きな人は辞めずにそのまま仕事を続けたいと思う。妊娠した後も自分の体調や精神状態によって仕事を続けるか育休を取るか辞めるかを決めたい。出産後は仕事にやりがいがある人や経済的な理由で出産した後も仕事に就かないといけない人は仕事に就けばいいと思うし逆に専業主婦になりたいならなればいいと思う。また、出産は女の人生か出来ないけど家事や育児は男の人でも出来るのだから男の人が専業主婦になって女の人が働くのもいいと思う。 (10代 女性)

問 1 1 仕事の内容や待遇面で、男性が女性に比べ優遇されていると思うものに口にレ点を記してください。(2つまで)

最も回答した割合が高いのは「賃金」(25.0%) 次いで、「昇進、昇格」(20.1%)、「幹部職員への登用」(12.5%) となっている。

(図表 3-2-26)

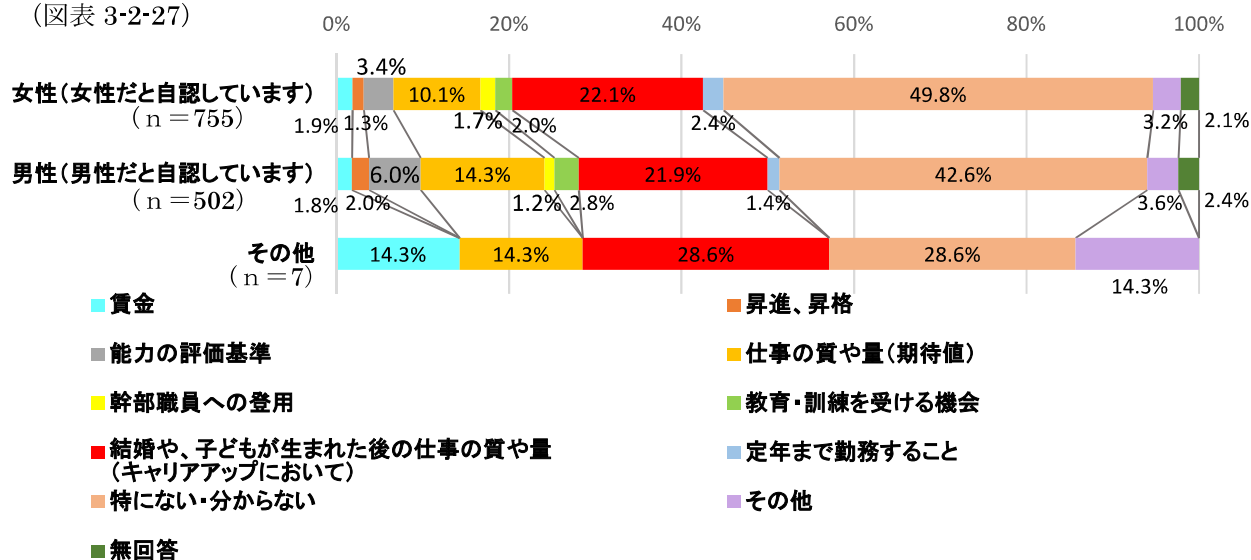


※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	総計		女性(女性だと自認しています)		男性(男性だと自認しています)		その他	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
賃金	411	25.0%	250	25.1%	158	24.8%	3	37.5%
昇進、昇格	330	20.1%	212	21.3%	115	18.1%	3	37.5%
能力の評価基準	124	7.5%	81	8.1%	43	6.8%	0	0.0%
仕事の質や量(期待値)	150	9.1%	82	8.2%	68	10.7%	0	0.0%
幹部職員への登用	205	12.5%	113	11.3%	92	14.5%	0	0.0%
教育・訓練を受ける機会	38	2.3%	24	2.4%	14	2.2%	0	0.0%
結婚や、子どもが生まれた後の仕事の質や量(キャリアアップにおいて)	113	6.9%	82	8.2%	30	4.7%	1	12.5%
定年まで勤務すること	52	3.2%	33	3.3%	19	3.0%	0	0.0%
特にない・分からない	192	11.7%	109	10.9%	83	13.1%	0	0.0%
その他	10	0.6%	2	0.2%	7	1.1%	1	12.5%
無回答	18	1.1%	9	0.9%	7	1.1%	0	0.0%
合計	1645	100%	997	99.9%	636	100.1%	8	100%

問 1 2 仕事の内容や待遇面で、女性が男性に比べ優遇されていると思うものに口にレ点を記してください。(2つまで)

最も回答した割合が高いのは「特にない・分からない」(46.8%)次いで、「結婚や、子どもが生まれた後の仕事の質や量」(22.0%)となっている。

(図表 3-2-27)



※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	総計		女性(女性だと自認しています)		男性(男性だと自認しています)		その他	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
賃金	24	1.9%	14	1.9%	9	1.8%	1	14.3%
昇進、昇格	20	1.6%	10	1.3%	10	2.0%	0	0.0%
能力の評価基準	56	4.4%	26	3.4%	30	6.0%	0	0.0%
仕事の質や量(期待値)	149	11.8%	76	10.1%	72	14.3%	1	14.3%
幹部職員への登用	19	1.5%	13	1.7%	6	1.2%	0	0.0%
教育・訓練を受ける機会	29	2.3%	15	2.0%	14	2.8%	0	0.0%
結婚や、子どもが生まれた後の仕事の質や量(キャリアアップにおいて)	279	22.0%	167	22.1%	110	21.9%	2	28.6%
定年まで勤務すること	25	2.0%	18	2.4%	7	1.4%	0	0.0%
特にない・分からない	592	46.8%	376	49.8%	214	42.6%	2	28.6%
その他	43	3.4%	24	3.2%	18	3.6%	1	14.3%
無回答	30	2.4%	16	2.1%	12	2.4%	0	0.0%
合計	1266	100.1%	755	100%	502	100%	7	100.1%

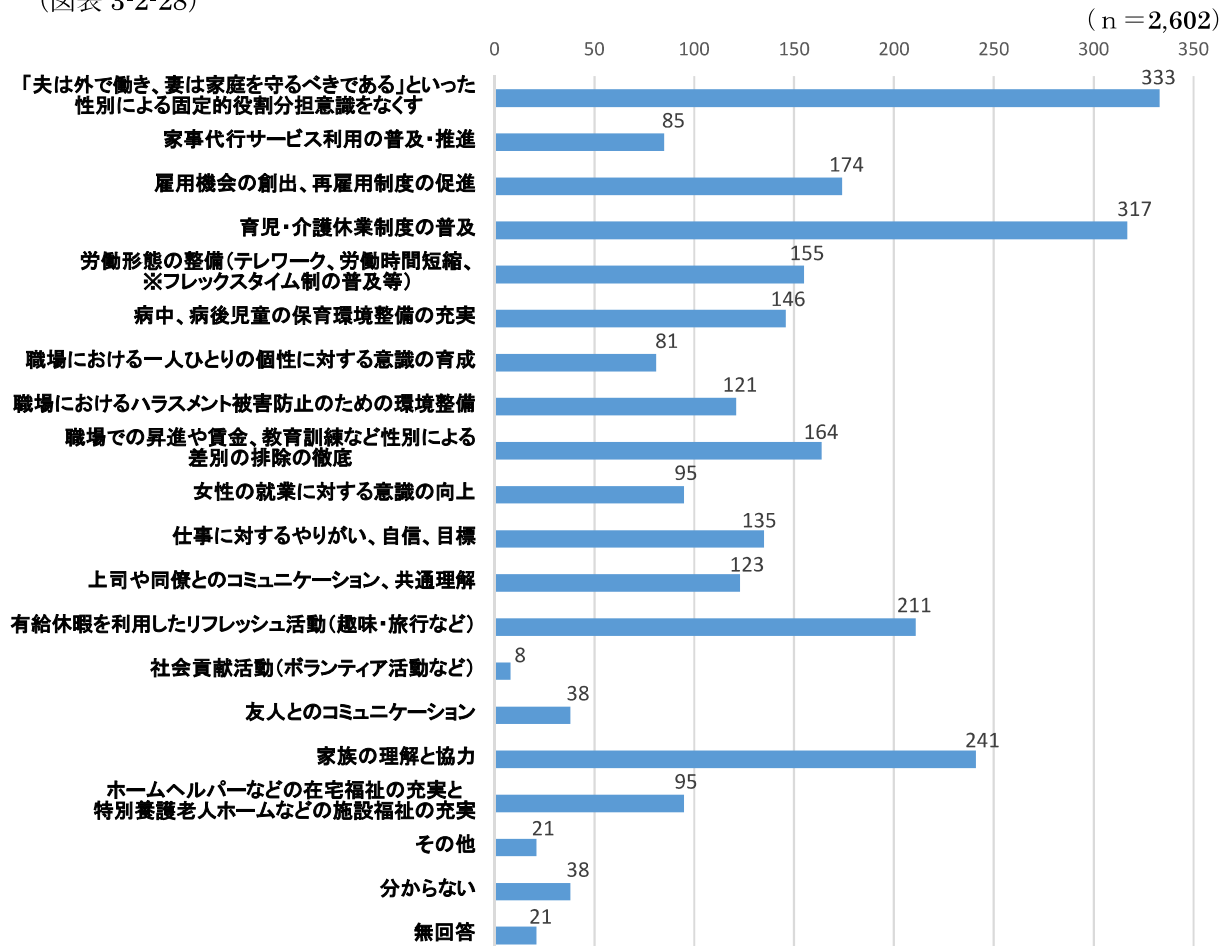
問 1 1、1 2 その他の意見欄

- ・職種によって色々ちがうのではっきりわからない (50代 女性)
- ・男女の差ではなく、能力の差で世の中はきまっている。(60代 男性)
- ・気にならない (40代 女性)
- ・当事者次第 (50代 男性)
- ・結局のところ自分の都合 (50代 男性)
- ・男女の性別で体力や能力の差は当然である。“優遇”というより“区別”である。要は、個々の捉え方の違い。(30代男性)
- ・勤務時間をある程度柔軟に変更できる男性と同等の職務ができなくても大目に見てもらえる (40代 女性)

問 1 3 すべての人が働きやすい環境を整えるために、何が必要だと思いますか。あてはまる口に
レ点を記してください。(3つまで)

最も多く回答があったのは「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」といった、性別による固定的役割分担意識をなくす(333人)次いで「育児・介護休暇制度の普及」(317人)、「家族の理解と協力」(241人)となっている。

(図表 3-2-28)



その他の意見欄

- ・農業などは男性も女性もないところがある。男性には男性のよさ、女性には女性のよさ、お互い理解しあって助け合えば一番いいと思う。男とか女とか関係なく(60代 女性)
- ・①正規雇用・非正規雇用又は職員・会計年度職員の賃金や雇用条件の差がありすぎ。これは人権問題だと思う。②キャリアの再確認。自治体も厚生労働省があっせんする「キャリアドッグ制度」を積極的に活用していただきたい。(60代 男性)
- ・(市内都市部と田舎の方では)子供の預け先に差があり働こうと思っても預けづらい。(40代女性)
- ・保育事業所などの増設、共働きし易い環境の整備、提供を。行政側には促進を願う。(わたしには必要ありませんが、これからの若い世代のため)(50代 男性)
- ・意識改革だの経費が関わる問題を市がどうこう出来ると思えない。そもそも、その能力があり、実現できる内容を提示してほしい。(20代 男性)
- ・働きたい人が働いて一家を支えられたら夫でも妻でもよい(40代 男性)
- ・今の働く世代の固定観念を変えていくより、子どもたちの教育に力をいれた方が早いと思う。小さいうちから、夫婦が共に働き、家事、育児も分担が当たり前になれば、必然と雇用する側の意識も変わり、社会の風潮も変わると思う。(30代 女性)
- ・産休、育休、育児時単制度は素晴らしいがその補填をする社員の負荷を考慮してパートで産休代理ではなく正社員を増やしてほしい。(40代 女性)

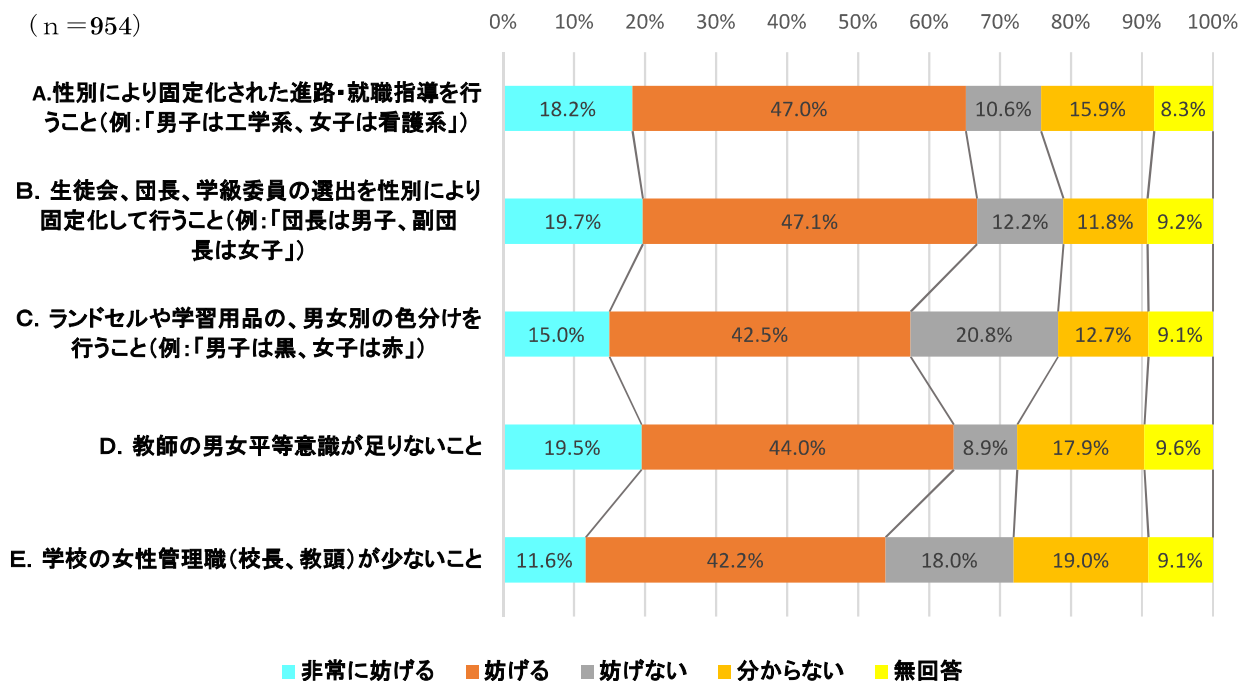
※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	総計		女性（女性だと自認しています）		男性（男性だと自認しています）		その他	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」といった性別による固定的役割分担意識をなくす	333	12.8%	202	12.6%	129	13.0%	2	22.2%
家事代行サービス利用の普及・推進	85	3.3%	58	3.6%	27	2.7%	0	0.0%
雇用機会の創出、再雇用制度の促進	174	6.7%	93	5.8%	81	8.2%	0	0.0%
育児・介護休業制度の普及	317	12.2%	207	12.9%	110	11.1%	0	0.0%
労働形態の整備（テレワーク、労働時間短縮、※フレックスタイム制の普及等）	155	6.0%	100	6.2%	54	5.5%	1	11.1%
病中、病後児童の保育環境整備の充実	146	5.6%	102	6.4%	43	4.3%	1	11.1%
職場における一人ひとりの個性に対する意識の育成	81	3.1%	43	2.7%	38	3.8%	0	0.0%
職場におけるハラスメント被害防止のための環境整備	121	4.7%	77	4.8%	43	4.3%	1	11.1%
職場での昇進や賃金、教育訓練など性別による差別の排除の徹底	164	6.3%	98	6.1%	66	6.7%	0	0.0%
女性の就業に対する意識の向上	95	3.7%	56	3.5%	39	3.9%	0	0.0%
仕事に対するやりがい、自信、目標	135	5.2%	72	4.5%	62	6.3%	1	11.1%
上司や同僚とのコミュニケーション、共通理解	123	4.7%	75	4.7%	48	4.8%	0	0.0%
有給休暇を利用したリフレッシュ活動（趣味・旅行など）	211	8.1%	124	7.7%	86	8.7%	1	11.1%
社会貢献活動（ボランティア活動など）	8	0.3%	2	0.1%	6	0.6%	0	0.0%
友人とのコミュニケーション	38	1.5%	25	1.6%	13	1.3%	0	0.0%
家族の理解と協力	241	9.3%	167	10.4%	73	7.4%	1	11.1%
ホームヘルパーなどの在宅福祉の充実と特別養護老人ホームなどの施設福祉の充実	95	3.7%	63	3.9%	32	3.2%	0	0.0%
その他	21	0.8%	9	0.6%	11	1.1%	1	11.1%
分からない	38	1.5%	19	1.2%	19	1.9%	0	0.0%
無回答	21	0.8%	9	0.6%	10	1.0%	0	0.0%
合計	2602	100.3%	1601	99.9%	990	99.8%	9	99.9%

問14 次のA～Eの項目で、男女の地位の平等意識の育成にどのように影響すると思いますか。

全ての項目において「妨げる」「非常に妨げる」と回答した割合が5割以上となっている。「妨げない」と回答した割合が最も高い項目は「ランドセルや学習用品の、男女別の色分けを行うこと」となっている。

(図表 3-2-29)

(n = 954)

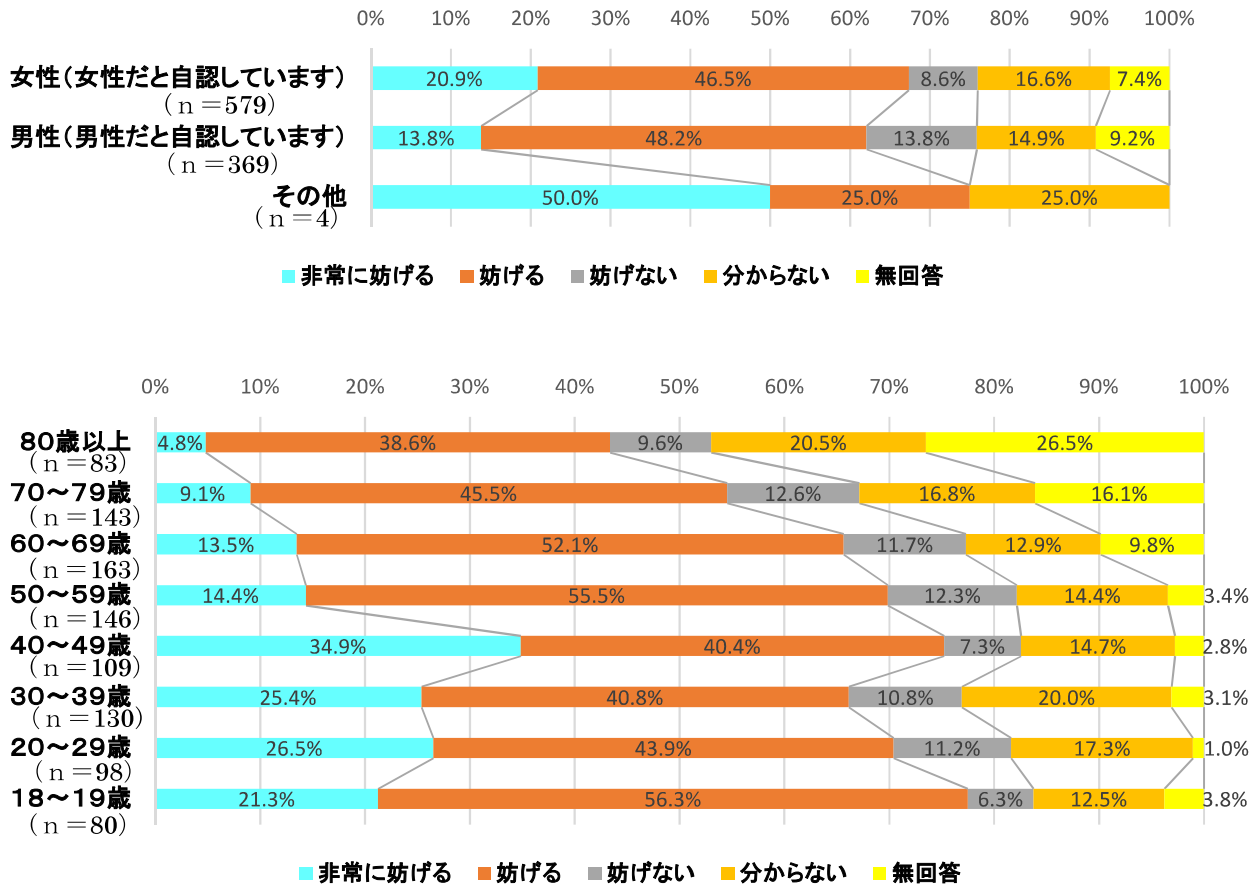


※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	A. 性別により固定化された進路・就職指導を行うこと(例:「男子は工学系、女子は看護系」)		B. 生徒会、団長、学級委員の選出を性別により固定化して行うこと(例:「団長は男子、副団長は女子」)		C. ランドセルや学習用品の、男女別の色分けを行うこと(例:「男子は黒、女子は赤」)		D. 教師の男女平等意識が足りないこと		E. 学校の女性管理職(校長、教頭)が少ないこと	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
非常に妨げる	174	18.2%	188	19.7%	143	15.0%	186	19.5%	111	11.6%
妨げる	448	47.0%	449	47.1%	405	42.5%	420	44.0%	403	42.2%
妨げない	101	10.6%	116	12.2%	198	20.8%	85	8.9%	172	18.0%
分からない	152	15.9%	113	11.8%	121	12.7%	171	17.9%	181	19.0%
無回答	79	8.3%	88	9.2%	87	9.1%	92	9.6%	87	9.1%
合計	954	100%	954	100%	954	100.1%	954	99.9%	954	99.9%

A. 性別により固定化された進路・就職指導を行うこと（例：「男子は工学系、女子は看護系」）

「非常に妨げる」と回答した割合が最も高いのは、40代（34.9%）次いで、20代（26.5%）30代（25.4%）となっている。

（図表 3-2-30）

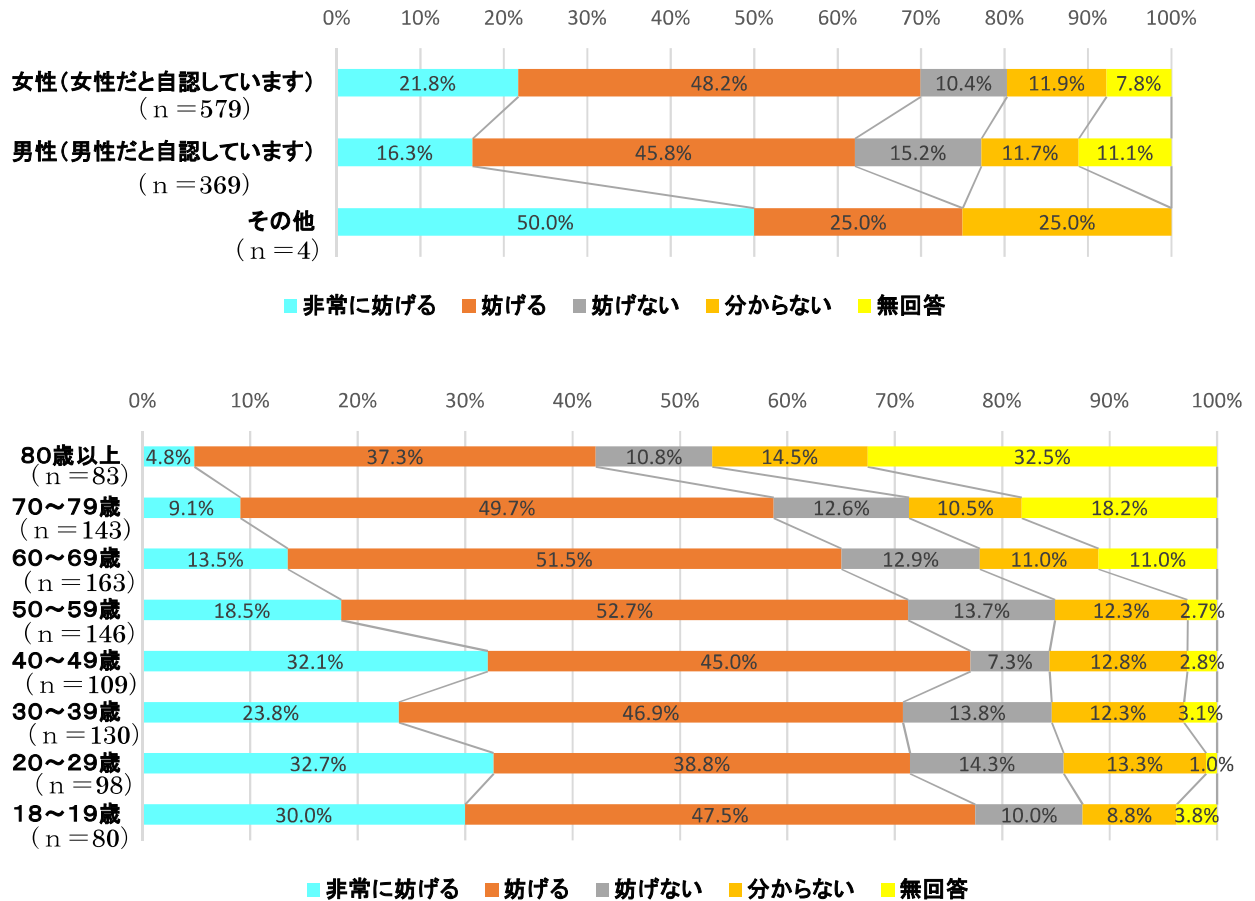


※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	18~19歳		20~29歳		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70~79歳		80歳以上	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
非常に妨げる	17	21.3%	26	26.5%	33	25.4%	38	34.9%	21	14.4%	22	13.5%	13	9.1%	4	4.8%
妨げる	45	56.3%	43	43.9%	53	40.8%	44	40.4%	81	55.5%	85	52.1%	65	45.5%	32	38.6%
妨げない	5	6.3%	11	11.2%	14	10.8%	8	7.3%	18	12.3%	19	11.7%	18	12.6%	8	9.6%
分からない	10	12.5%	17	17.3%	26	20.0%	16	14.7%	21	14.4%	21	12.9%	24	16.8%	17	20.5%
無回答	3	3.8%	1	1.0%	4	3.1%	3	2.8%	5	3.4%	16	9.8%	23	16.1%	22	26.5%
合計	80	100.2%	98	99.9%	130	100.1%	109	100.1%	146	100%	163	100%	143	100.1%	83	100%

B. 生徒会、団長、学級委員の選出を性別により固定化して行うこと（例：「団長は男子、副団長は女子」）

「非常に妨げる」と回答した割合が最も高いのは、20代（32.7%）次いで、40代（32.1%）、10代（30.0%）となっている。

（図表 3-2-31）

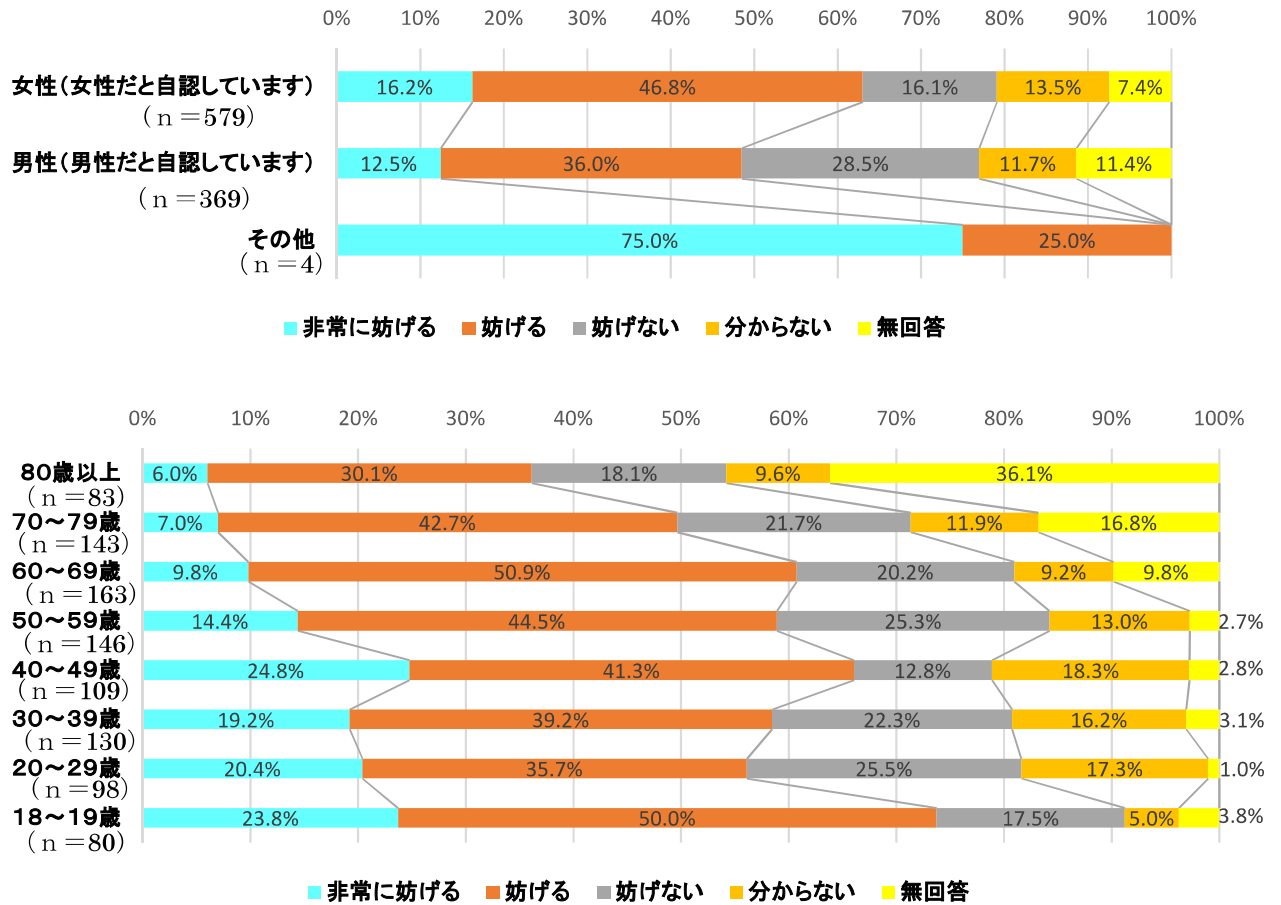


※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	18～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳以上	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
非常に妨げる	24	30.0%	32	32.7%	31	23.8%	35	32.1%	27	18.5%	22	13.5%	13	9.1%	4	4.8%
妨げる	38	47.5%	38	38.8%	61	46.9%	49	45.0%	77	52.7%	84	51.5%	71	49.7%	31	37.3%
妨げない	8	10.0%	14	14.3%	18	13.8%	8	7.3%	20	13.7%	21	12.9%	18	12.6%	9	10.8%
分からない	7	8.8%	13	13.3%	16	12.3%	14	12.8%	18	12.3%	18	11.0%	15	10.5%	12	14.5%
無回答	3	3.8%	1	1.0%	4	3.1%	3	2.8%	4	2.7%	18	11.0%	26	18.2%	27	32.5%
合計	80	100.1%	98	100.1%	130	99.9%	109	100%	146	99.9%	163	99.9%	143	100.1%	83	99.9%

C. ランドセルや学習用品の、男女別の色分けを行うこと（例：「男子は黒、女子は赤」）

「妨げない」と回答した割合が最も高いのは、20代（25.5%）次いで、50代（25.3%）、30代（22.3%）となっている。

（図表 3-2-32）

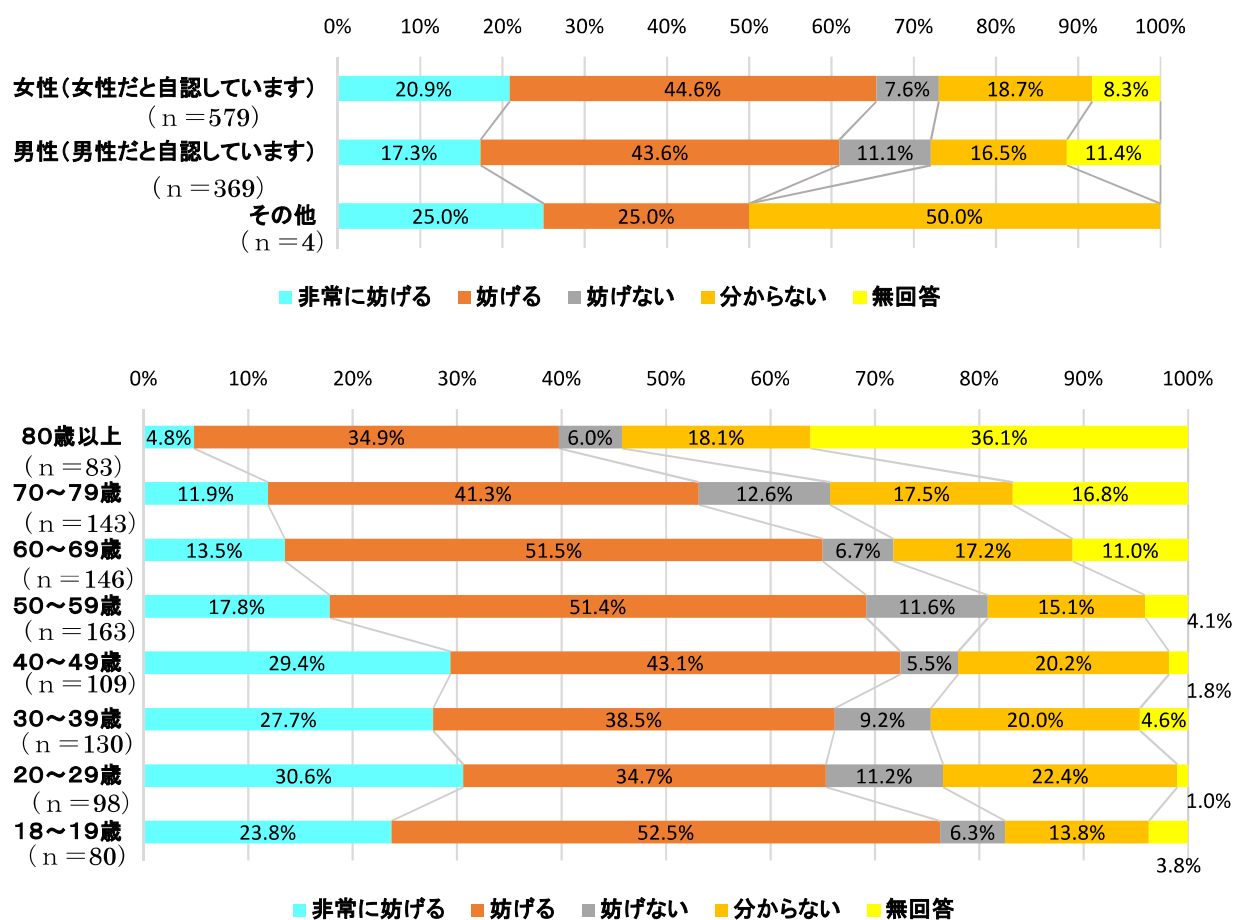


※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	18~19歳		20~29歳		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70~79歳		80歳以上	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
非常に妨げる	19	23.8%	20	20.4%	25	19.2%	27	24.8%	21	14.4%	16	9.8%	10	7.0%	5	6.0%
妨げる	40	50.0%	35	35.7%	51	39.2%	45	41.3%	65	44.5%	83	50.9%	61	42.7%	25	30.1%
妨げない	14	17.5%	25	25.5%	29	22.3%	14	12.8%	37	25.3%	33	20.2%	31	21.7%	15	18.1%
分からない	4	5.0%	17	17.3%	21	16.2%	20	18.3%	19	13.0%	15	9.2%	17	11.9%	8	9.6%
無回答	3	3.8%	1	1.0%	4	3.1%	3	2.8%	4	2.7%	16	9.8%	24	16.8%	30	36.1%
合計	80	100.1%	98	99.9%	130	100%	109	100%	146	99.9%	163	99.9%	143	100.1%	83	99.9%

D. 教師の男女平等意識が足りないこと

「非常に妨げる」と回答した割合が最も高いのは、20代（30.6%）次いで、40代（29.4%）、30代（27.7%）となっている。

（図表 3-2-33）

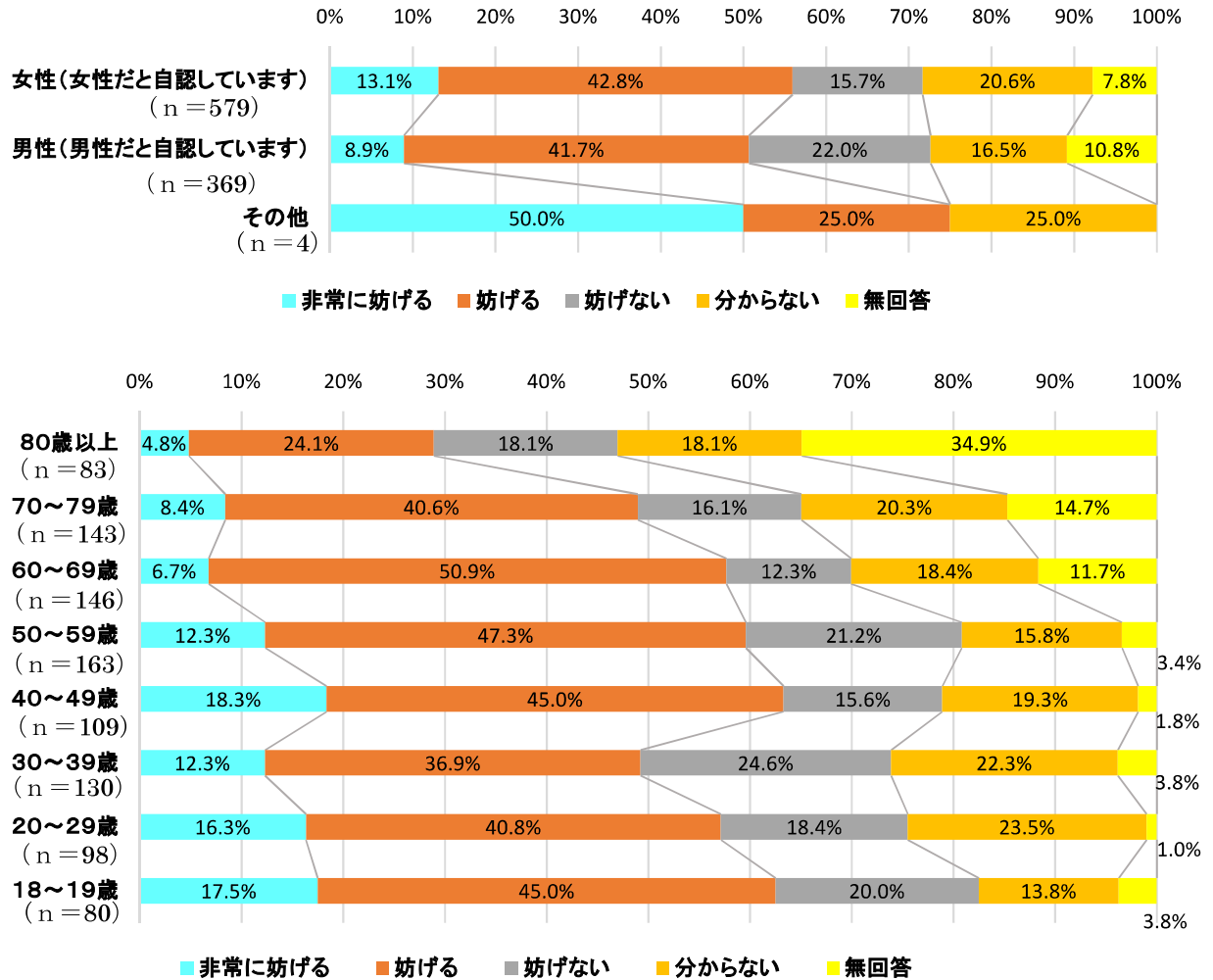


※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	18~19歳		20~29歳		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70~79歳		80歳以上	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
非常に妨げる	19	23.8%	30	30.6%	36	27.7%	32	29.4%	26	17.8%	22	13.5%	17	11.9%	4	4.8%
妨げる	42	52.5%	34	34.7%	50	38.5%	47	43.1%	75	51.4%	84	51.5%	59	41.3%	29	34.9%
妨げない	5	6.3%	11	11.2%	12	9.2%	6	5.5%	17	11.6%	11	6.7%	18	12.6%	5	6.0%
分からない	11	13.8%	22	22.4%	26	20.0%	22	20.2%	22	15.1%	28	17.2%	25	17.5%	15	18.1%
無回答	3	3.8%	1	1.0%	6	4.6%	2	1.8%	6	4.1%	18	11.0%	24	16.8%	30	36.1%
合計	80	100.2%	98	99.9%	130	100%	109	100%	146	100%	163	99.9%	143	100.1%	83	99.9%

E. 学校の女性管理職（校長、教頭）が少ないこと

「妨げない」と回答した割合が最も高いのは、30代（24.6%）次いで、50代（21.2%）、10代（20.0%）となっている。

（図表 3-2-34）



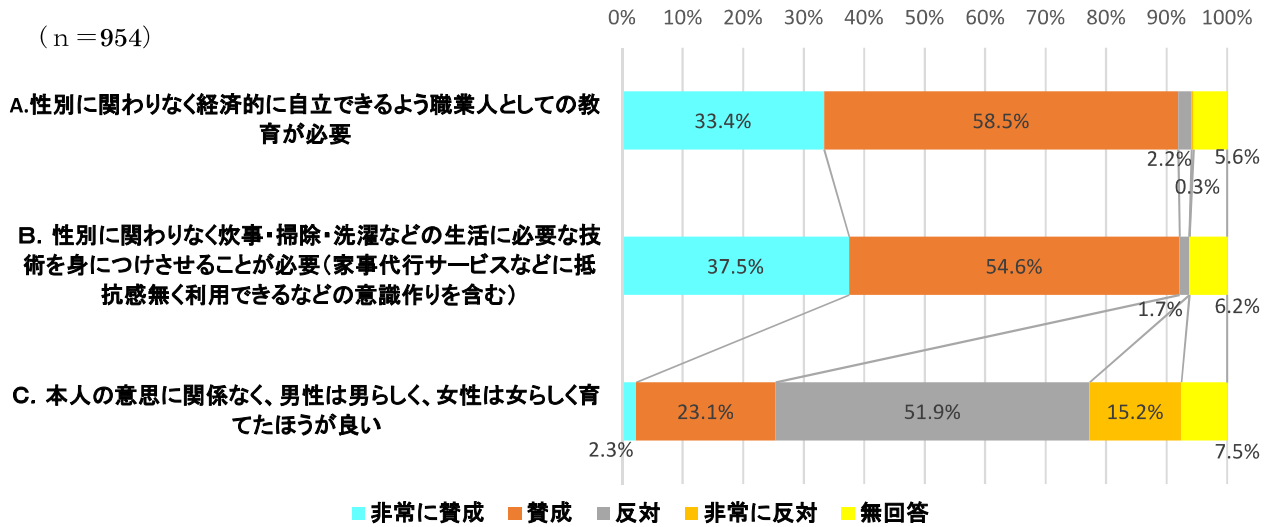
※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	18~19歳		20~29歳		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70~79歳		80歳以上	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
非常に妨げる	14	17.5%	16	16.3%	16	12.3%	20	18.3%	18	12.3%	11	6.7%	12	8.4%	4	4.8%
妨げる	36	45.0%	40	40.8%	48	36.9%	49	45.0%	69	47.3%	83	50.9%	58	40.6%	20	24.1%
妨げない	16	20.0%	18	18.4%	32	24.6%	17	15.6%	31	21.2%	20	12.3%	23	16.1%	15	18.1%
分からない	11	13.8%	23	23.5%	29	22.3%	21	19.3%	23	15.8%	30	18.4%	29	20.3%	15	18.1%
無回答	3	3.8%	1	1.0%	5	3.8%	2	1.8%	5	3.4%	19	11.7%	21	14.7%	29	34.9%
合計	80	100.1%	98	100%	130	99.9%	109	100%	146	100%	163	100%	143	100.1%	83	100%

問15 次のA～Cの項目について、子どものしつけや教育についてどのように思いますか。

「非常に賛成」「賛成」と回答した割合が項目Aは91.9%、項目Bは92.1%なのに対して、項目Cは25.4%となっている。

(図表 3-2-35)

(n = 954)

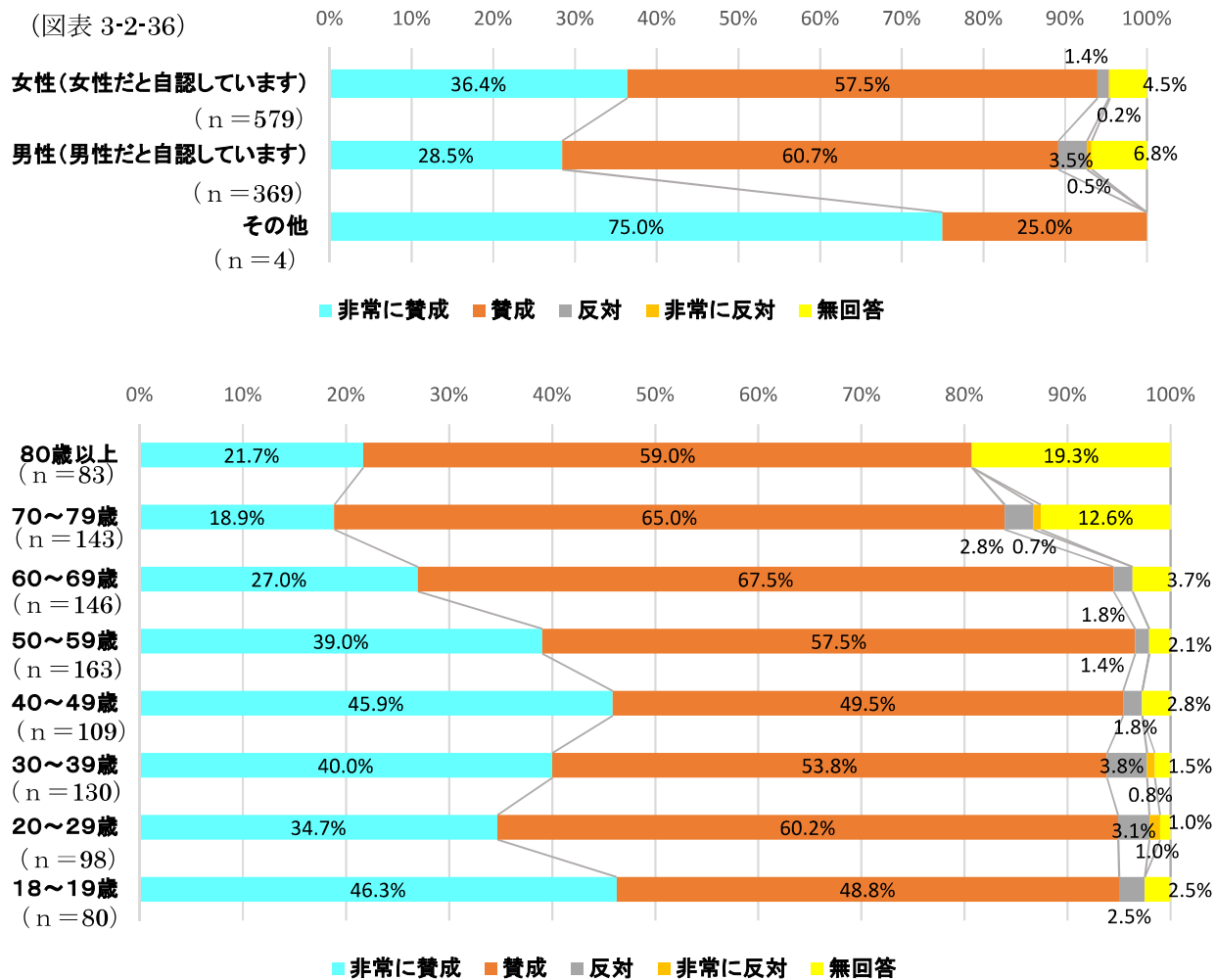


※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	A. 性別に関わりなく経済的に自立できるよう職業人としての教育が必要		B. 性別に関わりなく炊事・掃除・洗濯などの生活に必要な技術を身につけさせることが必要(家事代行サービスなどに抵抗感無く利用できるなどの意識作りを含む)		C. 本人の意思に関係なく、男性は男らしく、女性は女らしく育てたほうが良い	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合
非常に賛成	319	33.4%	358	37.5%	22	2.3%
賛成	558	58.5%	521	54.6%	220	23.1%
反対	21	2.2%	16	1.7%	495	51.9%
非常に反対	3	0.3%	0	0.0%	145	15.2%
無回答	53	5.6%	59	6.2%	72	7.5%
合計	954	100%	954	100%	954	100%

A. 性別にかかわらず無く経済的に自立できるよう職業人としての教育が必要

全ての年代で8割以上が「非常に賛成」「賛成」と回答している。「非常に賛成」と回答した割合が最も高いのは、10代（46.3%）次いで40代（45.9%）となっている。

(図表 3-2-36)

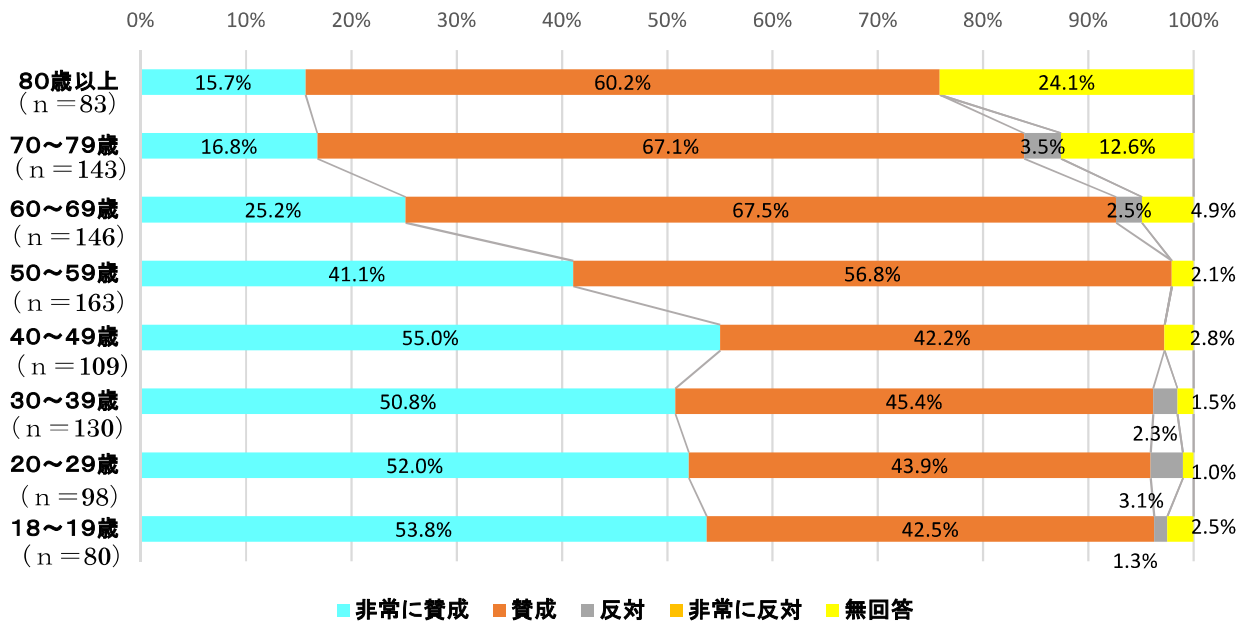
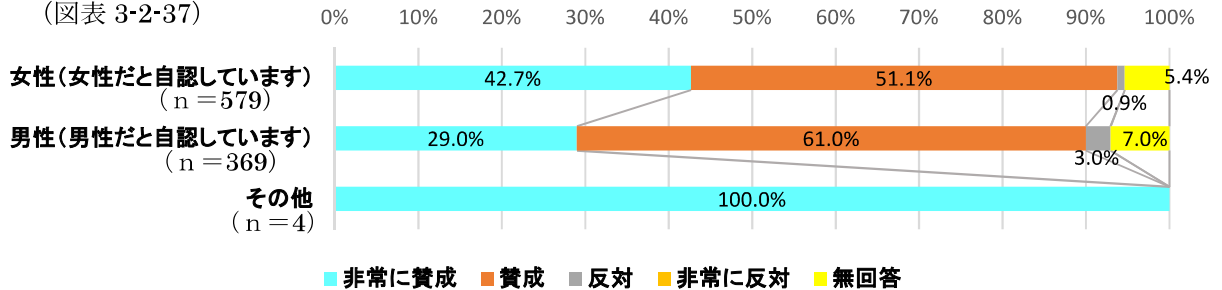


※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	18~19歳		20~29歳		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70~79歳		80歳以上	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
非常に賛成	37	46.3%	34	34.7%	52	40.0%	50	45.9%	57	39.0%	44	27.0%	27	18.9%	18	21.7%
賛成	39	48.8%	59	60.2%	70	53.8%	54	49.5%	84	57.5%	110	67.5%	93	65.0%	49	59.0%
反対	2	2.5%	3	3.1%	5	3.8%	2	1.8%	2	1.4%	3	1.8%	4	2.8%	0	0.0%
非常に反対	0	0.0%	1	1.0%	1	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.7%	0	0.0%
無回答	2	2.5%	1	1.0%	2	1.5%	3	2.8%	3	2.1%	6	3.7%	18	12.6%	16	19.3%
合計	80	100.1%	98	100%	130	99.9%	109	100%	146	100%	163	100%	143	100%	83	100%

B. 性別に関わりなく炊事・掃除・洗濯など生活に必要な技術を身につけさせることが必要（家事代行サービスなどに抵抗感なく利用できるなどの意識作りを含む）

40代～10代は「非常に賛成」と回答した割合が5割以上であるのに対し、50代～80代以上は割合が低くなっている。

(図表 3-2-37)

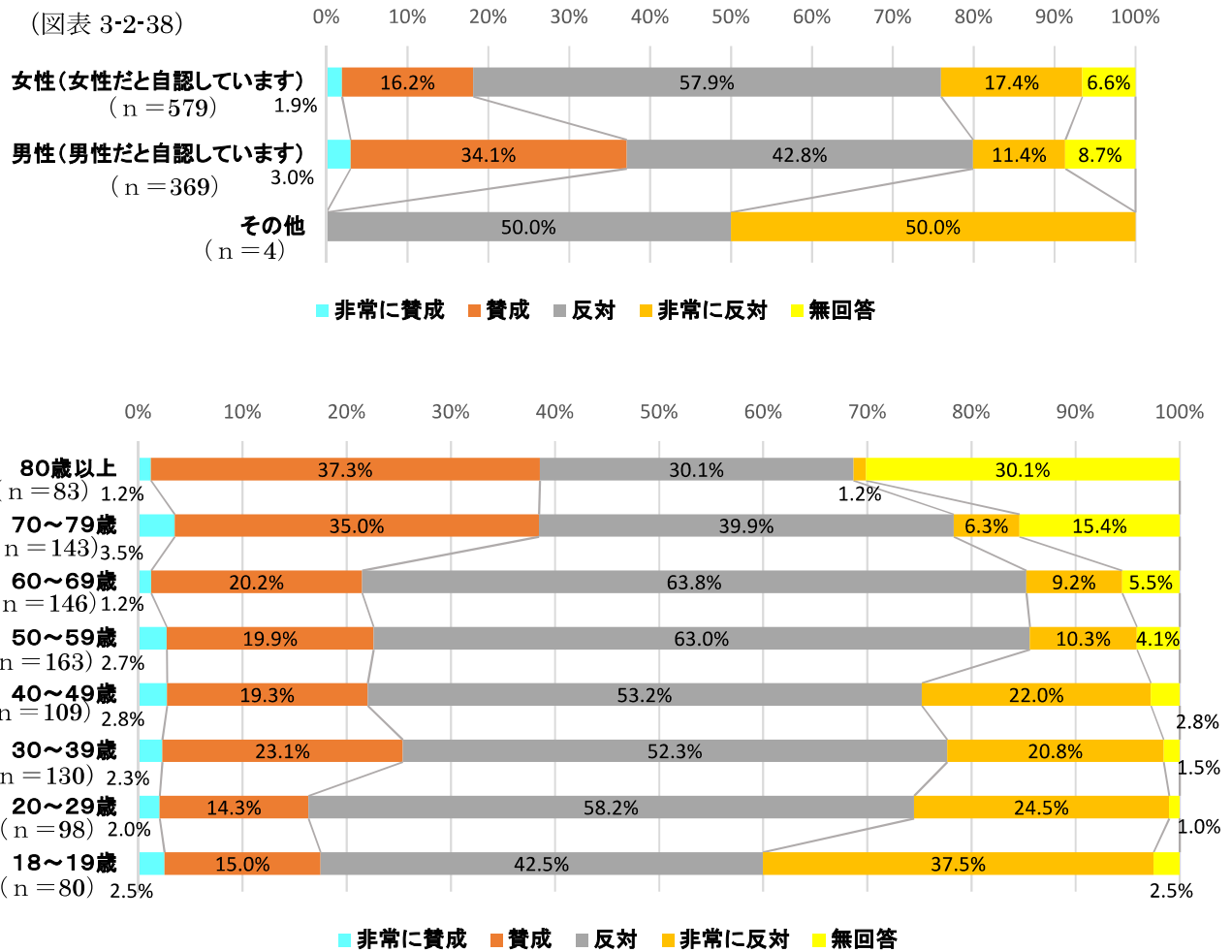


※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	18～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳以上	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
非常に賛成	43	53.8%	51	52.0%	66	50.8%	60	55.0%	60	41.1%	41	25.2%	24	16.8%	13	15.7%
賛成	34	42.5%	43	43.9%	59	45.4%	46	42.2%	83	56.8%	110	67.5%	96	67.1%	50	60.2%
反対	1	1.3%	3	3.1%	3	2.3%	0	0.0%	0	0.0%	4	2.5%	5	3.5%	0	0.0%
非常に反対	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	2	2.5%	1	1.0%	2	1.5%	3	2.8%	3	2.1%	8	4.9%	18	12.6%	20	24.1%
合計	80	100.1%	98	100%	130	100%	109	100%	146	100%	163	100.1%	143	100%	83	100%

C. 本人の意思に関係なく、男性は男らしく、女性は女らしく育てたほうが良い

「非常に賛成」「賛成」と回答した割合が最も高いのは80代以上・70代（38.5%）となっている。「反対」「非常に反対」と回答した割合が最も高いのは20代（82.7%）次いで10代（80.0%）となっている。

(図表 3-2-38)

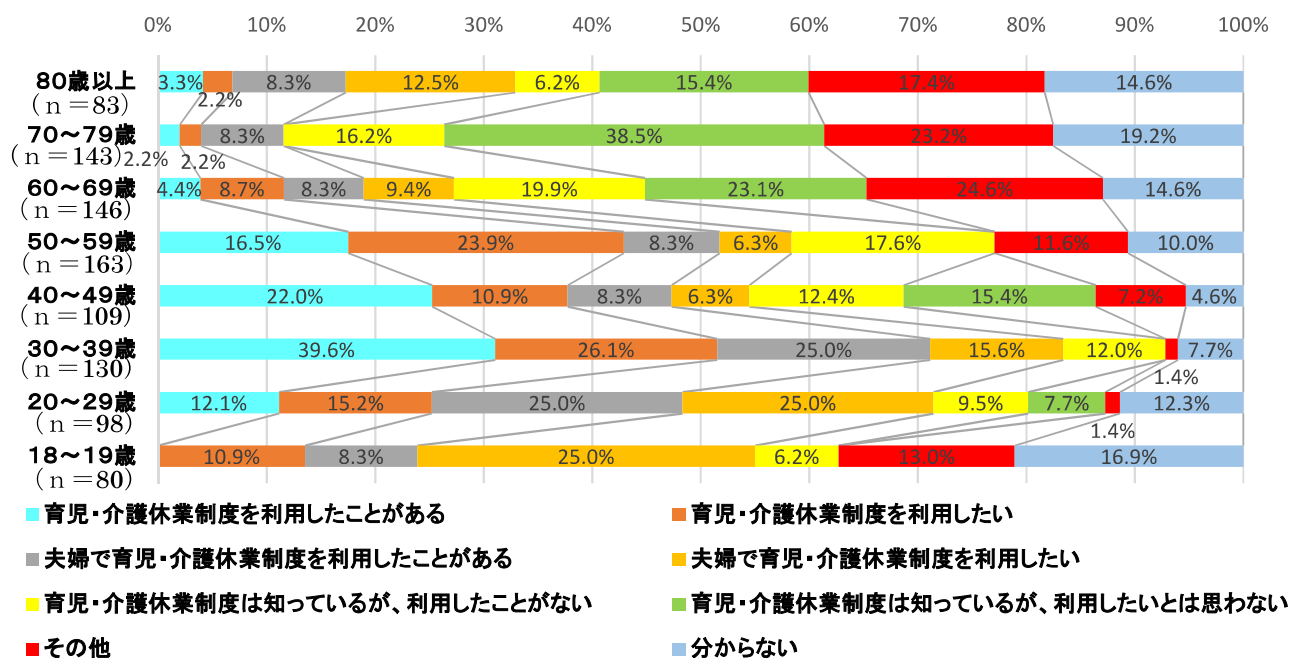
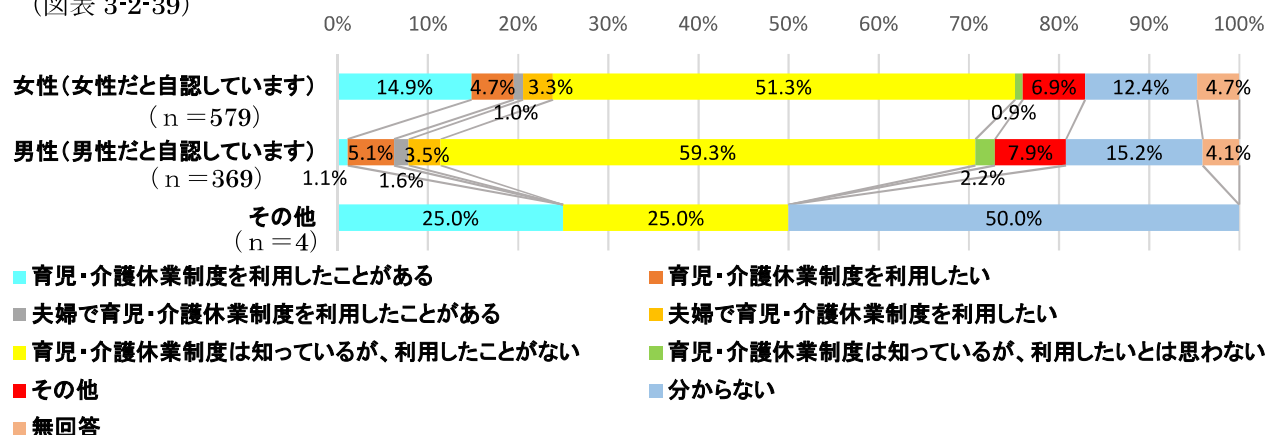


※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	18~19歳		20~29歳		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70~79歳		80歳以上	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
非常に賛成	2	2.5%	2	2.0%	3	2.3%	3	2.8%	4	2.7%	2	1.2%	5	3.5%	1	1.2%
賛成	12	15.0%	14	14.3%	30	23.1%	21	19.3%	29	19.9%	33	20.2%	50	35.0%	31	37.3%
反対	34	42.5%	57	58.2%	68	52.3%	58	53.2%	92	63.0%	104	63.8%	57	39.9%	25	30.1%
非常に反対	30	37.5%	24	24.5%	27	20.8%	24	22.0%	15	10.3%	15	9.2%	9	6.3%	1	1.2%
無回答	2	2.5%	1	1.0%	2	1.5%	3	2.8%	6	4.1%	9	5.5%	22	15.4%	25	30.1%
合計	80	100%	98	100%	130	100%	109	100.1%	146	100%	163	99.9%	143	100.1%	83	99.9%

問 1 6 あなたは育児・介護休業制度を利用したことがありますか。□にレ点を記してください。

全体として「育児・介護休業制度は知っているが、利用したことがない」と回答した割合が最も高く、年代別では「育児・介護休業制度を利用したことがある」「夫婦で育児・介護休業制度を利用したことがある」と回答した割合が最も高いのは30代（64.6%）となっている。

(図表 3-2-39)



その他の意見欄

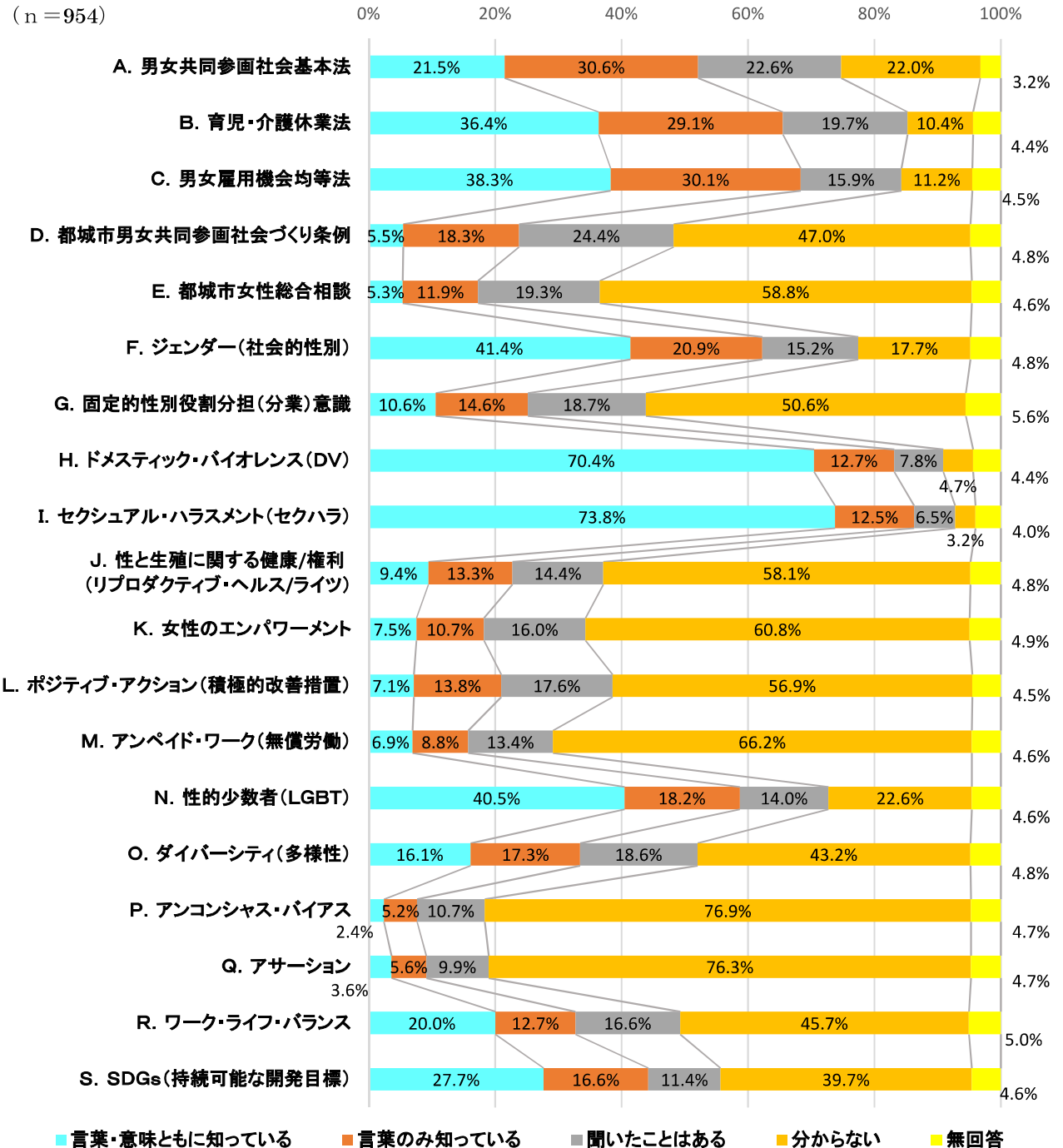
- ・このような制度が存在していなかった。(70代 男性)
- ・自営業なので育児介護休業制度はない。(40代 女性)
- ・介護の為、退職した。その時点で制度が会社にあったかわからない。(50代 女性)
- ・休業制度の知識がないのでわからない (50代 女性)
- ・学生の為、制度の理解がまだ不十分。利用もない。(10代 女性)
- ・独身で利用する理由が無い (50代 男性)

※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	総計		女性（女性だと自認しています）		男性（男性だと自認しています）		その他	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
育児・介護休業制度を利用したことがある	91	9.5%	86	14.9%	4	1.1%	1	25.0%
育児・介護休業制度を利用したい	46	4.8%	27	4.7%	19	5.1%	0	0.0%
夫婦で育児・介護休業制度を利用したことがある	12	1.3%	6	1.0%	6	1.6%	0	0.0%
夫婦で育児・介護休業制度を利用したい	32	3.4%	19	3.3%	13	3.5%	0	0.0%
育児・介護休業制度は知っているが、利用したことがない	517	54.2%	297	51.3%	219	59.3%	1	25.0%
育児・介護休業制度は知っているが、利用したいとは思わない	13	1.4%	5	0.9%	8	2.2%	0	0.0%
その他	69	7.2%	40	6.9%	29	7.9%	0	0.0%
分からない	130	13.6%	72	12.4%	56	15.2%	2	50.0%
無回答	44	4.6%	27	4.7%	15	4.1%	0	0.0%
合計	954	100%	579	100.1%	369	100%	4	100%

問17 次のA～Nの言葉についてご存知ですか。

男女共同参画についての用語に関しては、全体で「言葉・意味ともに知っている」の回答数が4,240なのに対して「分からない」の回答数は7,367となっている。

(図表 3-2-40)



※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	言葉・意味とも知っている		言葉のみ知っている		聞いたことはある		分からない		無回答	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
A. 男女共同参画社会基本法	205	21.5%	292	30.6%	216	22.6%	210	22.0%	31	3.2%
B. 育児・介護休業法	347	36.4%	278	29.1%	188	19.7%	99	10.4%	42	4.4%
C. 男女雇用機会均等法	365	38.3%	287	30.1%	152	15.9%	107	11.2%	43	4.5%
D. 都城市男女共同参画社会づくり条例	52	5.5%	175	18.3%	233	24.4%	448	47.0%	46	4.8%
E. 都城市女性総合相談	51	5.3%	114	11.9%	184	19.3%	561	58.8%	44	4.6%
F. ジェンダー(社会的性別)	395	41.4%	199	20.9%	145	15.2%	169	17.7%	46	4.8%
G. 固定的性別役割分担(分業)意識	101	10.6%	139	14.6%	178	18.7%	483	50.6%	53	5.6%
H. ドメスティック・バイオレンス(DV)	672	70.4%	121	12.7%	74	7.8%	45	4.7%	42	4.4%
I. セクシュアル・ハラスメント(セクハラ)	704	73.8%	119	12.5%	62	6.5%	31	3.2%	38	4.0%
J. 性と生殖に関する健康/権利(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)	90	9.4%	127	13.3%	137	14.4%	554	58.1%	46	4.8%
K. 女性のエンパワーメント	72	7.5%	102	10.7%	153	16.0%	580	60.8%	47	4.9%
L. ポジティブ・アクション(積極的改善措置)	68	7.1%	132	13.8%	168	17.6%	543	56.9%	43	4.5%
M. アンペイド・ワーク(無償労働)	66	6.9%	84	8.8%	128	13.4%	632	66.2%	44	4.6%
N. 性的少数者(LGBT)	386	40.5%	174	18.2%	134	14.0%	216	22.6%	44	4.6%
O. ダイバーシティ(多様性)	154	16.1%	165	17.3%	177	18.6%	412	43.2%	46	4.8%
P. アンコンシャス・バイアス	23	2.4%	50	5.2%	102	10.7%	734	76.9%	45	4.7%
Q. アサーション	34	3.6%	53	5.6%	94	9.9%	728	76.3%	45	4.7%
R. ワーク・ライフ・バランス	191	20.0%	121	12.7%	158	16.6%	436	45.7%	48	5.0%
S. SDGs(持続可能な開発目標)	264	27.7%	158	16.6%	109	11.4%	379	39.7%	44	4.6%

問 1 8 都城市では、男女共同参画社会づくりの拠点として「都城市男女共同参画センター」を都城市役所内に設置し、次のような事業を行っています。

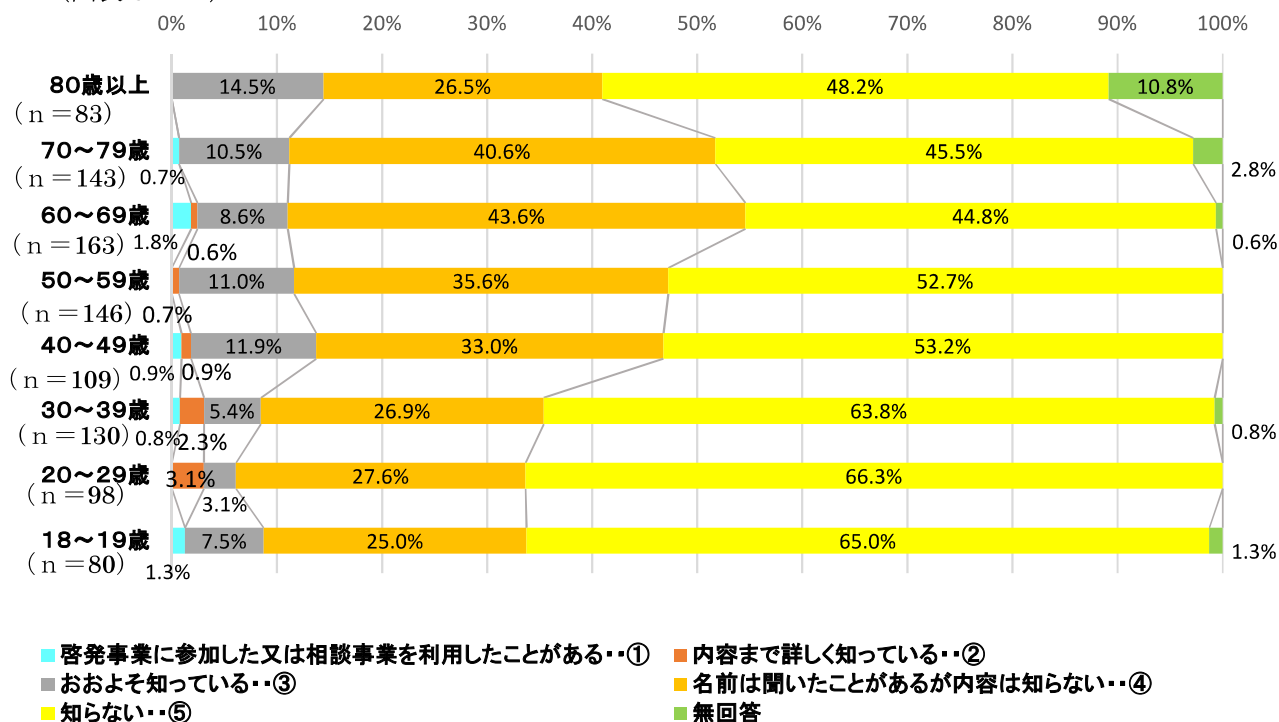
①啓発事業～男女共同参画の視点に立った講演会、講座の開催

②相談事業～相談員による電話相談・面接相談、みやざき若者サポートステーションとの連携による就労相談、臨床心理士による面談、弁護士による法律相談

上記の事業について、どの程度ご存知ですか。□にレ点を記してください。

すべての年代で「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」「知らない」と回答した割合が高く、「啓発事業に参加した又は相談事業を利用したことのある」「内容まで詳しく知っている」と回答した割合は1割にも満たない。

(図表 3-2-41)



※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合があります	総計		18～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳以上	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
①	7	0.7%	1	1.3%	0	0.0%	1	0.8%	1	0.9%	0	0.0%	3	1.8%	1	0.7%	0	0.0%
②	9	0.9%	0	0.0%	3	3.1%	3	2.3%	1	0.9%	1	0.7%	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%
③	86	9.0%	6	7.5%	3	3.1%	7	5.4%	13	11.9%	16	11.0%	14	8.6%	15	10.5%	12	14.5%
④	321	33.6%	20	25.0%	27	27.6%	35	26.9%	36	33.0%	52	35.6%	71	43.6%	58	40.6%	22	26.5%
⑤	513	53.8%	52	65.0%	65	66.3%	83	63.8%	58	53.2%	77	52.7%	73	44.8%	65	45.5%	40	48.2%
無回答	18	1.9%	1	1.3%	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%	4	2.8%	9	10.8%
合計	954	99.9%	80	100.1%	98	100.1%	130	100%	109	99.9%	146	100%	163	100%	143	100.1%	83	100%

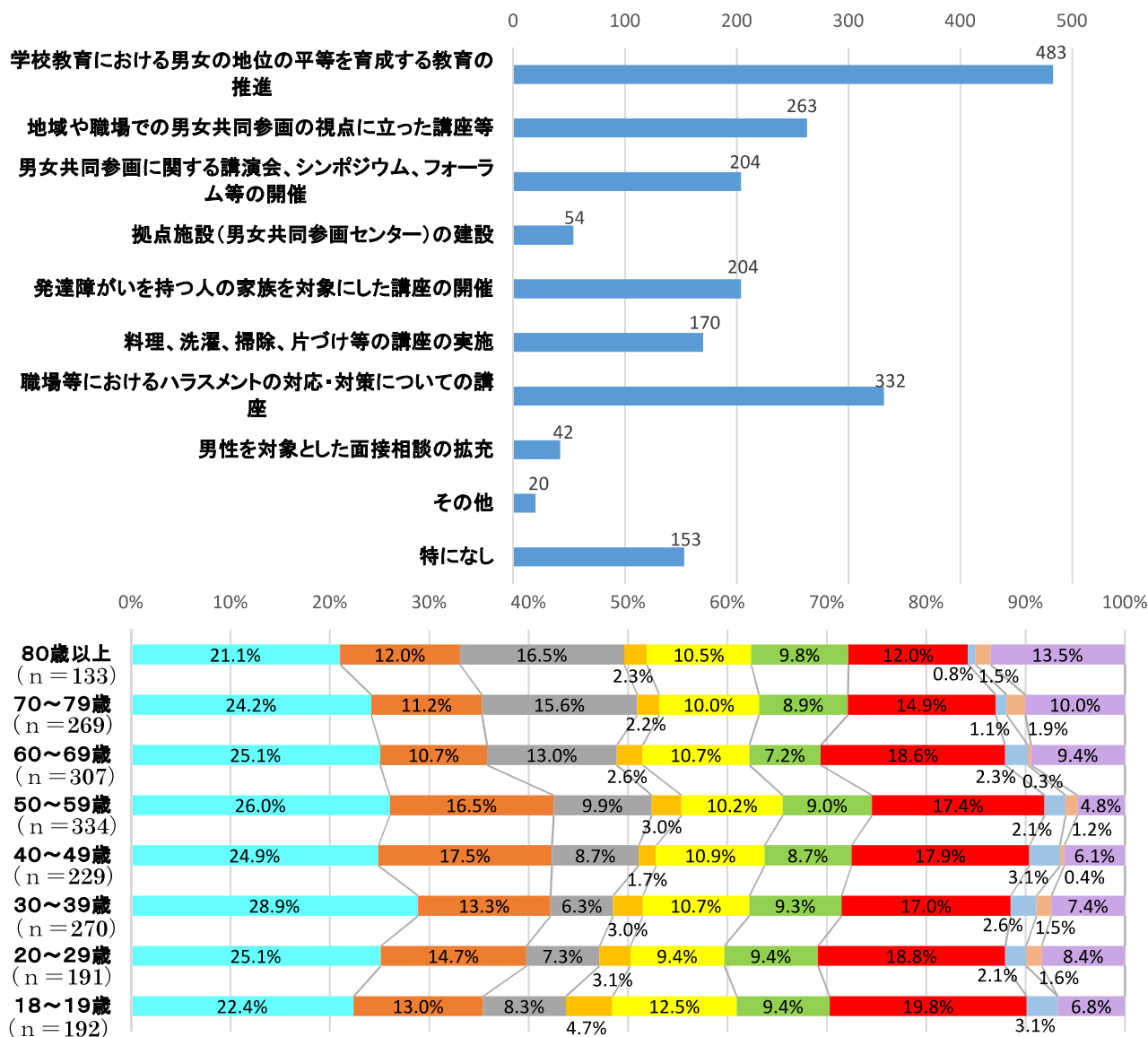
問 19 一人ひとりの個性が活かせる社会づくりを推進するために、男女共同参画センターで取り組む必要があるのはどのようなことだと思いますか。□にレ点を記してください。

(レ点はいくつでも)

最も回答が多いのは「学校教育における男女の地位の平等を育成する教育の推進」(483) 次いで「職場等におけるハラスメントの対応・対策についての講座」(332) となっている。

(図表 3-2-42)

(n = 1,925)



- 学校教育における男女の地位の平等を育成する教育の推進・・・①
- 地域や職場での男女共同参画の視点に立った講座等・・・②
- 男女共同参画に関する講演会、シンポジウム、フォーラム等の開催・・・③
- 拠点施設(男女共同参画センター)の建設・・・④
- 発達障がいを持つ人の家族を対象にした講座の開催・・・⑤
- 料理、洗濯、掃除、片づけ等の講座の実施・・・⑥
- 職場等におけるハラスメントの対応・対策についての講座・・・⑦
- 男性を対象とした面接相談の拡充・・・⑧
- その他・・・⑨
- 特になし・・・⑩

※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	総計		18～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳以上	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
①	483	25.1%	43	22.4%	48	25.1%	78	28.9%	57	24.9%	87	26.0%	77	25.1%	65	24.2%	28	21.1%
②	263	13.7%	25	13.0%	28	14.7%	36	13.3%	40	17.5%	55	16.5%	33	10.7%	30	11.2%	16	12.0%
③	204	10.6%	16	8.3%	14	7.3%	17	6.3%	20	8.7%	33	9.9%	40	13.0%	42	15.6%	22	16.5%
④	54	2.8%	9	4.7%	6	3.1%	8	3.0%	4	1.7%	10	3.0%	8	2.6%	6	2.2%	3	2.3%
⑤	204	10.6%	24	12.5%	18	9.4%	29	10.7%	25	10.9%	34	10.2%	33	10.7%	27	10.0%	14	10.5%
⑥	170	8.8%	18	9.4%	18	9.4%	25	9.3%	20	8.7%	30	9.0%	22	7.2%	24	8.9%	13	9.8%
⑦	332	17.2%	38	19.8%	36	18.8%	46	17.0%	41	17.9%	58	17.4%	57	18.6%	40	14.9%	16	12.0%
⑧	42	2.2%	6	3.1%	4	2.1%	7	2.6%	7	3.1%	7	2.1%	7	2.3%	3	1.1%	1	0.8%
⑨	20	1.0%	0	0.0%	3	1.6%	4	1.5%	1	0.4%	4	1.2%	1	0.3%	5	1.9%	2	1.5%
⑩	153	7.9%	13	6.8%	16	8.4%	20	7.4%	14	6.1%	16	4.8%	29	9.4%	27	10.0%	18	13.5%
合計	1925	99.9%	192	100%	191	99.9%	270	100%	229	99.9%	334	100.1%	307	99.9%	269	100%	133	100%

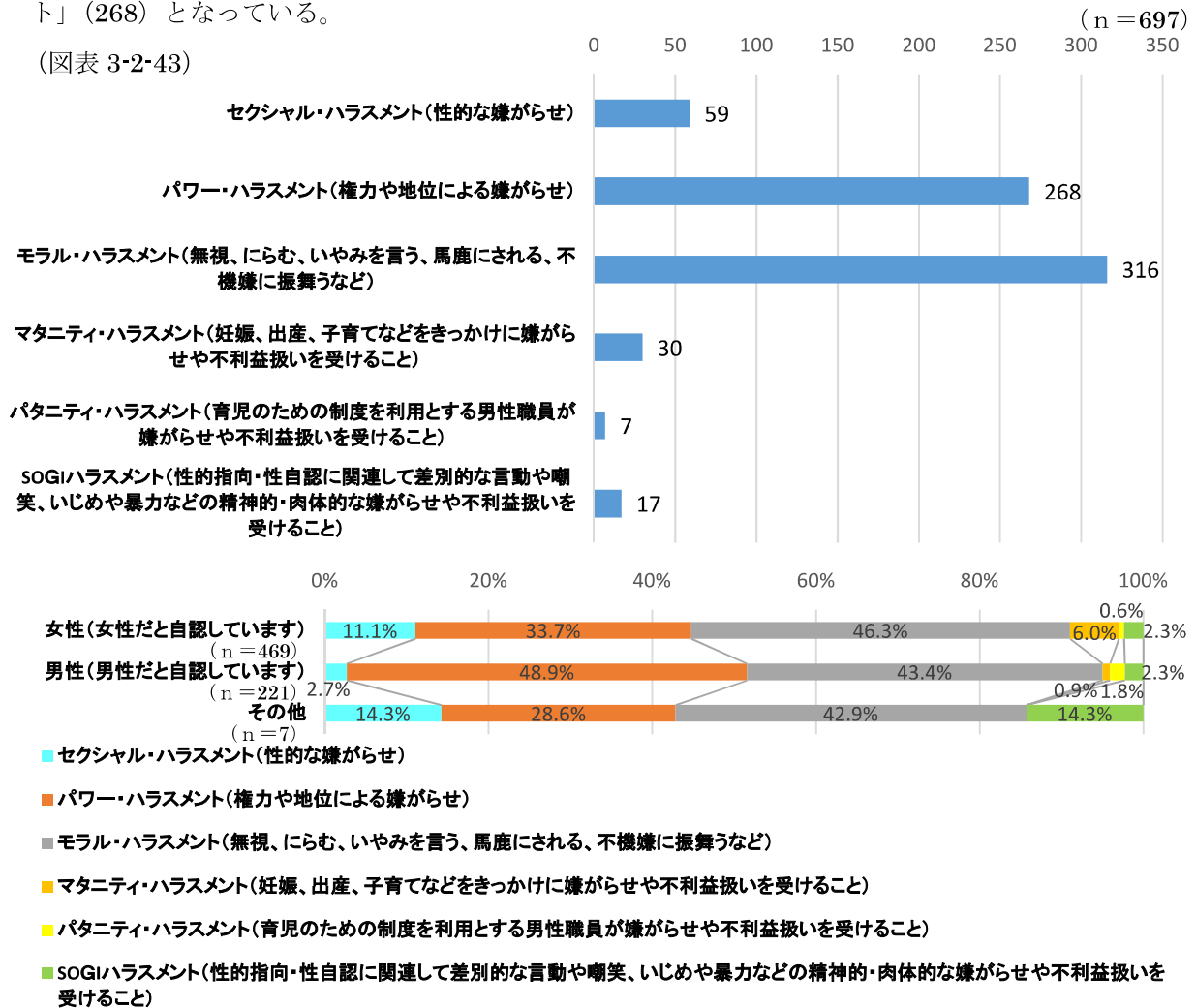
その他の意見欄

- ・発達障がいを持つ人の家族を対象にした講座の開催で、職場・学校への啓発（30代 女性）
- ・大規模教育のためのしくみ作り。年間100人（1000人）の市民に教育をしたとしても市民（16万5千人）全員に教育が行き届く年数は1650年（165年）かかる。このことから、年間5万人位の市民に対しての大規模教育のためのしくみ作りが必要である。（60代 男性）
- ・講座や講演会などは、関心興味をもっている人は参加する気持ちはあると思うが、関心のない人が興味をもてるような企画はないものでしょうか。（70代 女性）
- ・現状でも十分と思う（50代 男性）
- ・講習・講座などしたところで若い子は参加しない。知らない。眠くなる。参加したくなるようなパンフレット、声かけ、ネットでリモートで楽しく学べるなどの今の時代にあった工夫が必要だと思う。（40代 女性）
- ・職場での労働組合設立支援（30代 女性）
- ・企画されたものに参加できる権利機会 情報発信すべての人が情報を得る機会 小学生から参加できる機会、事業の説明でなく具体的な講座の受講例えば、料理洗濯掃除片付けを1日を通して学びこれは男女共同参画ですよと逆にする（50代 男性）
- ・男女共同参画を目的とした女性総合相談など、女性に特化した取り組みをなくす事。（30代 男性）

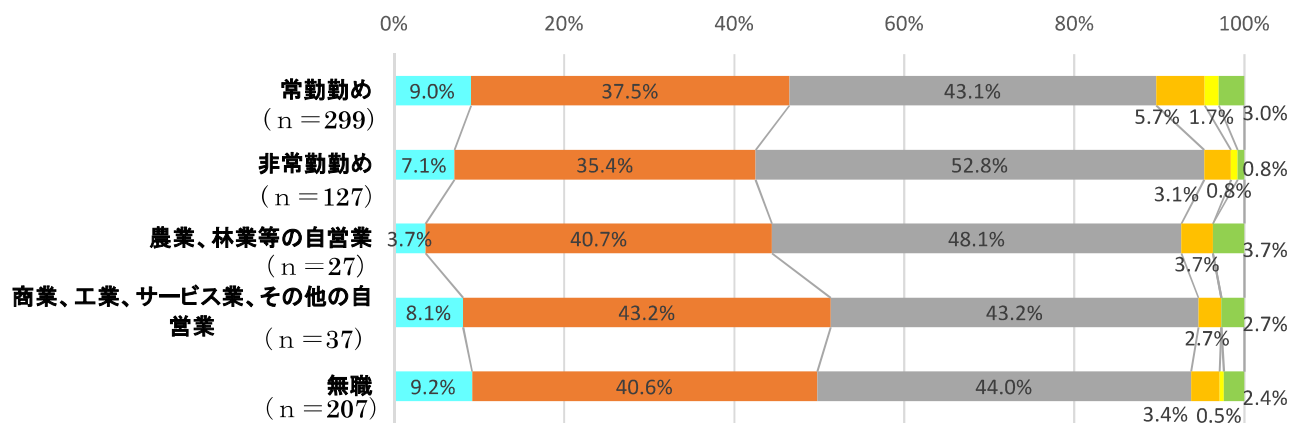
問20 あなたは職場や学校、地域等で、ハラスメント（嫌がらせ、いじめ）を経験したことがありますか。□にレ点を記してください。（レ点はいくつでも）

最も回答数が多いのは「モラル・ハラスメント」（316）となっている。次いで「パワー・ハラスメント」（268）となっている。

(図表 3-2-43)



※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	総計		女性（女性だと自認しています）		男性（男性だと自認しています）		その他	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
セクシャル・ハラスメント	59	8.5%	52	11.1%	6	2.7%	1	14.3%
パワー・ハラスメント	268	38.5%	158	33.7%	108	48.9%	2	28.6%
モラル・ハラスメント	316	45.3%	217	46.3%	96	43.4%	3	42.9%
マタニティ・ハラスメント	30	4.3%	28	6.0%	2	0.9%	0	0.0%
パタニティ・ハラスメント	7	1.0%	3	0.6%	4	1.8%	0	0.0%
SOGI(ソジ)ハラスメント	17	2.4%	11	2.3%	5	2.3%	1	14.3%
合計	697	100%	469	100%	221	100%	7	100.1%

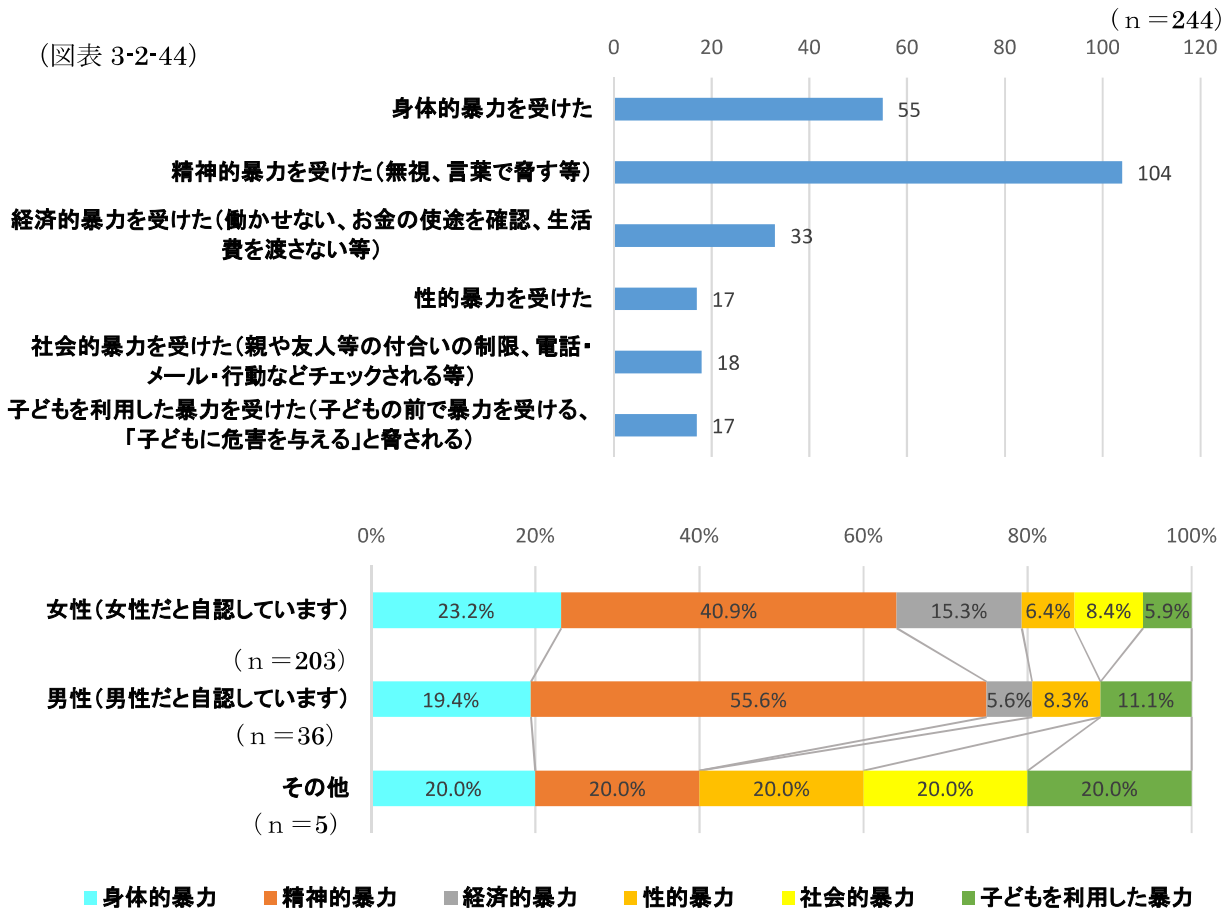


- セクシャル・ハラスメント(性的な嫌がらせ)
- パワー・ハラスメント(権力や地位による嫌がらせ)
- モラル・ハラスメント(無視、にらむ、いやみを言う、馬鹿にされる、不機嫌に振舞うなど)
- マタニティ・ハラスメント(妊娠、出産、子育てなどをきっかけに嫌がらせや不利益扱いを受けること)
- パタニティ・ハラスメント(育児のための制度を利用とする男性職員が嫌がらせや不利益扱いを受けること)
- SOGIハラスメント(性的指向・性自認に関連して差別的な言動や嘲笑、いじめや暴力などの精神的・肉体的な嫌がらせや不利益扱いを受けること)

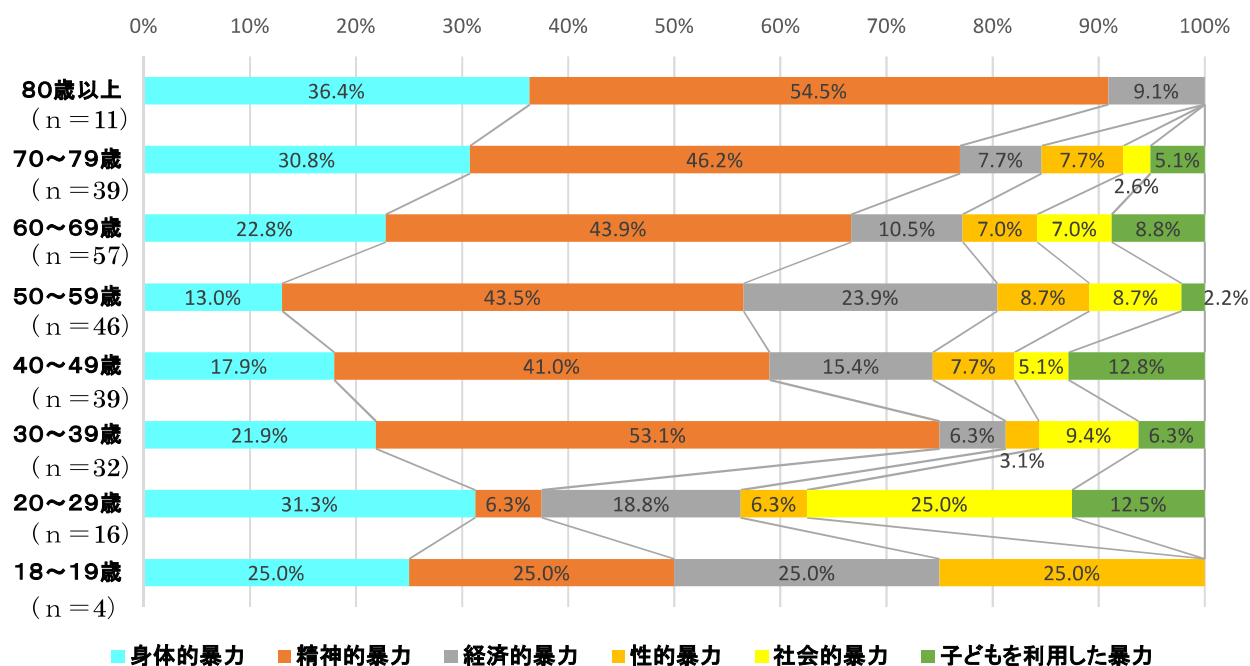
※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	総計		常勤勤め		非常勤勤め		農業、林業等の自営業		商業、工業、サービス業、その他の自営業		無職	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
セクシャル・ハラスメント	59	8.5%	27	9.0%	9	7.1%	1	3.7%	3	8.1%	19	9.2%
パワー・ハラスメント	268	38.5%	112	37.5%	45	35.4%	11	40.7%	16	43.2%	84	40.6%
モラル・ハラスメント	316	45.3%	129	43.1%	67	52.8%	13	48.1%	16	43.2%	91	44.0%
マタニティ・ハラスメント	30	4.3%	17	5.7%	4	3.1%	1	3.7%	1	2.7%	7	3.4%
パタニティ・ハラスメント	7	1.0%	5	1.7%	1	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%
SOGI(ソジ)ハラスメント	17	2.4%	9	3.0%	1	0.8%	1	3.7%	1	2.7%	5	2.4%
合計	697	100%	299	100%	127	100%	27	99.9%	37	99.9%	207	100.1%

問 2 1 あなたがこれまでに、配偶者（事実婚や別居中、離別、死別含む）、恋人などから暴力を受けたことはありますか。□にレ点を記してください。（レ点はいくつでも）

暴力について、最も回答数が多いのは「精神的暴力を受けた」となっています。暴力を受けたことがあるという回答の男女比だと「女性（女性だと自認しています）」（203）、「男性（男性だと自認しています）」（36）、「その他」（5）となっている。



※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	総計		女性（女性だと自認しています）		男性（男性だと自認しています）		その他	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
身体的暴力	55	22.5%	47	23.2%	7	19.4%	1	20.0%
精神的暴力	104	42.6%	83	40.9%	20	55.6%	1	20.0%
経済的暴力	33	13.5%	31	15.3%	2	5.6%	0	0.0%
性的暴力	17	7.0%	13	6.4%	3	8.3%	1	20.0%
社会的暴力	18	7.4%	17	8.4%	0	0.0%	1	20.0%
子どもを利用した暴力	17	7.0%	12	5.9%	4	11.1%	1	20.0%
合計	244	100%	203	100.1%	36	100%	5	100%



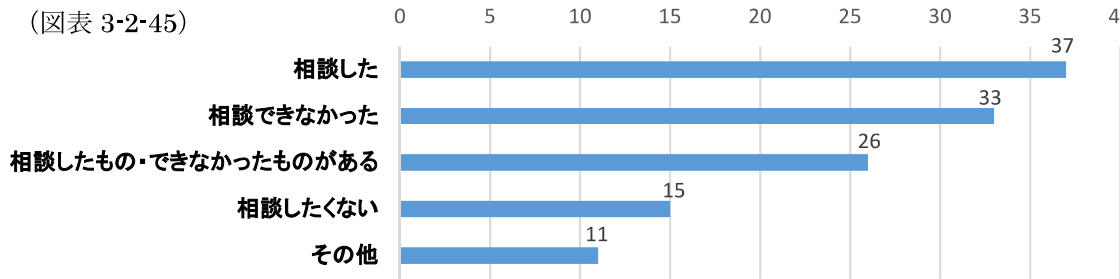
※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	18~19歳		20~29歳		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70~79歳		80歳以上	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
身体的暴力	1	25.0%	5	31.3%	7	21.9%	7	17.9%	6	13.0%	13	22.8%	12	30.8%	4	36.4%
精神的暴力	1	25.0%	1	6.3%	17	53.1%	16	41.0%	20	43.5%	25	43.9%	18	46.2%	6	54.5%
経済的暴力	1	25.0%	3	18.8%	2	6.3%	6	15.4%	11	23.9%	6	10.5%	3	7.7%	1	9.1%
性的暴力	1	25.0%	1	6.3%	1	3.1%	3	7.7%	4	8.7%	4	7.0%	3	7.7%	0	0.0%
社会的暴力	0	0.0%	4	25.0%	3	9.4%	2	5.1%	4	8.7%	4	7.0%	1	2.6%	0	0.0%
子どもを利用した暴力	0	0.0%	2	12.5%	2	6.3%	5	12.8%	1	2.2%	5	8.8%	2	5.1%	0	0.0%
合計	4	100%	16	100.2%	32	100.1%	39	99.9%	46	100%	57	100%	39	100.1%	11	100%

問 2 2 あなたはこれまで、問 2 1 であげたような行為について、誰かに相談したりしましたか。
 □にレ点を記してください。

「相談した」の回答数が 37 に対し、「相談できなかった」「相談したもの・できなかったものがある」「相談したくない」の回答数は 74 となっている。

(n = 122)

(図表 3-2-45)



※小数点第 2 位を四捨五入しているため合計が 100%にならない場合がある	総計		女性（女性だと自認しています）		男性（男性だと自認しています）		その他	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
相談した	37	30.3%	36	36%	1	4.8%	0	0%
相談できなかった	33	27.0%	26	26%	7	33.3%	0	0%
相談したもの・できなかったものがある	26	21.3%	19	19%	6	28.6%	1	100%
相談したくない	15	12.3%	11	11%	4	19.0%	0	0%
その他	11	9.0%	8	8%	3	14.3%	0	0%
合計	122	99.9%	100	100%	21	100%	1	100%

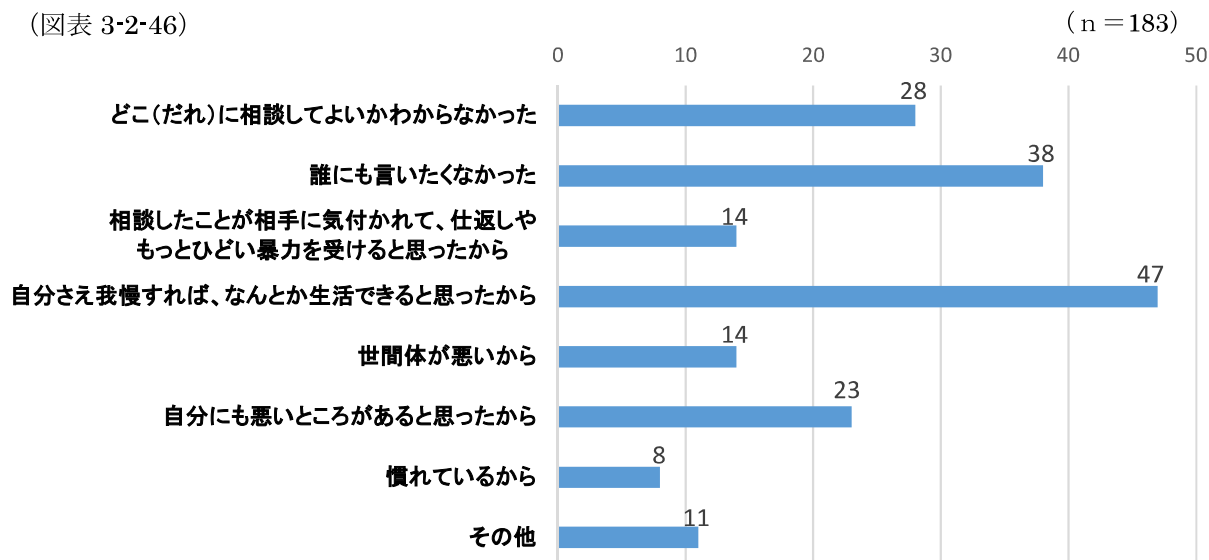
その他の意見欄

- ・配偶者からではないが、夫の家族から経済的暴力があった。（30代 女性）
- ・こんなことがあったと友人、子供にぐちる。（50代 女性）

問 2 3 「相談できなかった・相談したくない等」の理由にあてはまる口にレ点を記してください
(レ点はいくつでも)

「相談できなかった・相談したくない等」と理由として回答数が多いのは「自分さえ我慢すれば、なんとか生活できると思ったから」(47)、次いで「誰にも言いたくなかった」(38)、「どこ(だれ)に相談してよいかわからなかった」(28)となっている。

(図表 3-2-46)



※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	回答	割合
どこ(だれ)に相談してよいかわからなかった	28	15.3%
誰にも言いたくなかった	38	20.8%
相談したことが相手に気付かれてもっとひどい暴力を受けると思ったから	14	7.6%
自分さえ我慢すれば、なんとか生活できると思ったから	47	25.7%
世間体が悪いから	14	7.6%
自分にも悪いところがあると思ったから	23	12.6%
慣れているから	8	4.4%
その他	11	6.0%
合計	183	100%

その他の意見欄

- ・ どうにもならないと思ったから (30代 女性)
- ・ 子どもが心配だったから (50代 女性)
- ・ 相談して周りに心配などかけるくらいなら自分が限界まで我慢すればいいと思った (20代 女性)
- ・ 気にしない!気にしないですませる。(70代 女性)
- ・ 離婚を決意したから (70代 女性)
- ・ 親に心配かけたくないため (70代 女性)
- ・ 病気になった。相談できる気力さえなかった。(50代 女性)
- ・ 相談する人がいなかった。主人の身内には悪口になるので言えない。相談できなかった (60代女性)
- ・ 周りの大切な人に迷惑をかけたくなかった為 (40代 女性)

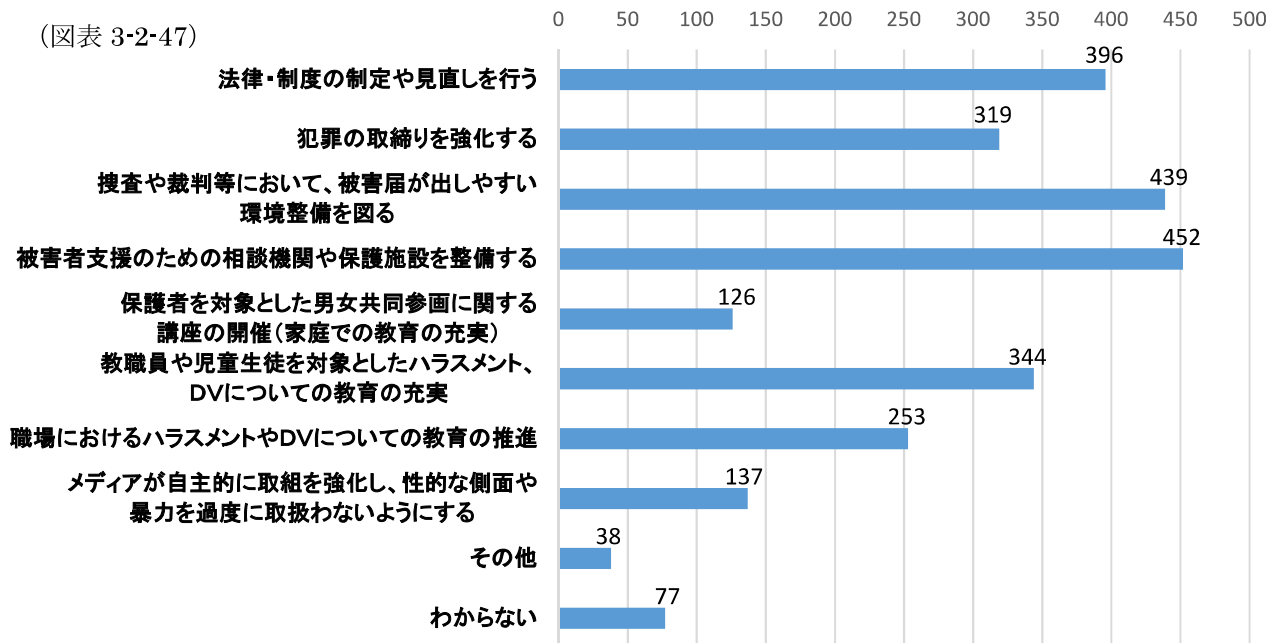
問24 あなたは、ハラスメントやドメスティック・バイオレンス(DV)等を防止するためには、どのような対策が必要だと思えますか。あてはまる口にレ点を記してください。

(レ点はいくつでも)

最も回答数が多いのは「被害者支援のための相談機関や保護施設を整備する」(452)、次いで「捜査や裁判所において、被害届が出しやすい環境整備を図る」(439)、「法律・制度の制定や見直しを行う」(396)となっている。

(n=2,581)

(図表 3-2-47)



※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	総計		女性(女性だと自認しています)		男性(男性だと自認しています)		その他	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
法律・制度の制定や見直しを行う	396	15.3%	226	14.6%	167	16.6%	3	13.0%
犯罪の取締りを強化する	319	12.4%	178	11.5%	138	13.7%	3	13.0%
捜査や裁判等において、被害届が出しやすい環境を図る	439	17.0%	269	17.3%	166	16.5%	4	17.4%
被害者支援のための相談機関や保護施設を整備する	452	17.5%	294	18.9%	154	15.3%	4	17.4%
保護者を対象とした男女共同参画に関する講座の開催	126	4.9%	75	4.8%	48	4.8%	3	13.0%
教職員や児童・生徒を対象としたハラスメント、DVについての教育	344	13.3%	215	13.8%	127	12.6%	2	8.7%
職場におけるハラスメントやDVについての教育の推進	253	9.8%	153	9.9%	99	9.9%	1	4.3%
メディアが自主的に取組を強化し、性的な側面や暴力を過度に取扱わないようにする	137	5.3%	74	4.8%	61	6.0%	2	8.7%
その他	38	1.5%	23	1.5%	14	1.4%	1	4.3%
わからない	77	3.0%	46	3.0%	31	3.1%	0	0.0%
合計	2581	100%	1553	100.1%	1005	99.9%	23	99.8%

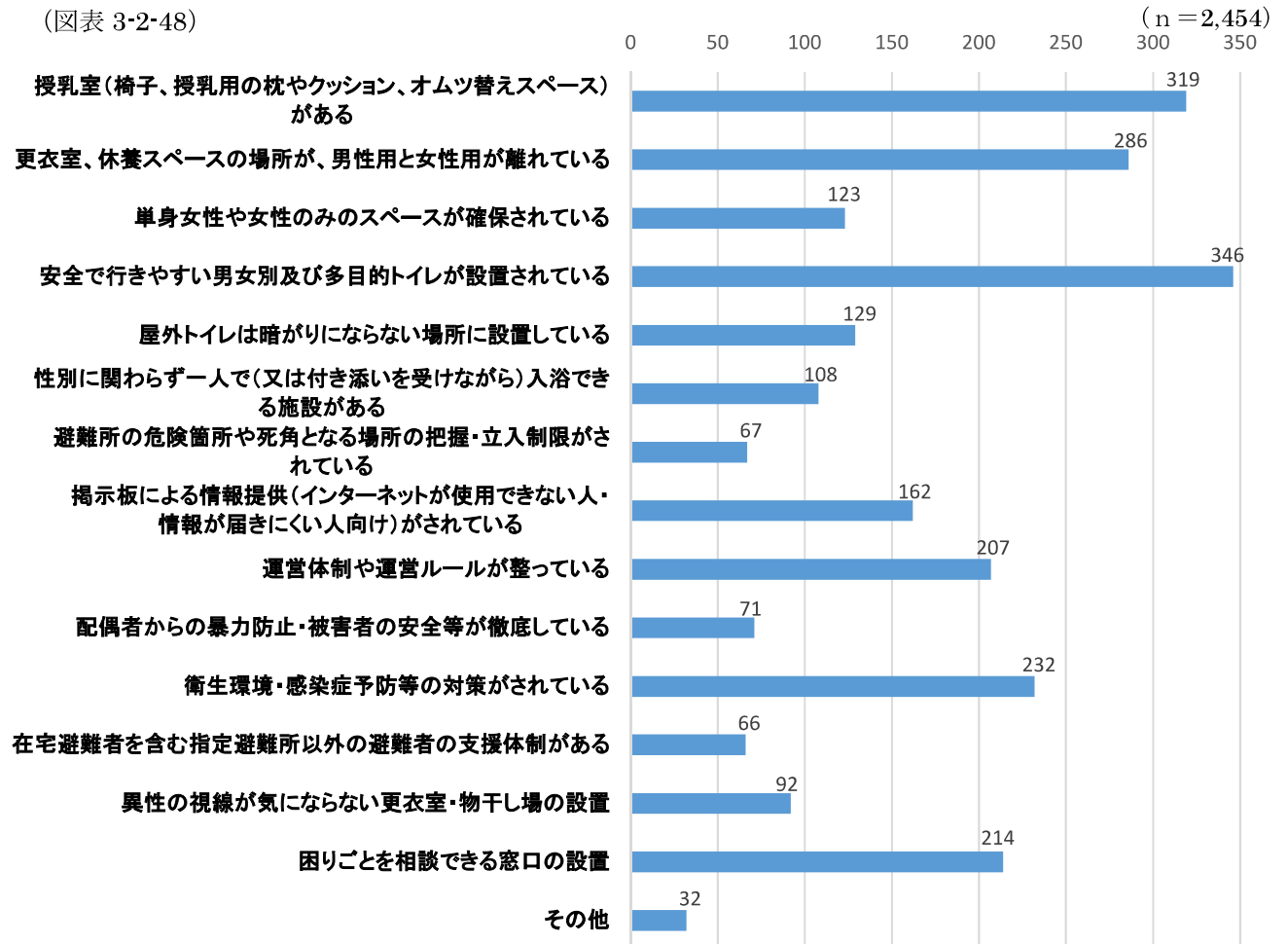
その他の意見欄

- ・子供に対しての性教育、ハラスメントや DV の教育をもっともっと幼い段階から充実させて欲しい、恥ずかしがったり隠したりするものではない、コンビニなどの雑誌コーナー内のアダルトコーナー、テレビのドラマ内で性的な場面や暴力的な場面のあるものは深夜に放送して欲しい。(40代 女性)
- ・近隣の方からの相談所もつくり、保護できる形を作る。(10代 女性)
- ・夫婦が(育児、今後について)もっと対話すべき時間があると良いです。(40代 女性)
- ・アンガーマネジメントの認知と普及。(30代 男性)
- ・すべての市民への教育の拡充。男女それぞれに対する固定観念意識の変容の促進。(40代 女性)
- ・出来るだけ早めに 1. 2. 3. は進めてほしい。(60代 女性)
- ・ハラスメントをする人は自覚がないことが多い。職場で教育機会が定期的にあっても定期的に、具体的な内容でチェックさせ、まずは気づかせることが必要。また、気づいた上司が行動してくれる勇気…この教育と啓発。(30代 女性)
- ・加害者の更正プログラム再犯防止。(50代 女性)
- ・ハラスメント関係については、ストレスが引き金になるものが多いと思う。また、メディア等で取り上げられた内容で余計な知識を身に付けた者がおもしろがってというのが大半だと思う。(20代 男性)
- ・DV かどうなのかを判断できる、的確に対応できる専門家の教育。(50代 女性)
- ・私の場合、パワハラで4年～5年受けました。部落の催し物のときだけですが、最終的に警察に訴えると本人に告げたところ謝りましたが、本当に悪かったという意識は感じられなかった。プライドの高い人は、知らず知らずのうちにパワハラに行くと私は思う。もう一つはねたみからパワハラになることも考えてます。(70代 男性)
- ・被害者が保護された場合や、住所移転した際に、被害者の情報が加害者に伝わらないようにするのが大事。(20代 男性)
- ・そもそも子育ての時が大事なのではないかと。感情をコントロールできる人間づくりを考えてもらえれば。(50代 女性)
- ・パワーハラスメント、モラルハラスメントされているときの対処法を伝える録音機や小型カメラの貸し出し。(40代 女性)
- ・未成年法の見直し責任能力の有無、被害者が不利になっているなど。(60代 男性)
- ・男女平等にならない限り防止はできない。下に見られている結果だから。(30代 女性)
- ・子供に対しての性教育、ハラスメントや DV の教育をもっともっと幼い段階から充実させて欲しい(40代 女性)
- ・近隣の方からの相談所もつくり、保護できる形を作る(10代 女性)
- ・アンガーマネジメントの認知と普及(30代 女性)

問 2 5 避難所の運営には、男女共同参画の視点に立った環境整備を行うことが重要であるといわれています。必要だと思われる取組みの口にレ点を記してください。(3つまで)

最も回答数が多いのは「安全で行きやすい男女別及び多目的トイレが設置されている」(346)、次いで「授乳室(椅子、授乳用の枕やクッション、オムツ替えスペース)がある」(319)、「更衣室、休養スペースの場所が、男性用と女性用が離れている」(286)となっている。

(図表 3-2-48)



その他の意見欄

- ・行ったことが無いので分からない。(60代 女性)
- ・障がい者用のスペース(40代 女性)
- ・今現在どのような避難場所が設置されているのか分からないのでどのような問題点があるのか分からない。(60代 女性)
- ・地域コミュニティの連携強化(50代 女性)
- ・1~14すべて(50代 女性)
- ・昭和の人間の目からすると今の若い人達めがまれている(70代 女性)
- ・作ったとしていく人がどれだけいるのだろう(30代 男性)
- ・行政職員の明確な存在アピール(ベストを着るなど)(40代 女性)
- ・スフィア基準に準拠した避難所整備(40代 その他)

※小数点第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある	総計		女性（女性だと自認しています）		男性（男性だと自認しています）		その他	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合	回答	割合
授乳室(椅子、授乳用の枕やクッション、オムツ替えスペース)がある	319	13.0%	200	13.2%	116	12.5%	3	25.0%
更衣室、休養スペースの場所が男性用と女性用が離れている	286	11.7%	174	11.5%	111	12.0%	1	8.3%
单身女性や女性のためのスペースが確保されている	123	5.0%	81	5.3%	42	4.5%	0	0.0%
安全で行きやすい男女別及び多目的トイレが設置されている	346	14.1%	210	13.9%	135	14.6%	1	8.3%
屋外トイレは暗がりにならない場所に設置されている	129	5.3%	95	6.3%	33	3.6%	1	8.3%
性別に関わらず一人で（又は付き添いを受けながら）入浴できる施設がある	108	4.4%	59	3.9%	47	5.1%	2	16.7%
避難場所の危険箇所や死角となる場所の把握・立入制限がされている	67	2.7%	41	2.7%	26	2.8%	0	0.0%
掲示板による情報提供（インターネットが使用できない人・情報が届きにくい人向け）がされている	162	6.6%	105	6.9%	57	6.2%	0	0.0%
運営体制や運営ルールが整っている	207	8.4%	122	8.0%	85	9.2%	0	0.0%
配偶者からの暴力防止・被害者の安全等が徹底している	71	2.9%	39	2.6%	32	3.5%	0	0.0%
衛生環境・感染症予防等の対策がされている	232	9.5%	136	9.0%	94	10.2%	2	16.7%
在宅避難者を含む指定避難所以外の避難者の支援体制がある	66	2.7%	45	3.0%	21	2.3%	0	0.0%
異性の視線が気にならない更衣室・物干し場の設置	92	3.7%	58	3.8%	34	3.7%	0	0.0%
困りごとを相談できる窓口の設置	214	8.7%	133	8.8%	80	8.6%	1	8.3%
その他	32	1.3%	18	1.2%	13	1.4%	1	8.3%
合計	2454	100%	1516	100%	926	100%	12	100%